

令和6年度 厚生労働科学研究費補助金

政策科学総合研究事業（統計情報総合研究事業）

多様な現場での国際生活機能分類（ICF）の円滑な実用化及び統計への応用
に向けた研究（23AB1001）

令和6年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 向野 雅彦

令和7（2025）年 5月

目 次

I. 総括研究報告

多様な現場での国際生活機能分類（ICF）の 円滑な実用化及び統計への応用に向けた研究	----- 1
研究代表者：向野 雅彦（北海道大学病院リハビリテーション科 教授）	
研究分担者：山田 深（杏林大学医学部リハビリテーション医学講座 教授）	
研究分担者：小松 雅代（大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座環境医学 助教）	

I I. 分担研究報告

国際生活機能分類（ICF）の実用に向けた評価基準の標準化	----- 21
研究代表者：向野 雅彦（北海道大学病院リハビリテーション科 教授）	
研究分担者：山田 深（杏林大学医学部リハビリテーション医学講座 教授）	
研究分担者：小松 雅代（大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座環境医学 助教）	
既存の評価スケールと ICF の項目対応表および点数換算式の作成	----- 81
研究分担者：小松 雅代（大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座環境医学 助教）	
研究代表者：向野 雅彦（北海道大学病院リハビリテーション科 教授）	

ICF コーディングマニュアルおよび ICF 検索ツールの作成	----- 100
---------------------------------	-----------

研究分担者：山田 深（杏林大学医学部リハビリテーション医学講座 教授）	
研究代表者：向野 雅彦（北海道大学病院リハビリテーション科 教授）	

III. 研究成果の刊行に関する一覧表	----- 182
---------------------	-----------

令和6年度 厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（統計情報総合研究））
総括研究報告書

研究課題名：多様な現場での国際生活機能分類（ICF）の円滑な実用化及び
統計への応用に向けた研究

研究代表者：向野 雅彦（北海道大学病院リハビリテーション科 教授）

研究分担者：山田 深（杏林大学医学部リハビリテーション医学講座 教授）

研究分担者：小松 雅代（大阪大学 大学院医学系研究科社会医学講座環境医学 助教）

研究要旨：国際生活機能分類（ICF）は、人の健康の基礎となる生活機能を包括的に分類する枠組みとして、ICDとともにWHOにおける中心分類に位置づけられている。ICFは生活機能の表現を通じ、疾病や災害等が社会に与えるインパクトを生活への影響の面から表現するのに適しており、疾病統計の充実に寄与することが期待される。しかし、ICFは1600を超える項目数の多さ、分類項目の説明のわかりにくさ等により実用においては課題が多く、これまでの研究により概念の普及や活用例の検討は進んだものの、国レベルの標準的な評価手法の確立や統計への活用には至っていない。そこでこの研究事業では、円滑な実用化と疾病統計への応用を目指し、ICFの普及のためのマニュアルや既存のスケールとの互換機能など、臨床における活用を支援するツールの作成に取り組んできた。

今年度はリハビリテーション専門職によるフィードバックを基に採点マニュアルの改訂を行い、ICFの心身機能・身体構造・活動と参加の第二レベル計211項目の採点基準を新たに作成した。さらに、現在検者間信頼性の検討を実施中である。また心身機能、活動と参加の領域における既存の臨床スケールをICF項目へ対応付けし、Barthel IndexやIADL、NYHA心機能分類、Hugh Jones分類、EQ5D-3Lなどの評価尺度における点数換算のライブラリの拡充に取り組んだ。これらの取り組みは、疾患横断的にICFを活用しやすくする仕組みを整え、臨床家のフィードバックを反映した採点基準やマニュアルの改訂を行うことで、現場での実用性を向上させることを目指している。今後、作成されたツールをベースとして、臨床に根差した包括的な生活機能評価の普及に取り組む予定である。

A. 研究目的

国際生活機能分類 (ICF) は、疾病を分類する国際疾病分類 (ICD) に対し、人の機能や活動などを包括する"生活機能"を分類する枠組みとして、世界保健機関 (WHO) の中心分類に位置づけられている。ICFは生活の中での活動への影響が記載することができるため、その社会に対するインパクトを含め、ICDとの組み合わせを通じて疾病統計の充実に寄与することが期待される。しかし、ICFは実用においては課題が多く、これまでの研究により概念の普及や活用例の検討は進んだものの、標準的な評価手法の確立や統計への活用が進んでいない。その原因としては、1600を超える項目数の多さ、分類項目の説明のわかりにくさ等が挙げられ、普及を目指す上での課題となっている。

この課題に対し、厚生労働省社会保障審議会生活機能分類専門委員会生活機能分類普及推進検討ワーキンググループにおいて、ICFのダイジェスト版とも言えるICD-11 V章 (国際疾病分類第11版の生活機能評価のための補助セクション) に対しての採点リファレンスガイドなどの支援ツールが作成・検証されたが、本研究ではこのICFのダイジェスト版のための支援ツールをICF全体に拡張し、多領域において普及を進めることに取り組んでいる。

本研究では、ICD-11 V章およびICFの実用化および疾病統計への応用方法の検証のため、その実用を支援するツールの開発、教育資料の作成に取り組んできた。

今年度はリハビリテーション専門職のフィードバックに基づく採点マニュアルの改訂、ICFの検索システムの作成、ICFの心身機能・身体構造・活動と参加の第二レベル計211項目の採点基準の作成と検者間信頼性検証、既存の臨床スケールへの点数換算ライブラリの拡充に取り組んだ。

B. 研究方法

1. ICF コード検索システムの作成と ICF コーディングマニュアルの改訂

1-a. ICF コード検索システムの作成

リハビリテーション専門職として理学療法士6名、作業療法士8名、言語聴覚士2名の計16名が参加し、ICF 第二レベルの各コードに対して「同義語」「構成要素」「関連する環境・外部要因」「その他」の4カテゴリーに分類しながら語句を体系的に収集した。その後、研究チームによるレビューを経て語句リストを精査・確

定し、オンライン上で容易に検索できるよう Web アプリの作成を実施した。

1b. ICF コーディングマニュアルの改訂

昨年度までに作成された ICF コーディングマニュアル (暫定版) について、14名のリハビリテーション専門職からなるフィードバックグループを形成し、実際に臨床で使用した上でのフィードバックを得た (資料1)。

また、その際のフィードバックに基づき、マニュアルの改訂を行った。

2. 評価基準作成および検者間信頼性の検証

2-a. 評価基準の作成

昨年度に作成した採点原則を元に、リハビリテーション専門職5名 (医師1名、理学療法士2名、作業療法士2名) が基準の草案を作成し、ICFを専門とする研究者2名が原則との整合性についてレビューを行う形で実施した。

2-b. ICF の項目別採点基準に基づいた検者間信頼性の検証

ICF の第2レベル項目全体の検証を行うにあたり、対象としている生活機能が多岐に渡るため、非常に幅広い生活機能障害のサンプルが必要となるが、現実にはそのような多様なサンプルを集めた上で検者間信頼性の検討を行うことには大きな困難を伴う。

そこで本研究では vignette 法を採用した。まず ChatGPT-4o で各項目の0~4点を網羅する短文の仮想的な事例を生成し、医師1名・PT2名・OT2名の計5名が臨床的妥当性や表現を点検して修正を加えた。これにより重症度のバランスの取れた事例集を準備した。

次に採点者 (看護師) 6名 (男性2名/女性4名、38±13歳) が、作成された採点基準を参照して全事例をそれぞれ独立して採点し、重み付き Gwet's AC2 で検者間信頼性を評価した。

Landis and Koch の基準に基づき、Gwet's AC2 の値が0.60以上 (Substantial 以上の判定) を閾値に設定し、この数値未満である場合は採点基準を見直すこととした。

3. 既存の評価スケールとICFの項目対応表の作成と点数換算の試行

3-a. 既存の評価スケールとICFの項目対応表の作成

前年度に引き続き、疾患に関連する心身機能項目の評価尺度を中心に、項目対応表を作成した。

項目対応表の作成にあたっては、リハビリテーション専門職4名（医師2名、理学療法士1名、作業療法士1名）が参加し、ワーキンググループで作成されたリコードにおける以下の対応表作成ルールに基づいて実施した。

- 1) 二人以上の研究者が独立して対応する ICF（もしくは ICD-11「V 章」）の項目を検討し、協議を経て決定する。
- 2) 項目の対応は、第二レベルを基本とする。
- 3) リコードの対象となる評価尺度の1項目に対し、対応する ICF（もしくは ICD-11「V 章」）の1項目を同定することを基本とする。ただし、協議の結果、内容が複数項目に及んでおり1つに絞ることが難しいと判断された場合には、2つ以上の項目を対応項目として挙げることを許容する。さらに、WHO から公開されている ICF コーディングツールが第三レベルでのコーディングを基本としていることから、第三レベルのコードについても同様にリストを作成した。作成したリストは ICF 専門家2名のレビューを経て決定した。

3-b.既存の評価スケールと ICF の点数換算表の作成

前年度に予備的な結果を報告した Barthel Index および IADL 尺度に加え、NYHA 心機能分類、修正 MRC 息切れスケール、Hugh Jones 分類、股関節 JOA スコア、EQ5D-3L、NIH 脳卒中スケールにおける点数換算表の作成に取り組んだ。点数換算表の作成は、リハビリテーション専門職に対するアンケートをベースに実施した。プロセスは以下の通りである。

- 1) リハビリテーション専門職を対象に、既存のスケールの点数それぞれが、ICF の評価点において何点に相当するか、アンケートを実施する。
- 2) アンケートの結果から、例えば当該スケールの1点と等しいとされた ICF の評価点の最頻値および期待値を算出し、代表値とする。

C: 研究結果

1. ICF コード検索システムの作成と ICF コーディングマニュアルの改訂

1-a. ICF コード検索システムの作成

ICF コード検索システムの構築にあたり、理学療法士6名、作業療法士8名、言語聴覚士2名の計16名からなるリハビリテーション専門職チームが、ICF 第2レベル各コードに関連する語句を収集し、ICF 研究者2名がその内容をレビューした。その結果、同義語1,214語、構成要素2,136語、環境・外部要因3,166語、その他489語、計7,005語からなる語句リストを整備した。これらを先行

研究で開発された Web アプリに登録・公開することで、関連語句から ICF コードを検索を可能とした。

1-b. ICF の採点マニュアルの検証と改訂

採点マニュアルを実際に使用したリハビリテーション専門職からのフィードバックを資料1に示す。使用感にはポジティブな意見もみられたものの、特に個別の項目における判断基準の難しさについての指摘が多数みられた。そこで、マニュアルの構成を改訂するとともに、基本的には ICF の章（大分類）ごとに示していた採点基準をベースに、項目別の採点基準を作成することとした。環境因子については、評価基準がわかりにくく複雑との評価が複数みられたため、説明の整理を行った。また、点数化のための具体的な基準については継続検討とした。

2. 評価基準作成および検者間信頼性の検証

2-a. 評価基準の作成

前年度までに作成した採点基準に基づき、章ごとの採点基準を項目別に展開し、具体的な採点上の着目点や例示を加える形で修正を行った。作業はリハビリテーション専門職による研究チームの議論に基づいてドラフトを作成後、ICF 専門家のレビューを経て、ICF の心身機能、身体構造、活動と参加の項目計211項目それぞれの採点基準が作成された。作成した採点基準の抜粋を資料2に示す。

なお、環境因子については現時点では原則の例示のみにとどめ、詳細な点数基準については継続検討課題とした

2-b. ICF の項目別採点基準に基づいた検者間信頼性の検証

具体例を作成するため、生成 AI の Chat GPT 4o モデルを用いて項目ごとに25の短文を作成した。

さらに、生成 AI により作成された文章をリハビリテーション専門職3名（医師1名、理学療法士1名、作業療法士1名）が確認し、定義や基準との整合性を確認し、必要に応じて修正を行った。

これらの検討に基づき、心身機能、身体構造、活動と参加の計211項目の第二レベル項目に対し、それぞれの具体例25例ずつ、計5275例が作成された。

これらの具体例について、6名の評価者（看護師）に基準に基づいた採点を依頼し、その結果の一致性について Gwet の AC2 の計算を行った。その結

果、Gwet AC2 (linear weight) の値は 0.60~0.97 と、全ての項目で 0.6 以上 (Substantial 以上) の値を示した。

3. 既存の評価スケールとICFの項目対応表の作成と点数換算の試行

3-a. 既存の評価スケールと ICF の項目対応表の作成

対応表作成ルールに基づき、NYHA心機能分類、MRS息切れスケール、Hugh Jones分類、股関節JOAスコア、NIH Stroke Scale、Stroke Impairment Assessment Set(SIAS)の項目対応表を作成した。作成した対応表を資料3に示す。

3-b. 既存の評価スケールとICFの点数換算表の作成

前年度に予備的な調査を実施した Barthel Index および IADL 尺度に加え、NYHA 心機能分類、MRS 息切れスケール、Hugh Jones 分類、股関節 JOA スコア、NIH Stroke Scale、EQ5D-3L の各項目の点数と、それに相当する ICF の評価点についてリハビリテーション専門職を対象とした以下の調査を計 647 名の医療・リハビリテーション専門職 (医師・PT・OT・ST・看護師等) を対象に実施した。

対象スケール各スコアに対応する ICF 評価点のアンケート結果より得られた期待値、最頻値を資料 4 に示す。なお、対象スケールの段階数が ICF の 5 段階より少ない場合は、回答頻度が高い ICF スコアの範囲も併記した。

D: 考察

本研究事業では、多様な現場における国際生活機能分類 (ICF) の円滑な実用化および統計への応用を目指し、実用性に重きを置いた活用モデルの作成に取り組んでいる。今年度は、前年度までに行ってきた既存の評価尺度との項目対応表や点数換算表の本格的な拡充に取り組み、さらにリハビリテーション専門職による臨床での使用経験に基づくフィードバックを得てマニュアルの構成を見直し、ICF の心身機能・身体構造・活動と参加の第二レベルに該当する 211 項目のすべてについて新たな採点基準を作成し、その検証に取り組んだ。

今回作成した項目対応表や点数換算表などのスケールとの互換性を高める取り組みは、疾患横断的な ADL、IADL、健康関連 QOL といった各種尺度の情報を ICF に集約しやすくする仕組みを整え、国際統計の場において ICF の活用を進める

上で有用なツールとなることが期待される。さらに、マニュアルについては臨床家の使用経験に基づくフィードバックを反映することで、より現場で使いやすいものとなり、普及に貢献することが期待される。特に、生活機能についての 211 項目すべてに具体的な点数基準を作成したことは、今後の ICF の現場における実用、統計への活用において、大きなサポートとなる可能性がある。

生活機能に関する情報を統一された枠組みで評価し、また多様な情報を集約して相互比較が可能となる仕組みを構築することは、患者中心の医療・福祉を実現する上でも重要である。今後、多領域における活用を想定し、より多くの研究者、臨床家と連携して ICF とその活用ツールの普及に進めることを計画している。

E: 結論

今年度の事業においては、ICF 活用の実用を進めるべく、臨床スケールからの情報集約のためのライブラリ充実、より詳細な採点基準の作成とその検証に取り組んだ。今後は、多領域の専門家のフィードバックを得ながら、さらに社会実装の推進に向けた取り組みを実施する予定である。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

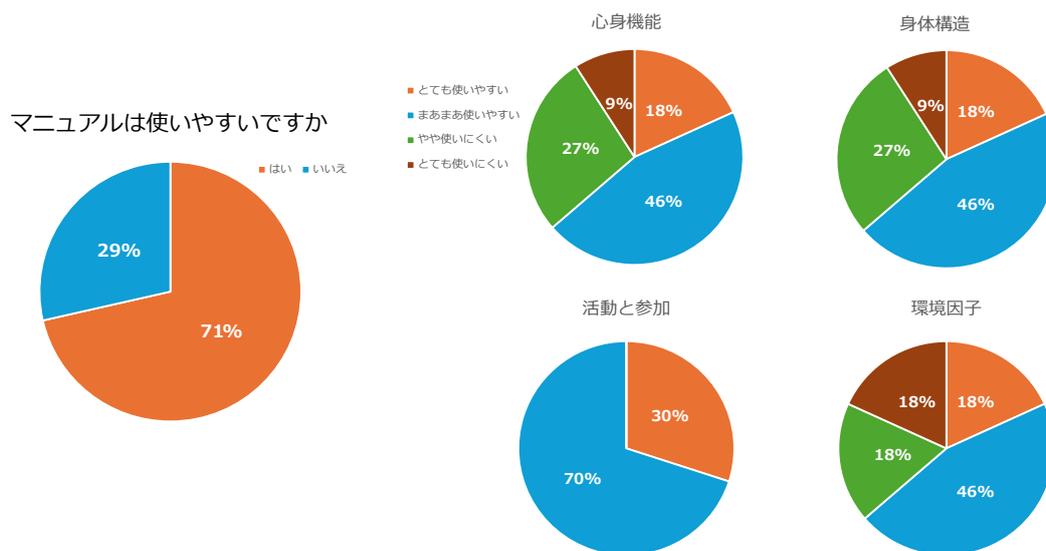
Umemori S, Ogawa M, Yamada S, Komatsu M, Oikawa E, Okamoto Y, Katoh M, Shirasaka T, Abiko K, Moriizumi S, Matsuo Y, Tohyama H, Mukaino M. Development of a Conversion Table Linking Functional Independence Measure Scores to International Classification of Functioning, Disability, and Health Qualifiers: Insights from a Survey of Healthcare Professionals. *Healthcare (Basel)*. 2024 Apr 15;12(8):831.

Amatya B, Mukaino M, Stucki G, Selb M, Khan F. Content comparison of multidimensional functional outcome measures in rehabilitation and the ICF clinical functioning information tool: A scoping literature review. *Journal of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine*. 2024 Dec 1;7(4):144-59.

2. 学会発表

なし

資料1. リハビリテーション専門職によるフィードバック



フィードバックコメント

1. マニュアル全体の使いやすさ

- 全体的に分かりやすく、明確な指針が示されている。
- 内容の理解はしやすいが、実際に使用してみないと評価が難しい部分がある。
- コーディングの順番がわかりにくい。
- 項目数が多く、使用に時間がかかる。
- ICF 日本版や OT 協会 ICF コード分類の順番 (①心身機能 ②身体構造 ③活動と参加 ④環境因子) とマニュアルの順番が異なり、照らし合わせにくい。
- コードとマニュアルの対応がわかりにくい。

2. 第2章の各コーディングマニュアルの使いやすさ

(1) 心身機能項目について

- マニュアルの採点方法は理解しやすい。
- 0 や 4 の判定は容易。
- 2 と 3 の点数の違いが判断しにくい (特に具体例が少ない)。

(2) 身体構造項目について

- 一部の項目については理解しやすい。
- 1, 2, 3 の違いが判断しにくい。
- 例えば、「1/2 以上の問題がある」とは部位の範囲を指すのか、骨・関節・筋肉などの種類の割合なのか不明確。
- 皮膚や神経系の構造について、専門知識がないと判断が難しい。
- 手術後の構造変化の判定基準が不明。

(3) 活動と参加項目について

- 具体例を示せば評価しやすい。
- 認知的な活動の 2 と 3 の判別基準が不明確 (「サポートが 50%以上必要」との基準が明確化されるとよい)。

(4) 環境因子項目について

- 一部の項目は理解しやすい。
- 環境因子の段階分け (1, 2, 3) が難しい。
- 阻害因子・促進因子の判断が困難。
- 評価例が少なく、イメージがつきにくい (特に e165 の資産等)。
- サービス・制度・政策の評価基準が具体的に示されていない。

3. その他の改善点・コメント

- 基準を明確化したほうがよい。

- 具体例があったほうがよい。
- 各項目についてそれぞれ詳細評価ガイドがあるほうがよい。
- コーディングマニュアルに記載がない項目の評価方法について不明。
- 項目数が多いため、使用に時間がかかる。
- ICF コード分類と評価基準の対応が必要。
- 各コードごとのマニュアルがわかりやすく作成されることが望ましい。

資料 2. 作成した基準の例（一部）

1. 心身機能項目の評価基準例

コード	項目	評価点	説明
b110	意識機能		*意識障害、意識レベルの変動などの意識機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：意識機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：意識機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える意識機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：意識機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
b114	見当識機能	4	完全な機能障害：意識機能における完全な問題がある
			*自己認識の障害、時間・場所などの状況認識の低下などの見当識機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：見当識機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：見当識機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える見当識機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
b117	知的機能	3	重度の機能障害：見当識機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
		4	完全な機能障害：見当識機能における完全な問題がある
			*発達遅滞、知能の低下などの知的機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：知的機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：知的機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える知的機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：知的機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
		4	完全な機能障害：知的機能における完全な問題がある

2. 身体構造項目の評価基準例

コード	項目	評価点	説明
s110	脳の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：脳構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：脳構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：脳構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：脳構造の全てにおよぶ問題がある

s120	脊髄と関連部位の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：脊髄と関連部位の構造全体の1/4未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：脊髄と関連部位の構造全体の1/4以上、1/2未満に問題がある
		3	重度の構造障害：脊髄と関連部位の構造全体の1/2以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：脊髄と関連部位の構造の全てにおよぶ問題がある

3. 活動と参加項目の評価基準例

認知に関わる項目の例

コード	項目	評価点	説明
d110	注意して視ること	0	問題なく自分で注意して視る（子供が遊ぶのを注視したり、目視確認作業を行ったりするなど）
		1	自分で注意して視るが、時々集中が途切れやすいことなど何らかの困難がある
		2	注意して視ることにおいていくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる
		3	注意して視ることにおいてかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる
		4	注意して視ることが全くできない
d115	注意して聞くこと	0	問題なく自分で注意して聞く（騒がしい場所で会話に集中する、ラジオを注意して聞くなど）
		1	自分で注意して聞くことができるが、時々集中が途切れやすいことなど何らかの困難がある
		2	注意して聞くことにおいていくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる
		3	注意して聞くことにおいてかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる
		4	注意して聞くことが全くできない

ADL に関わる項目の例

コード	項目	評価点	説明
d510	自分の身体を洗うこと	0	自分の身体を洗うことを問題なく自分で行っている
		1	自分の身体を洗うことを自分で行っているが困難を伴う、もしくは自分で行っているが装具や自助具、手すりを使用する
		2	自分の身体を洗うことを他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	自分の身体を洗うことを大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	自分の身体を洗うことを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d520	身体各部の手入れ	0	身体各部の手入れを問題なく自分で行っている
		1	身体各部の手入れを自分で行っているが困難を伴う、もしくは自分で行っているが自助具を使用する
		2	身体各部の手入れを他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	身体各部の手入れを大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	身体各部の手入れを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d530	排泄	0	排泄を問題なく自分で行っている
		1	排泄を自分で行っているが困難を伴う、もしくは自分で行っているが装具や自助具、手すりを使用する
		2	排泄を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	排泄を大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	排泄を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない

IADL に関わる項目の例

コード	項目	評価点	説明
d610	住居の入手	0	住居の入手（住居を借りる、購入することなど）を問題なく自分で行う
		1	住居の入手を自分で行うが困難を伴う、もしくは道具（筆談用具等）の使用を要している
		2	住居入手において一部に（50%未満）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		3	住居入手において大部分に（50%以上）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	住居の入手を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d620	物品とサービスの入手	0	問題なく自分で物品とサービスの入手（買い物など）ができる
		1	物品とサービスの入手を自分で行っているが困難を伴う/装具や自助具等の使用を要している/宅配等のサービスを利用する

d630 調理

- 2 物品とサービスの入手において一部に（50%未満）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
- 3 物品とサービスの入手において大部分に（50%以上）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
- 4 物品とサービスの入手を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
- 0 調理を問題なく自分で行っている
- 1 調理を自分で行っているが、何らかの困難がある、もしくは自分で行っているが、補助具・自助具等を使用する
- 2 調理において一部に（50%未満）他者のサポートや代行、実施範囲の制限を要している
- 3 調理において大部分に（50%以上）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
- 4 調理を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない

資料3 既存の評価スケールと ICF/ICD-11V 章の項目対応表

	ICD-11 V	ICF 第二レベル項目	ICF 第三レベル項目以下
NYHA 心機能分類	VV3Y その他の特定の心血管系、血液系、免疫系及び呼吸器系の機能	b410 心機能	-
MRC 息切れスケール	VV3Y その他の特定の心血管系、血液系、免疫系及び呼吸器系の機能	b440 呼吸機能	-
Hugh-Jones 分類	VV3Y その他の特定の心血管系、血液系、免疫系及び呼吸器系の機能	b440 呼吸機能	-

	ICD-11 V	ICF 第二レベル項目	ICF 第三レベル項目以下
I. 疼痛	VV12 痛みの感覚	b280 痛みの感覚	b28015 下肢の痛み
II. 可動域	VV60 関節の可動性の機能	b710 関節の可動性の機能	b7100 1つの関節の可動性
III. 歩行能力	VW13 歩行	d450 歩行	-
IV. 日常生活動作			
腰掛け	VW1Y その他の特定の運動・移動	d410 基本的な姿勢の変換	d4103 座ること
立ち仕事（家事含む、30分持続）	VW10 立位の保持	d415 姿勢の保持	d4154 立位の保持
しゃがみこみ・立ち上がり	VW1Y その他の特定の運動・移動	d410 基本的な姿勢の変換	d4101 しゃがむこと、d4101 立つこと
階段の昇り降り	VW1Y その他の特定の運動・移動	d451 階段の上り下り	-
車・バスなどの乗り降り	VW16 交通機関・交通手段の利用	d470 交通機関や手段の利用	d4702 動力付きの公共交通機関の利用

	ICD-11 V	ICF 第二レベル項目	ICF 第三レベル項目
意識水準	VV0Y その他の特定の精神機能	b110 意識機能	-
意識障害－質問	VV0Y その他の特定の精神機能	b114 見当識機能	b1140 時間に関する見当識
意識障害－従命	VV0Y その他の特定の精神機能	b110 意識機能	-
最良の注視	VV8Y その他の特定の学習及び知識の応用	d110 注意して視ること	-
視野	VV10 視覚及び関連機能	b210 視覚機能	d2101 視野
顔面麻痺	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7308 その他の特定の、筋力の機能
上肢の運動（左右それぞれ）	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7301 一肢の筋力
下肢の運動（左右それぞれ）	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7301 一肢の筋力

運動失調	VV6Y その他の特定の神経筋骨格及び運動に関連する機能	b760 随意運動の制御機能	-
感覚	VV1Y その他の特定の感覚機能及び痛み	b260 固有受容覚、b265 触覚、b270 温度やその他の刺激に関連した感覚機能	-
最良の言語	VV0Y その他の特定の精神機能	b167 言語に関する精神機能	-
構音障害	VV2Y その他の特定の音声及び発話の機能	b320 構音機能	-
消去現象・注意障害	VV02 注意機能/ VV0Y その他の特定の精神機能	b140 注意機能/ b156 知覚機能	-

Stroke Impairment Assessment ICD-11 V ICF 第二レベル項目 ICF 第三レベル項目
Set

Knee-mouth test	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7301 一肢の筋力
Finger-function test	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7301 一肢の筋力
Hip-flexion test	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7301 一肢の筋力
Knee-extension test	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7301 一肢の筋力
Foot-pat test	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7301 一肢の筋力
U/E DTR (biceps or triceps)	VV6Y その他の特定の神経筋骨格及び運動に関連する機能	b750 運動反射機能	b7500 筋伸長反射
L/F DTR (PTR or ATR)	VV6Y その他の特定の神経筋骨格及び運動に関連する機能	b750 運動反射機能	b7500 筋伸長反射
U/E muscle tone	VV6Y その他の特定の神経筋骨格及び運動に関連する機能	b735 筋緊張の機能	b7351 一肢の筋緊張
L/E muscle tone	VV6Y その他の特定の神経筋骨格及び運動に関連する機能	b735 筋緊張の機能	b7351 一肢の筋緊張
U/E light touch (手掌)	VV1Y その他の特定の感覚機能及び痛み	b265 触覚機能	-
L/E light touch (足底)	VV1Y その他の特定の感覚機能及び痛み	b265 触覚機能	-
U/E position (母指 or 示指)	VV1Y その他の特定の感覚機能及び痛み	b260 固有受容覚	-
L/E position (母趾)	VV1Y その他の特定の感覚機能及び痛み	b260 固有受容覚	-
U/E ROM	VV60 関節可動性の機能	b710 関節可動性の機能	-
L/E ROM	VV60 関節可動性の機能	b710 関節可動性の機能	-
Pain	VV12 痛みの感覚	b280 痛みの感覚	-
Verticality test	VV1Y その他の特定の感覚機能及び痛み	b156 知覚機能	b1565 視空間知覚
Abdominal MMT	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7302 体幹の筋力
Visuo-spatial deficit	VV1Y その他の特定の感覚機能及び痛み	b156 知覚機能	b1565 視空間知覚

Speech	VV0Y その他の特定の精神機能	b167 言語に関する精神機能	-
Sound side: Quadriceps MMT	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7301 一肢の筋力
Sound side: Grip strength	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7301 一肢の筋力

資料 4. 既存の臨床スケールと ICF の換算表

NYHA 分類

b410 心機能

ICF

Score	期待値	最頻値	範囲
I	0.2	0	0
II	1.5	1	1~2
III	2.6	3	3
IV	3.8	4	4

MRC 息切れスケール

b440 呼吸機能

Score	期待値	最頻値
0	0.2	0
1	1.3	1
2	2.2	2
3	3.1	3
4	3.9	4

Hugh Jones 分類

b440 呼吸機能

Score	期待値	最頻値
1	0.1	0
2	1.2	1
3	2	2
4	3.1	3
5	3.9	4

EQ5D

移動の程度: d450 歩行

Score	期待値	最頻値	範囲
1	0.2	0	0
2	1.9	2	1~3
3	3.8	4	4

身の回りの管理: d520 身体各部の手入れ/d540 更衣

Score	期待値	最頻値	範囲
1	0.2	0	0
2	1.9	2	1~3
3	3.7	4	4

ふだんの活動(例:仕事、勉強、家族・余暇活動): d850 報酬を伴う仕事 /d810-d839 教育/d920 レクリエーションとレジャー

Score	期待値	最頻値	範囲
1	0.2	0	0
2	1.9	2	1~3
3	3.7	4	4

痛み/不快感: b280 痛みの感覚

Score	期待値	最頻値	範囲
1	0.3	0	0
2	1.9	2	1~2
3	3.6	4	3~4

不安/ふさぎ込み: b152
情動機能

Score	期待値	最頻値	範囲
1	0.3	0	0~1
2	1.9	2	2
3	3.6	4	3~4

7	2	2
8	1.8	2
9	1.2	1
10	0.9	1
11	0.4	0
12	0	0

JOA 股関節スコア

I.疼痛:b280 痛みの感覚

Score	期待値	最頻値
0	3.8	4
10	2.8	3
20	2	2
30	1.5	2
35	0.8	1
40	0.1	0

II.可動域 股関節外転:
b710 関節の可動性の機能

Score	期待値	最頻値
0	3.9	4
2	2.8	3
4	1.7	2
6	0.8	1
8	0	0

II 可動域 股関節屈曲
:b710 関節の可動性の機能

Score	期待値	最頻値
0	4	4
1	3.9	4
2	3.2	3
3	3.1	3
4	2.9	3
5	2.4	2
6	2.4	2

III.歩行能力: d450 歩行

Score	期待値	最頻値
0	3.8	4
5	2.7	3
10	1.9	2
15	1.3	1
18	0.7	1
20	0	0

IV. 日常生活動作- 腰掛
け: d410 基本的な姿勢の
変換

Score	期待値	最頻値	範囲
0	3.8	4	4
2	2.1	2	1~3
4	0.3	0	0

IV. 日常生活動作- しゃ
がみこみ、立ち上がり:
d410 基本的な姿勢の変換

Score	期待値	最頻値	範囲
0	3.8	4	4
2	2.1	2	1~3
4	0.3	0	0

IV. 日常生活動作-立ち仕
事（家事含む、30分持続
）:d415 姿勢の保持

Score	期待値	最頻値	範囲
0	3.8	4	4
2	2.1	2	1~3
4	0.3	0	0

IV. 日常生活動作-階段の
昇り降り: d451 階段の上
り下り

Score	期待値	最頻値	範囲
0	3.8	4	4
2	2.1	2	1~3
4	0.3	0	0

IV. 日常生活動作-車・バ
スなどの乗り降り: d470
交通機関や手段の利用

Score	期待値	最頻値	範囲
0	3.8	4	4
2	2	2	1~3
4	0.3	0	0

Barthel Index

食事: d550 食べること
/d560 飲むこと

Score	期待値	最頻値	範囲
0	3.8	4	4
5	2.1	2	2~3
10	0.4	0	0~1

移乗: d420 乗り移り（移
乗）

Score	期待値	最頻値	範囲
0	3.9	4	4
5	2.9	3	3
10	1.6	2	1~2
15	0.2	0	0

整容: d520 身体各部の手
入れ

Score	期待値	最頻値	範囲
0	2.9	3	2~4
5	0.4	0	0~1

トイレ動作: d530 排泄

Score	期待値	最頻値	範囲
0	3.7	4	4
5	2.1	2	2~3
10	0.4	0	0~1

0	3.8	4	4
5	2.2	2	2~3
10	0.4	0	0~1

入浴: d510 自分の身体を洗うこと

Score	期待値	最頻値	範囲
0	2.9	3	2~4
5	0.4	0	0~1

着替え: d540 更衣

Score	期待値	最頻値	範囲
0	3.7	4	3~4
5	2	2	2
10	0.4	0	0~1

歩行: d450 歩行

Score	期待値	最頻値	範囲
0	3.9	4	4
5	2.9	3	3
10	1.8	2	2
15	0.3	0	0~1

排便コントロール b525
排便機能

Score	期待値	最頻値	範囲
0	3.7	4	3~4
5	2.1	2	2
10	0.4	0	0~1

歩行（車椅子を使用する場合）: d465 用具を用いての移動

Score	期待値	最頻値	範囲
0	3.8	4	4
5	2.5	3	3
10	1.6	2	1~2
15	0.3	0	0

排尿コントロール: b620
排尿機能

Score	期待値	最頻値	範囲
0	3.7	4	3~4
5	2.1	2	2
10	0.4	0	0~1

階段昇降: d451 階段の上り下り

Score	期待値	最頻値	範囲
-------	-----	-----	----

IADL 尺度

電話の使用: d360 コミュニケーション用具および技法の利用

Score	期待値	最頻値	範囲
0	3.9	4	4
1	1.4	0	0~3

買い物: d620 物品とサービスの入手

Score	期待値	最頻値	範囲
0	2.6	3	1~4
1	0.2	0	0

食事の用意: d630 調理

Score	期待値	最頻値	範囲
0	2.6	2	1~4
1	0.2	0	0

家事（洗濯以外）: d640 調理以外の家事

Score	期待値	最頻値	範囲
0	4	4	4
1	1.7	0	0~3

家事（洗濯）: d640 調理以外の家事

Score	期待値	最頻値	範囲
0	3.6	4	3~4
1	1.1	0	0~2

徒歩以外での移動: d470 交通機関や手段の利用

Score	期待値	最頻値	範囲
0	3.5	4	3~4
1	1.2	0	0~2

指示通りの処方箋の服用: d570 健康に注意すること

Score	期待値	最頻値	範囲
0	2.7	2	2~4
1	0.2	0	0~1

NIH 脳卒中スケール

意識水準: b110 意識機能

Score	期待値	最頻値	範囲
0	0.1	0	0
1	1.3	1	1
	2.5	3	2~3
	3.7	4	4

意識障害一質問 : b114 見当識機能

Score	期待値	最頻値	範囲
0	0.2	0	0
1	1.6	1	1~2
2	3.1	3	3~4

意識障害一従命: b110 意識機能

Score	期待値	最頻値	範囲
0	0.2	0	0
1	1.8	2	1~2
2	3.3	4	3~4

最良の注視: d110 注意して
 視ること

Score	期待値	最頻値	範囲
0	0.2	0	0
1	1.7	2	1~2
2	3.4	4	3~4

視野: b210 視覚機能

Score	期待値	最頻値	範囲
0	0.1	0	0
1	1.5	1	1~2
2	2.7	3	3
3	3.5	4	4

顔面麻痺: b730 筋力の機能

Score	期待値	最頻値	範囲
0	0.1	0	0
1	1.2	1	1
2	2.2	2	2
3	3.6	4	3~4

上肢の運動: b730 筋力の機能

Score	期待値	最頻値	範囲
0	0.2	0	0
1	1.3	1	1
2	2.2	2	2
3	3	3	3
4	3.8	4	4

下肢の運動: b730 筋力の機能

Score	期待値	最頻値	範囲
0	0.2	0	0
1	1.3	1	1
2	2.1	2	2
3	3	3	3
4	3.9	4	4

運動失調 : b760 随意運動の制御機能

Score	期待値	最頻値	範囲
0	0.1	0	0
1	1.6	2	1~2
2	3.1	3	3~4

感覚 : b260 固有受容覚、b265 触覚、b270 温度やその他の刺激に関連した感覚機能

Score	期待値	最頻値	範囲
0	0.1	0	0
1	1.6	2	1~2
2	3.1	3	3~4

最良の言語 : b167 言語
に関する精神機能

Score	期待値	最頻値	範囲
0	0.1	0	0
1	1.6	2	1~2
2	3.3	4	3~4

構音障害 : b320 構音機
能

Score	期待値	最頻値	範囲
0	0.1	0	0
1	1.6	2	1~2
2	3.3	3	3~4

消去現象・注意障害 :
b140 注意機能、 b156 知
覚機能

Score	期待値	最頻値	範囲
0	0.1	0	0
1	1.7	2	1~2
2	3.2	3	3~4

令和6年度 厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（統計情報総合研究））
分担研究報告書

研究課題名：多様な現場での国際生活機能分類（ICF）の円滑な実用化及び
統計への応用に向けた研究

分担課題：国際生活機能分類（ICF）の実用に向けた評価基準の標準化

研究代表者：向野 雅彦（北海道大学病院リハビリテーション科 教授）

研究分担者：山田 深（杏林大学医学部リハビリテーション医学講座 教授）

研究分担者：小松 雅代（大阪大学 大学院医学系研究科社会医学講座環境医学 助教）

研究要旨：国際生活機能分類（ICF）は、人の健康の基礎となる生活機能を包括的に分類する枠組みとして、ICDとともにWHOにおける中心分類に位置づけられている。ICFは生活機能の表現を通じ、疾病や災害等が社会に与えるインパクトを生活への影響の面から表現するのに適しており、疾病統計の充実に寄与することが期待される。しかし、ICFは1600を超える項目数の多さ、分類項目の説明のわかりにくさ等により実用においては課題が多く、これまでの研究により概念の普及や活用例の検討は進んだものの、国レベルの標準的な評価手法の確立や統計への活用には至っていない。そこでこの研究事業では、円滑な実用化と疾病統計への応用を目指し、ICFの普及のためのマニュアルや既存のスケールとの互換機能など、臨床における活用を支援するツールの作成に取り組んできた。

今年度はリハビリテーション専門職によるフィードバックを基に採点マニュアルの改訂を行い、ICFの心身機能・身体構造・活動と参加の第二レベル計211項目の採点基準を新たに作成した。さらに、仮想的な事例を用い、これらの基準を使った医療者評価の信頼性検証を実施した。これらの取り組みは、臨床家のICF活用を支援するツールを作成することで、現場での実用性を向上させることを目指している。今後、作成されたツールをベースとして、臨床に根差した包括的な生活機能評価の普及に取り組む予定である。

A. 研究目的

国際生活機能分類（ICF）は、心身機能、身体構造、活動と参加、環境因子といった生活機能の多面的な構成要素を包括的に分類する枠組みとして、WHOの中心分類に位置づけられており、疾病分類として広く普及しているICDと対を成す分類となっている。ICFは、疾患や障害の生活への影響を機能レベルで表現できる点で、個別の診療のみならず、保健・医療・福祉政策の評価や疾病統計の高度化に貢献する可能性がある。しかし、生活機能における問題の大きさを評価するためのICFの評価点に関しては、ICFのコード化に関するガイドラインに多少の説明が記載されているものの、各項目に対する具体的かつ一貫性のある採点基準が存在せず、信頼性の高い評価を困難にしている現状がある。

そこで本研究では、ICFのうち特に臨床評価の中心となる「心身機能」「身体構造」「活動と参加」の第2レベル項目（計211項目）を対象に、前年度までに策定された採点原則をもとに各項目ごとの具体的な採点基準を整備し、その信頼性を検証することを目的とした。信頼性の検討にあたっては、さまざまな生活機能の問題を網羅する実症例の確保が困難であるため、vignette法により仮想的な事例を使った検者間信頼性の検証を行った。

B. 研究方法

1. 項目別採点基準の作成

ICFの心身機能、身体構造、活動と参加の第二レベルの項目の全ての項目（211項目）に対し、採点を実施しやすくすることを目的として、前年度までに作成した項目の採点原則に基づいた項目ごとの具体的な採点基準を作成した。採点基準はこれまでに作成した採点原則を元に、リハビリテーション専門職5名（医師1名、理学療法士2名、作業療法士2名）が基準の草案を作成し、ICFを専門とする研究者2名が原則との整合性についてレビューを行う形で実施した。

2. ICFの項目別採点基準に基づいた検者間信頼性の検証

ICF第2レベル211項目の採点基準を検証するにあたり、多様な実症例を大量に収集するのは現実的でないため、本研究ではvignette法を採用した。まずChatGPT-4oで各項目の0~4点を網羅する短文の仮想的な事例を生成し、医師1名・PT2名・OT2名の計5名が臨床的妥当性や表現を点検して修正を加えた。これにより重症度のバランスの取れた事例集を準備した。

次に採点者（看護師）6名（男性2名/女性2名、38±13歳）が、作成された採点基準を参照して全事例をそれぞれ独立して採点し、重み付きGwet's AC2で検者間信頼性を評価した。Landis and Kochの基準に基づき、Gwet's AC2の値が0.60以上（Substantial以上の判定）を閾値に設定し、この数値未満である場合は採点基準を見直すこととした。

C: 研究結果

1.項目別採点基準の作成

前年度までに作成した採点基準に基づき、章ごとの採点基準を項目別に展開し、具体的な採点上の着目点や例示を加える形で修正を行った。作業はリハビリテーション専門職による研究チームの議論に基づいてドラフトを作成後、ICF 専門家のレビューを経て、ICF の心身機能、身体構造、活動と参加の項目計 211 項目それぞれの採点基準が作成された。作成した採点基準の抜粋を資料 2 に示す。

なお、環境因子については現時点では原則の例示のみにとどめ、詳細な点数基準については継続検討課題とした。

2.ICF の項目別採点基準に基づいた検者間信頼性の検証

具体例を作成するため、生成 AI の Chat GPT 4o モデルに以下のプロンプトを与え、下書きとして項目ごとに 25 の短文を作成した。

"下記の基準の 0,1,2,3,4 それぞれの具体例を 5 例ずつ挙げ、表にしてください。なお、"問題"とは健常人が通常経験する範囲を超える問題を指します。

【それぞれの項目の採点基準を記載】

例：b110 意識機能 *意識障害、意識レベルの変動などの意識機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
0 機能障害なし：意識機能に問題なし
1 軽度の機能障害：意識機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える意識機能の問題が

存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
3 重度の機能障害：意識機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
4 完全な機能障害：意識機能における完全な問題がある

【2024 年版 ICF（英語原典版）の項目の定義および下位カテゴリーとなる項目、項目の説明に含まれている Related Impairments（項目に関連する障害）を記載】

例：

Description:

General mental functions of the state of awareness and alertness, including the clarity and continuity of the wakeful state.

Inclusions:

loss of consciousness

本研究事業で

possession states

trance states

vegetative states

Exclusions: Energy and drive functions(b130)

Orientation functions(b114)

Sleep functions(b134)

Related Impairments:

clouding

coma

stupor

fugue

trance

delirium

drug-induced altered states"

さらに、生成 AI により作成された文章をリハビリテーション専門職 3 名（医師 1 名、理学療法士 1 名、作業療法士 1 名）が確認し、定義や基準との整合性を確認し、必要に応じて修正を行った。

これらの検討に基づき、心身機能、身体構造、活動と参加の計 211 項目の第二レベル項目に対し、それぞれの具体例 25 例ずつ、計 5275 例が作成された。

これらの具体例について、6 名の評価者（看護師）に基準に基づいた採点を依頼し、その結果の一致性について Gwet の AC2 の計算を行った。その結果、Gwet AC2 (linear weight) の値は 0.60～0.97 と、全ての項目で 0.6 以上 (Substantial 以上) の値を示した (資料 2)。

D: 考察

本研究では、ICF の臨床実装を支援するため、心身機能・身体構造・活動と参加に該当する第 2 レベル 211 項目すべてに対し、評価の具体性と一貫性を高める目的で項目別の採点基準を作成した。採点基準は、前年度までに作成した原則をもとに、リハビリテーション専門職による検討と ICF 専門家のレビューを経て作成された。さらに、これらの採点基準の信頼性を検証するため、vignette 法を用いて短文の事例を各項目につき 25 例作成し、6 名の看護師による独立採点を実施した。

Gwet's AC2 (linear weight) を用いて検者間信頼性を評価した結果、全ての項目において AC2 が 0.60 以上の水準を示し、採点基準が高い一致性を持つこと

が確認された。これまでの報告では、ICF の評価点のガイドラインのみに基づく評価は信頼性が低いことが示唆されているが、今回具体的な評価基準を作成したことが、評価の信頼性の向上に寄与した可能性がある。

今後は採点基準の普及と応用、さらに環境因子のための基準の作成や具体的な事例集の作成など、より臨床の実用を促進するための研究の推進を予定している。

E: 結論

今年度の事業においては、詳細な採点基準の作成とその検証に取り組んだ。今後は、具体的活用の推進に向けた取り組みを実施する予定である。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

Amatya B, Mukaino M, Stucki G, Selb M, Khan F. Content comparison of multidimensional functional outcome measures in rehabilitation and the ICF clinical functioning information tool: A scoping literature review. *Journal of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine*. 2024 Dec 1;7(4):144-59.

2. 学会発表

なし

資料 1. 作成した評価点採点基準

コード	項目	評価点	説明
b110	意識機能		*意識障害、意識レベルの変動などの意識機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：意識機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：意識機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える意識機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：意識機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
b114	見当識機能	4	完全な機能障害：意識機能における完全な問題がある
			*自己認識の障害、時間・場所などの状況認識の低下などの見当識機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：見当識機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：見当識機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える見当識機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
b117	知的機能	3	重度の機能障害：見当識機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
		4	完全な機能障害：見当識機能における完全な問題がある
			*発達遅滞、知能の低下などの知的機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：知的機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：知的機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
b122	全般的な心理社会的機能	2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える知的機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：知的機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
		4	完全な機能障害：知的機能における完全な問題がある
			*環境への適応障害、自己認識の問題などの全般的な心理社会的機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：全般的な心理社会的機能における問題がない
1	軽度の機能障害：心理社会的機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である		

		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える心理社会的機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：心理社会的機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
		4	完全な機能障害：心理社会的機能における完全な問題がある
b126	気質と人格の機能		*思考の柔軟性の低下、攻撃性の増加などの気質と人格の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：気質と人格の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：気質と人格の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える気質と人格の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：気質と人格の機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
		4	完全な機能障害：気質と人格の機能における完全な問題がある
b130	活力と欲動の機能		*モチベーションの欠如や食欲不振といった、活力と欲動の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：活力と欲動の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：活力と欲動の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える活力と欲動の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：活力と欲動の機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
		4	完全な機能障害：活力と欲動の機能における完全な問題がある
b134	睡眠機能		*不十分な睡眠や昼夜逆転といった睡眠機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：睡眠機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：睡眠機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える睡眠機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：睡眠機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
		4	完全な機能障害：睡眠機能における完全な問題がある
b140	注意機能		*一つの課題への注意の集中、複数の対象への注意の分散といった、注意機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する

		0	機能障害なし：注意機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：注意機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える注意機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：注意機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：注意機能における完全な問題がある
b144	記憶機能		*数秒から数時間の短期の記憶ができないことや過去の出来事の想起ができないことなど、記憶機能全般における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：記憶機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：記憶機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える記憶機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：記憶機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：記憶機能における完全な問題がある
b147	精神運動機能		*精神運動性の興奮または抑制などの精神運動機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：精神運動機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：精神運動機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える精神運動機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：精神運動機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：精神運動機能における完全な問題がある
b152	情動機能		*感情表現の欠如やコントロールの欠如といった、情動機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：情動機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：情動機能において問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える情動機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：情動機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
		4	完全な機能障害：情動機能における完全な問題がある
b156	知覚機能		*錯覚、幻覚、知覚の歪みといった、知覚機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する

		0	機能障害なし：知覚機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：知覚機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える知覚機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：知覚機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：知覚機能における完全な問題がある
b160	思考機能		*思考の速度の変化、思考の論理性の低下、思考の一貫性の欠如などの思考機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：思考機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：思考機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える思考機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：思考機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：思考機能における完全な問題がある
b164	高次認知機能		*抽象的思考の困難、計画立案の障害、思考の柔軟性の低下などの高次認知機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：高次認知機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：高次認知機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える高次認知機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：高次認知機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：高次認知機能における完全な問題がある
b167	言語に関する精神機能		*言語理解や言語表出の困難（失語症）といった言語に関する精神機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：言語に関する精神機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：言語機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える言語機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：言語機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：言語に関する精神機能における完全な問題がある
b172	計算機能		*数的処理能力の低下、数学的思考の困難などの計算機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する

		0	機能障害なし：計算機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：計算機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える計算機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：計算機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：計算機能における完全な問題がある
b176	複雑な運動を順序立てて行う精神機能		*運動の順序づけの障害、複雑な運動パターンの実行困難といった、複雑な運動を順序立てて行う精神機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：複雑な運動を順序立てて行う精神機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：機能にわずかな困難があるが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：複雑な運動を順序立てて行う精神機能における完全な問題がある
b180	自己と時間の経験の機能		*自己認識の障害、身体像の歪みといった、自己と時間の経験の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：自己と時間の経験の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：機能にわずかな乱れがあるが、日常生活に影響しない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：自己と時間の経験の機能における完全な問題がある
b210	視覚機能		*視力や視野の制限など、視覚の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：視覚機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：視覚機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える視覚機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：視覚機能において、重大な問題（50%以上）がある

		4	完全な機能障害：視覚機能における完全な問題がある
b215	目に付属する構造の機能		*眼球運動の制限、まぶたの機能不全、涙腺の分泌異常といった目に付属する構造の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：目に付属する構造の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：目に付属する構造の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：目に付属する構造の機能における完全な問題がある
b220	目とそれに付属する構造に関連した感覚		*眼精疲労、眼痛などの目とそれに付属する構造に関連した感覚における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：関連感覚における問題がない
		1	軽度の感覚障害：目とそれに付属する構造に関連した感覚 における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の感覚障害：1 の範囲を超える感覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の感覚障害：感覚において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な感覚障害：目に関連した感覚における完全な問題がある
b230	聴覚機能		*難聴など、聴覚機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：聴覚機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：聴覚機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える聴覚機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：聴覚機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：聴覚機能における完全な問題がある
b235	前庭機能		*平衡感覚の障害、めまいなど、動きに関連する内耳の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：前庭機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：前庭機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である

		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える前庭機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：前庭機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：前庭機能における完全な問題がある
b240	聴覚と前庭の機能に関連した感覚		*耳鳴りなどの感覚における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：関連感覚における問題がない
		1	軽度の感覚障害：聴覚と前庭の機能に関連した感覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の感覚障害：1 の範囲を超える感覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の感覚障害：感覚において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な感覚障害：聴覚や前庭に関連した感覚における完全な問題がある
b250	味覚		*味覚の喪失、味覚の減退、味覚の歪み、舌のしびれなどの味覚機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：味覚機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：味覚機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える味覚機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：味覚機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：味覚機能における完全な問題がある
b255	嗅覚		*嗅覚の喪失、嗅覚の減退、嗅覚の歪み、嗅覚過敏などの嗅覚機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：嗅覚機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：嗅覚機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える嗅覚機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：嗅覚機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：嗅覚機能における完全な問題がある
b260	固有受容覚		*関節位置感覚の低下、運動感覚の障害、姿勢感覚の喪失、筋緊張度の感覚異常などの固有受容覚機能における問題の程度と問題のある部位の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：固有受容覚における問題がない

		1	軽度の機能障害：固有受容覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える固有受容覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：固有受容覚において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：固有受容覚における完全な問題がある
b265	触覚		*触覚の喪失、触覚の減退、しびれ感、異常感覚、触覚過敏などの触覚機能における問題の程度と問題のある部位の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：触覚における問題がない
		1	軽度の機能障害：触覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える触覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：触覚において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：触覚における完全な問題がある
b270	温度やその他の刺激に関連した感覚機能		*温度感覚の異常、痛覚の異常、振動覚の異常、圧覚の異常などの感覚機能における問題の程度と問題のある部位の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：関連感覚機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：感覚機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える感覚機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：感覚機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：関連感覚機能における完全な問題がある
b280	痛みの感覚		*痛みの問題の程度、頻度および疼痛のある部位の数を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：痛みの感覚における問題がない
		1	軽度の機能障害：痛みの感覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える痛みの感覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：痛みの感覚において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：痛みの感覚における完全な問題がある
b310	音声機能		*発声障害、声量の低下など、音声機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する

		0	機能障害なし：音声機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：音声機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える音声機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：音声機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：音声機能における完全な問題がある
b320	構音機能		*構音障害、発音の歪みなど、構音機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：構音機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：構音機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える構音機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：構音機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：構音機能における完全な問題がある
b330	音 声 言 語 （発話）の 流暢性とリ ズムの機能		*発話の流暢性障害、吃音など、発話の流暢性とリズムにおける問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：流暢性とリズムの機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：発話の流暢性とリズムの機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：流暢性とリズムの機能における完全な問題がある
b340	代替性音声 機能		*喉頭摘出後の食道発声、人工喉頭の使用など、代替性音声機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：代替性音声機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：代替性音声機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：代替性音声機能における完全な問題がある

b410	心機能	<p>*心拍数の異常、心リズム障害、心不全などの心機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する</p> <p>0 機能障害なし：心機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：心機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える心機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：心機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：心機能における完全な問題がある</p>
b415	血管の機能	<p>*血管狭窄、静脈瘤などの血管機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する</p> <p>0 機能障害なし：血管機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：血管機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える血管機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：血管機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：血管機能における完全な問題がある</p>
b420	血圧の機能	<p>*高血圧、低血圧、血圧の変動などの血圧機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。</p> <p>0 機能障害なし：血圧機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：血圧機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える血圧機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：血圧機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：血圧機能における完全な問題がある</p>
b430	血液系の機能	<p>*貧血、凝固障害、白血球異常などの血液系機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。</p> <p>0 機能障害なし：血液系機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：血液系機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える血液系機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：血液系機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：血液系機能における完全な問題がある</p>

b435	免疫系の機能	<p>*免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患などの免疫系機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。</p> <p>0 機能障害なし：免疫系機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：免疫系機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える免疫系機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：免疫系機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：免疫系機能における完全な問題がある</p>
b440	呼吸機能	<p>*呼吸苦、呼吸数の異常などの呼吸機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する</p> <p>0 機能障害なし：呼吸機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：呼吸機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える呼吸機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：呼吸機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：呼吸機能における完全な問題がある</p>
b445	呼吸筋の機能	<p>*横隔膜や肋間筋などの呼吸筋の筋力低下、麻痺、協調不全などの問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する</p> <p>0 機能障害なし：呼吸筋機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：呼吸筋機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える呼吸筋機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：呼吸筋機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：呼吸筋機能における完全な問題がある</p>
b450	その他の呼吸機能	<p>*咳、くしゃみ、あくびなどの付随的な呼吸機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する</p> <p>0 機能障害なし：その他の呼吸機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：その他の呼吸機能における完全な問題がある</p>

b455	運動耐容能	<p>*呼吸機能や心機能の低下、易疲労性の増大といった、運動耐容能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する</p> <p>0 機能障害なし：運動耐容能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：運動耐容能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える運動耐容能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：運動耐容能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：運動耐容能における完全な問題がある</p>
b460	<p>心血管系と呼吸器系に関連した感覚</p>	<p>*動悸の増加、息切れの悪化、胸痛の出現などの心血管系と呼吸器系に関連した感覚における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する</p> <p>0 機能障害なし：関連感覚における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：感覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える感覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：感覚において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：関連感覚における完全な問題がある</p>
b510	摂食機能	<p>*咀嚼機能の低下、嚥下機能の低下など、摂食機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する</p> <p>0 機能障害なし：摂食機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：摂食機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える摂食機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：摂食機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：摂食機能における完全な問題がある</p>
b515	消化機能	<p>*消化酵素の分泌低下、栄養の吸収障害などの消化機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する</p> <p>0 機能障害なし：消化機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：消化機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える消化機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p>

		3	重度の機能障害：消化機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：消化機能における完全な問題がある
b520	同化機能		*サルコペニアなどの同化機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：同化機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：同化機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える同化機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：同化機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：同化機能における完全な問題がある
b525	排便機能		*便秘、下痢、便失禁などの排便機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：排便機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：排便機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える排便機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：排便機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：排便機能における完全な問題がある
b530	体重維持機能		*体重の異常な増減、肥満や痩せの進行などの体重維持機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：体重維持機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：体重維持機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える体重維持機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：体重維持機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：体重維持機能における完全な問題がある
b535	消化器系に関連した感覚		*悪心、膨満感などの消化器系に関連した感覚における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：関連感覚における問題がない
		1	軽度の機能障害：感覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である

		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える感覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：感覚において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：消化器系に関連した感覚における完全な問題がある
b540	全般的代謝機能		*糖代謝障害、脂質代謝異常などの全般的代謝機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：全般的代謝機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：全般的代謝機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える全般的代謝機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：全般的代謝機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：全般的代謝機能における完全な問題がある
b545	水分・ミネラル・電解質バランスの機能		*脱水や浮腫の出現、電解質異常などの水分・ミネラル・電解質バランスの機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：水分・ミネラル・電解質バランスの機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：水分・ミネラル・電解質バランスの機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える水分・ミネラル・電解質バランスの機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：水分・ミネラル・電解質バランスの機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：水分・ミネラル・電解質バランスの機能における完全な問題がある
b550	体温調節機能		*高熱や低体温、体温変動の増大などの体温調節機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：体温調節機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：体温調節機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える体温調節機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：体温調節機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：体温調節機能における完全な問題がある

b555	内分泌腺機能	<p>*ホルモン分泌の過剰や不足、内分泌器官の機能不全などの内分泌腺機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する</p> <p>0 機能障害なし：内分泌腺機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：内分泌腺機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える内分泌腺機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：内分泌腺機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：内分泌腺機能における完全な問題がある</p>
b610	尿排泄機能	<p>*尿量の異常、尿濃縮・希釈障害などの尿排泄機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する</p> <p>0 機能障害なし：尿排泄機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：尿排泄機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える尿排泄機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：尿排泄機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：尿排泄機能における完全な問題がある</p>
b620	排尿機能	<p>*排尿困難や失禁といった、排尿機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する</p> <p>0 機能障害なし：排尿機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える排尿機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：排尿機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：排尿機能における完全な問題がある</p>
b630	排尿機能に関連した感覚	<p>*尿意の消失、残尿感の増加、排尿時痛の出現などの排尿機能に関連した感覚における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する</p> <p>0 機能障害なし：排尿機能に関連した感覚における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：排尿機能に関連した感覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える排尿機能に関連した感覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：排尿機能に関連した感覚において、重大な問題（50%以上）がある</p>

		4	完全な機能障害：排尿機能に関連した感覚における完全な問題がある
b640	性機能		*精神的、身体的な性機能障害といった、性機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：性機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：性機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える性機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：性機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：性機能における完全な問題がある
b650	月経の機能		*月経不順、無月経などの月経機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：月経の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：月経の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える月経の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：月経の機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：月経の機能における完全な問題がある
b660	生殖の機能		*不妊、妊娠維持困難などの生殖機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：生殖の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：生殖の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える生殖の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：生殖の機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：生殖の機能における完全な問題がある
b670	性と生殖の機能に関連した感覚		*性交痛などの性と生殖の機能に関連した感覚における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：性と生殖の機能に関連した感覚における問題がない
		1	軽度の機能障害：性と生殖の機能に関連した感覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える性と生殖の機能に関連した感覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる

		3	重度の機能障害：性と生殖の機能に関連した感覚において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：性と生殖の機能に関連した感覚における完全な問題がある
b710	関節の可動性の機能		*関節拘縮や疼痛による可動域制限といった、関節の可動性の機能における問題の程度と問題のある関節の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：関節の可動性の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：関節の可動性の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1の範囲を超える関節の可動性の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：関節の可動性の機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：関節の可動性の機能における完全な問題がある
b715	関節の安定性の機能		*関節の不安定性、関節のゆるみなどの関節の安定性の機能における問題の程度と問題のある関節の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：関節の安定性の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：関節の安定性の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1の範囲を超える関節の安定性の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：関節の安定性の機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：関節の安定性の機能における完全な問題がある
b720	骨の可動性の機能		*骨の可動性の制限、骨の癒合不全の発生、骨の変形の進行などの骨の可動性の機能における問題の程度と問題のある部位の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：骨の可動性の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：骨の可動性の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1の範囲を超える骨の可動性の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：骨の可動性の機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：骨の可動性における完全な問題がある
b730	筋力の機能		*筋力の機能における問題の程度と問題のある関節の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：筋力の機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：筋力の機能において問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である

		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える筋力の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：筋力の機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：筋力における完全な問題がある
b735	筋緊張の機能		*筋緊張の亢進（痙縮）、筋緊張の低下（弛緩）などの筋緊張の機能における問題の程度と問題のある関節の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：筋緊張の機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：筋緊張の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える筋緊張の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：筋緊張の機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：筋緊張における完全な問題がある
b740	筋の持久性機能		*筋疲労の増大、筋持久力の低下、特定の筋群の早期疲労の出現などの筋の持久性機能における問題の程度と問題のある関節の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：筋の持久性機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：筋の持久性機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える筋の持久性機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：筋の持久性機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：筋の持久性における完全な問題がある
b750	運動反射機能		*伸張反射の亢進または低下、病的反射の出現、姿勢反射の減弱などの運動反射機能における問題の程度と問題のある関節の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：運動反射機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：運動反射機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える運動反射機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：運動反射機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：運動反射機能における完全な問題がある
b755	不随意運動反応機能		*姿勢保持反応の低下、バランス反応の遅延、防御反応の減弱などの不随意運動反応機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：不随意運動反応機能において問題がない

		1	軽度の機能障害：不随意運動反応機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1の範囲を超える不随意運動反応機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：不随意運動反応機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：不随意運動反応機能における完全な問題がある
b760	随意運動の 制御機能		*運動協調性の低下、運動の正確性の障害、運動のタイミングの乱れなどの随意運動の制御機能における問題の程度と問題のある関節の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：随意運動の制御機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：随意運動の制御機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1の範囲を超える随意運動の制御機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：随意運動の制御機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：随意運動の制御機能における完全な問題がある
b761	自発的運動 機能		*運動の頻度・流暢性・複雑性などの自発的運動における問題の程度と、問題がみられる部位・範囲を考慮して採点する
		0	機能障害なし：自発的運動機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：自発的運動機能に問題があるが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1の範囲を超える自発的運動機能の問題があるが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：自発的運動機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：自発的運動機能における完全な問題がある
b765	不随意運動 機能		*振戦の出現、チック症状の増加、アテトーゼ運動の悪化などの不随意運動機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：不随意運動機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：不随意運動機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1の範囲を超える不随意運動機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：不随意運動機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：不随意運動機能における完全な問題がある
b770	歩行パター ン機能		*歩行の非対称性の増加、歩行リズムの乱れ、歩幅の異常な変化などの歩行パターン機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する

		0	機能障害なし：歩行パターン機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：歩行パターン機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える歩行パターン機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：歩行パターン機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：歩行パターン機能における完全な問題がある
b780	筋と運動機能に関連した感覚		*筋疲労感、筋痛、関節位置感覚の低下などの筋と運動機能に関連した感覚における問題の程度と問題のある関節の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：筋と運動機能に関連した感覚において問題がない
		1	軽度の機能障害：筋と運動機能に関連した感覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える筋と運動機能に関連した感覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：筋と運動機能に関連した感覚において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：筋と運動機能に関連した感覚における完全な問題がある
b810	皮膚の保護機能		*皮膚の脆弱性、創傷治癒の遅延、皮膚バリア機能の低下などの皮膚の保護機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：皮膚の保護機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：皮膚の保護機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える皮膚の保護機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：皮膚の保護機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：皮膚の保護機能における完全な問題がある
b820	皮膚の修復機能		*創傷治癒の遅延、瘢痕形成の異常、ケロイドの形成などの皮膚の修復機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：皮膚の修復機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：皮膚の修復機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える皮膚の修復機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：皮膚の修復機能において、重大な問題（50%以上）がある

		4	完全な機能障害：皮膚の修復機能における完全な問題がある
b830	その他の皮膚の機能		*発汗機能の低下、皮脂分泌の異常などのその他の皮膚の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：その他の皮膚機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：その他の皮膚機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超えるその他の皮膚機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：その他の皮膚機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：その他の皮膚機能における完全な問題がある
b840	皮膚に関連した感覚		*かゆみ、皮膚の知覚過敏、触覚異常などの皮膚に関連した感覚における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：皮膚感覚における問題がない
		1	軽度の機能障害：感覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える感覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：感覚において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：皮膚感覚における完全な問題がある
b850	毛の機能		*脱毛の進行、体毛の異常な増加などの毛の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：毛の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：毛の機能における完全な問題がある
b860	爪の機能		*爪の変形、爪の脆弱化などの爪の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：爪の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：機能において、重大な問題（50%以上）がある

		4	完全な機能障害：爪の機能における完全な問題がある
d110	注意して視ること	0	問題なく自分で注意して視る（子供が遊ぶのを注視したり、目視確認作業を行ったりするなど）
		1	自分で注意して視るが、時々集中が途切れやすいことなど何らかの困難がある
		2	注意して視ることにおいていくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる
		3	注意して視ることにおいてかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる
		4	注意して視ることが全くできない
d115	注意して聞くこと	0	問題なく自分で注意して聞く（騒がしい場所で会話に集中する、ラジオを注意して聞くなど）
		1	自分で注意して聞くことができるが、時々集中が途切れやすいことなど何らかの困難がある
		2	注意して聞くことにおいていくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる
		3	注意して聞くことにおいてかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる
		4	注意して聞くことが全くできない
d120	その他の目的のある感覚	0	問題なく自分でその他の目的のある感覚（匂いを嗅いだり、食事を味わったり、質感を感じたりすることなど）を使う
		1	自分でその他の目的のある感覚を通常の範囲で使うが、何らかの困難がある
		2	その他の目的のある感覚の使用においていくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる
		3	その他の目的のある感覚の使用においてかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる
		4	その他の目的のある感覚を全く使用できない
d130	模倣	0	問題なく模倣（ジェスチャーや音、言葉を真似ることなど）による学習を自分で行う
		1	模倣による学習を自分で行うが、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	模倣による学習でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（複雑な作業、身体動作の模倣などの複雑な模倣に問題があることなどを含む）

		3	模倣による学習でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（単純な動作の模倣などの単純な模倣にも問題があることなどを含む）、もしくは支援が必要
		4	模倣による学習が全く行えていない
d131	物体を伴う行動を通じた学習	0	問題なく物体を伴う行動を通じた学習（人形や車の玩具で学習することなど）を自分で行う
		1	物体を伴う行動を通じた学習を自分で行うが、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	物体を伴う行動を通じた学習でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（ロールプレイやごっこ遊びなどの物体を伴う複雑な行動を通じた学習に問題があることなどを含む）
		3	物体を伴う行動を通じた学習でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（物体の把握、移動などの物体を伴う単純な行動を通じた学習に問題があることなどを含む）
		4	物体を伴う行動を通じた学習が全く行えていない
d132	言語の習得	0	問題なく言語の習得を自分で行う
		1	言語の習得を自分で行うが、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	言語の習得でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（複雑な文法や構文などの複雑な言語要素の習得に問題があることなどを含む）
		3	言語の習得でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（単語や基本的な文法などの単純な言語要素の習得に問題があることなどを含む）
		4	言語の習得が全く行えていない
d133	付加的言語の習得	0	問題なく付加的言語の習得を自分で行う
		1	付加的言語の習得を自分で行うが、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	付加的言語の習得でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（複雑な文法や構文など付加的言語の複雑な言語要素の習得に問題があることなどを含む）
		3	付加的言語の習得でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（単語や基本的な文法など付加的言語の単純な言語要素の習得にも問題があることなどを含む）
		4	付加的言語の習得が全く行えていない

d135	反復	0	問題なく反復による学習（教育において音読や数唱を繰り返し実施することなど）を自分でやっている
		1	反復による学習を自分で行うが、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	反復による学習でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（複数工程からなる作業などの複雑な内容の反復による学習に問題があることなどを含む）
		3	反復による学習でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（単語の音読などの単純な内容の反復による学習に問題があることなどを含む）
		4	反復による練習などが全く行えていない
d137	概念の習得	0	問題なく概念（大小、長短などの基本的概念や因果関係などの複雑な概念）の習得を自分でやっている
		1	概念の習得を自分で行うが、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	概念の習得でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（因果関係などの複雑な概念の習得に問題があることなどを含む）
		3	概念の習得でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（大小、長短などの単純な概念の習得にも問題があることなどを含む）
		4	概念の習得が全く行えていない
d138	情報の獲得	0	問題なく情報の獲得（質問によって必要な情報を得る、インターネットなどで情報を探すなど）を自分でやっている
		1	情報の獲得を自分で行うが、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	情報の獲得でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（関連情報から推測して情報を獲得することに問題があることなどを含む）
		3	情報の獲得でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（単純な質問で得られる情報の獲得にも問題があることなどを含む）
		4	情報の獲得が全く行えていない
d140	読むことの学習	0	問題なく自分で読むこと（文字を読んだり、文章を読んだりすることなど）の学習を行っている
		1	読むことの学習を自分で行うが、促しや準備が必要、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある

		2	読むことの学習でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは学習が一部（50%未満）において不十分となる（複雑な文字を読む、長文を読むことなどの複雑な内容で問題があることなどを含む）
		3	読むことの学習でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは学習が大部分（50%以上）において不十分となる（単純な文字や単語を読むことなど単純な内容に問題があることなどを含む）
		4	読むことの学習が全く行えていない
d145	書くことの学習	0	問題なく書くことの学習（文字を覚えたり、文章を書いたりすることなど）を自分で行っている
		1	書くことの学習を自分で行うが、促しや準備が必要、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	書くことの学習が一部（50%未満）でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは学習が一部（50%未満）において不十分となる（複雑な文字を書く、長い文章を書くといった複雑な内容に問題があることなどを含む）
		3	書くことの学習でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは学習が大部分（50%以上）において不十分となる（単純な文字や単語を書くといった単純な内容に問題があることなどを含む）、もしくは特別な支援を要する
		4	書くことの学習が全く行えていない
d150	計算の学習	0	問題なく計算の学習を自分で行っている
		1	計算の学習を自分で行うが、促しや準備が必要、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	計算の学習が一部（50%未満）でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは学習が一部（50%未満）において不十分となる（二桁以上の四則演算などの複雑な計算に問題があることなどを含む）
		3	計算の学習が大部分（50%以上）でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは学習が大部分（50%以上）において不十分となる（単純な一桁の四則演算など単純な計算の学習に問題があることなどを含む）
		4	計算の学習が全く行えていない
d155	技能の習得	0	問題なく技能（道具の使用やスポーツなど）の習得を行っている
		1	技能の習得を行うが、促しや準備が必要、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	技能の習得が一部（50%未満）でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは学習が一部（50%未満）において不十分となる（複数のパーツを使った組み立て作業や工具を使用した建築作業などの複雑な技能の習得に問題があることなどを含む）

		3	技能の習得でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは学習が大部分（50%以上）において不十分となる（鉛筆やカトラリーの使用などの単純な技能の習得に問題があることなどを含む）
		4	技能の習得が全く行えていない
d160	注意を集中 すること	0	問題なく自分で注意を集中する
		1	自分で注意を集中するが、集中が途切れやすいなど何らかの困難がある
		2	注意を集中することはいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（支援員による声掛けを時折要することなどを含む）
		3	注意を集中することにかかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（支援員による声掛けを頻繁に要することなどを含む）
		4	注意を集中することが全く行えていない
d163	思考	0	問題なく自分で思考する
		1	自分で思考するが、通常よりも時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	思考することはいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（思考の整理に時折支援者による誘導を要することなどを含む）
		3	思考することにかかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（誘導がなければ思考を続けられないことなどを含む）
		4	思考が全く行えていない
d166	読むこと	0	問題なく自分で読むことを行っている
		1	自分で読むことを行うが、理解に時間がかかるなど何らかの困難がある、もしくは道具（拡大鏡等）を使用する
		2	読むことはいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（支援者による解説や音読等を時折要することなどを含む）
		3	読むことにかかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（支援者による解説や音読等を頻繁に要することなどを含む）
		4	読むことが全く行えていない
d170	書くこと	0	問題なく自分で書くことを行っている
		1	自分で書くことを行うが、スムーズさに欠ける、時間がかかるなど何らかの困難がある

- 2 書くことにいくらか直接的なサポート (50%未満) を要する、もしくは一部 (50%未満) において不十分となる (支援者による修正を時折要することなどを含む)
- 3 書くことにかなりの直接的なサポート (50%以上) を要するもしくは大部分 (50%以上) において不十分となる (支援者による修正を頻繁に要することなどを含む)
- 4 書くことが全く行えていない
- d172 計算 0 問題なく自分で計算を行っている
- 1 自分で計算を行うが、時間がかかるなど何らかの困難がある
- 2 計算にいくらか直接的なサポート (50%未満) を要する、もしくは一部 (50%未満) において不十分となる (支援者による誘導を時折要することなどを含む)
- 3 計算にかなりの直接的なサポート (50%以上) を要するもしくは大部分 (50%以上) において不十分となる (支援者による誘導を頻繁に要することなどを含む)
- 4 計算が全く行えていない
- d175 問題解決 0 問題なく自分で問題解決を行っている
- 1 問題解決を自分で行っているが、アドバイスや励ましなどの間接的なサポートを要する、もしくは解決方法が限定されるなど何らかの困難、制限がある
- 2 問題解決において、一部 (50%未満) を直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは一部を行えていない (支援者による誘導を時折要することなどを含む)
- 3 問題解決において、大部分 (50%以上) を直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは大部分を行えていない (支援者による誘導を頻繁に要することなどを含む)
- 4 問題解決が全く行えていない、もしくは問題解決を他者に完全に依存する
- d177 意思決定 0 問題なく自分で意思決定を行っている
- 1 自分で意思決定ができるが、決断に時間がかかるなど軽度の困難がある
- 2 意思決定において、一部 (50%未満) を直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは一部を行えていない (支援者による誘導を時折要することなどを含む)
- 3 意思決定において、大部分 (50%以上) を直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは大部分を行えていない (支援者による誘導を頻繁に要することなどを含む)
- 4 意思決定が全く行えていない、もしくは意思決定を他者に完全に依存する
- d210 単一課題の 0 単一課題の遂行を問題なく自分で行っている
遂行
- 1 単一課題の遂行を自分で行っているが、時間がかかるなど軽度の困難がある

		2	単一課題の遂行の一部（50%未満）を直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは一部を行えていない
		3	単一課題の遂行の大部分（50%以上）を直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは大部分を行えていない
		4	単一課題を全く遂行できない、もしくは完全に他者のサポートに依存している
d220	複数課題の 遂行	0	複数課題の遂行を問題なく自分で行っている
		1	複数課題の遂行を自分で行っているが、優先順位付けに苦勞するなど軽度の困難がある
		2	複数課題の遂行を一部（50%未満）直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは一部を行えていない
		3	複数課題の遂行を大部分（50%以上）直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは大部分を行えていない
		4	複数課題の遂行が全くできない、もしくは完全に他者のサポートに依存している
d230	日課の遂行	0	日課の遂行を問題なく自分で行っている
		1	日課の遂行を自分で行っているが、アドバイスや励ましなどの間接的なサポートを要する、もしくは計画性に乏しい、活動の計画に消極的であるなど何らかの困難がある
		2	日課の遂行を一部（50%未満）直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは一部を行えていない
		3	日課の遂行を大部分（50%以上）直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは大部分を行えていない
		4	日課の遂行が全くできない、もしくは完全に他者のサポートに依存している
d240	ストレスと その他の心理的 要求への 対処	0	ストレス及びその他の心理的要求への対処を問題なく自分で行っている
		1	ストレス及びその他の心理的要求への対処を自分で行っているが、対処に他者によるアドバイスや励ましを要するなど何らかの困難がある
		2	ストレス及びその他の心理的要求への対処を一部（50%未満）直接的な他者のサポート下（支援者の声掛け、寄り添い等）で行っている、もしくは一部を行えていない
		3	ストレス及びその他の心理的要求への対処を大部分（50%以上）直接的な他者のサポート下（支援者の声掛け、寄り添い等）で行っている、もしくは大部分を行えていない

		4	ストレス及びその他の心理的要求への対処を完全に直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d310	話し言葉の理解	0	問題なく話し言葉を理解できている
		1	話し言葉の理解に制限があるが、自分でサポート（言い換えなど）を依頼することで解決できる もしくは補助具を利用している
		2	話し言葉の理解に制限があり、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（ジェスチャーや言い換えなど）が必要である
		3	話し言葉の理解に制限があり、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（ジェスチャーや言い換えなど）が必要である
		4	話し言葉が全く理解できていない
d315	非言語的メッセージの理解	0	問題なく非言語的メッセージ（身振り、表情など）を理解できている
		1	非言語的メッセージの理解に制限があるが、自分で質問することなどで解決できる
		2	非言語的メッセージの理解に制限があり、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（言語での説明など）が必要である
		3	非言語的メッセージの理解に制限があり、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（言語での説明など）が必要である
		4	非言語的メッセージを全く理解できていない
d320	公式手話によるメッセージの理解	0	問題なく公式手話によるメッセージを理解できている
		1	公式手話によるメッセージの理解に制限があるが、自分でサポート（繰り返し、書字での対応など）を依頼することで解決できる
		2	公式手話によるメッセージの理解に制限があり、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（繰り返し、書字での対応など）が必要である
		3	公式手話によるメッセージの理解に制限があり、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（繰り返し、書字での対応など）が必要である
		4	公式手話によるメッセージを全く理解できていない
d325	書き言葉によるメッセージの理解	0	問題なく書き言葉によるメッセージを理解できている

		1	書き言葉によるメッセージの理解に制限があるが、自分で調べたり質問することなどで解決できる
		2	書き言葉によるメッセージの理解に制限があり、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（平易な言葉を使うなど）が必要である
		3	書き言葉によるメッセージの理解に制限があり、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（平易な言葉を使うなど）が必要である
		4	書き言葉によるメッセージを全く理解できていない
d330	話すこと	0	問題なく話すことができている
		1	自分で話すか、時間がかかったり軽度の吃音があるなど何らかの困難がある
		2	話すことに制限があり、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（聞き返し、推測など）が必要である
		3	話すことに制限があり、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（聞き返し、推測など）が必要である
		4	話すことが全くできていない
d331	非言語的な音声表現	0	問題なく非言語的な音声表現（笑い声、泣き声など）ができている
		1	非言語的な音声表現が自分で行っているが、表現にやや不自然さがあるなど何らかの困難がある
		2	非言語的な音声表現を行っているが、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（推測など）が必要である
		3	非言語的な音声表現を行っているが、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（推測など）が必要である
		4	非言語的な音声表現が全くできていない
d332	歌うこと	0	問題なく歌うことができている
		1	自分で歌うが、声量が極端に小さいなど何らかの困難がある
		2	歌うことに一部（50%未満）制限（音域や時間が限られるなど）がある
		3	歌うことに大部分（50%以上）制限（音域や時間が限られるなど）がある
		4	歌うことが全くできていない
d335	非言語的メッセージの表出	0	問題なく非言語的メッセージの表出（身振り、表情等）ができている
		1	非言語的メッセージの表出を自分で行っているが、表現にやや不自然さがあるなど何らかの困難がある
		2	非言語的メッセージの表出を行っているが、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（推測など）が必要である

		3	非言語的メッセージの表出を行っているが、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（推測など）が必要である
		4	非言語的メッセージの表出が全くできていない
d340	公式手話によるメッセージの表出	0	問題なく公式手話によるメッセージの表出ができています
		1	公式手話によるメッセージの表出が自分で行っているが、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	公式手話によるメッセージの表出を行っているが、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（推測など）が必要である
		3	公式手話によるメッセージの表出を行っているが、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（推測など）が必要である
		4	公式手話によるメッセージの表出が全くできていない
d345	書き言葉によるメッセージの表出	0	問題なく書き言葉によるメッセージの表出ができています
		1	書き言葉によるメッセージの表出が自分でできるが、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	書き言葉によるメッセージの表出を行っているが、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（推測など）が必要である
		3	書き言葉によるメッセージの表出を行っているが、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（推測など）が必要である
		4	書き言葉によるメッセージの表出が全くできていない
d350	会話	0	問題なく会話を行っている
		1	会話をサポートなく行っているが、軽微な問題（内容の不適切さ、語彙の不足など）が存在する
		2	会話を行っているが、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（要約、推測、補足など）が必要である
		3	会話を行っているが、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（要約、推測、補足など）が必要である
		4	全く会話が行えない、会話が成立しない
d355	ディスカッション	0	問題なくディスカッションを行っている
		1	ディスカッションをサポートなく行っているが、軽微な問題（議論のずれ、語彙の不足など）が存在する

		2	ディスカッションを行っているが、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（要約、推測、補足など）が必要である
		3	ディスカッションを行っているが、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（要約、推測、補足など）が必要である
		4	全くディスカッションができない
d360	コミュニケーション用具および技法の利用	0	問題なくコミュニケーション用具および技法（電話や筆談用具など）を利用している
		1	コミュニケーション用具および技法の利用を自分でやっているが、時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	コミュニケーション用具および技法の利用を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下（操作の手伝いなど）で行っている
		3	コミュニケーション用具および技法の利用を、大部分（50%以上）サポート下（操作の手伝いなど）で行っている
		4	コミュニケーション用具および技法の利用を全く行えていない
d410	基本的な姿勢の変換	0	姿勢の変換（立つ、座るなど）を問題なく自分でやっている
		1	姿勢の変換を自分でやっているが一部もしくは全部で困難を伴う、あるいは装具や杖、手すりを使用する
		2	姿勢の変換を一部（50%未満）サポート下（見守りを含む）で行っている、もしくは実施範囲に一部（50%未満）制限がある
		3	姿勢の変換を大部分（50%以上）サポート下で行っている、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	姿勢の変換を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d415	姿勢の保持	0	姿勢の保持（立つ、座るなど）を問題なく自分でやっている
		1	姿勢の保持を自分でやっているが一部もしくは全部で困難を伴う、あるいは装具や杖、手すりを使用する
		2	姿勢の保持を一部（50%未満）サポート下（見守りを含む）で行っている、もしくは実施範囲に一部（50%未満）制限がある
		3	姿勢の保持を大部分（50%以上）サポート下で行っている、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	姿勢の保持を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d420	乗り移り（移乗）	0	移乗（座位や臥位での移乗など）を問題なく自分でやっている

		1	移乗を自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、あるいは自分で行っているが装具や杖、手すりを使用する
		2	移乗を一部もしくは全部で他者の見守り下もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	移乗を大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	移乗を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d430	持ち上げる ことと運ぶ こと	0	持ち上げることと運ぶこと（持ち上げ、手や腕、肩で運ぶことなど）を問題なく自分で行っている
		1	持ち上げることと運ぶことを自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、もしくは自分で行っているが装具や杖、手すりを使用する
		2	持ち上げることと運ぶことを一部もしくは全部で他者の見守り下もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている、あるいは実施範囲に一部（50%未満）制限がある
		3	持ち上げることと運ぶことを大部分（50%以上）サポート下で行っている、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	持ち上げることと運ぶことを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d435	下肢を使っ て物を動か すこと	0	下肢を使って物を動かすこと（足で押す、蹴ることなど）を問題なく自分で行っている
		1	下肢を使って物を動かすことを一部もしくは全部で自分で行っているが困難を伴う、あるいは自分で行っているが装具等を使用する
		2	下肢を使って物を動かすことを一部もしくは全部で他者の見守り下もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている、あるいは実施範囲に一部（50%未満）制限がある
		3	下肢を使って物を動かすことを大部分（50%以上）サポート下で行っている、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	下肢を使って物を動かすことを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d440	細かな手の 使用	0	細かな手の使用（つまむ、つかむ、操作することなど）を問題なく自分で行っている
		1	細かな手の使用を自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、あるいは自分で行っているが装具や自助具等を使用する
		2	細かな手の使用を一部もしくは全部で他者の見守り下もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている、あるいは実施範囲に一部（50%未満）制限がある

		3	細かな手の使用を大部分（50%以上）サポート下で行っている、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	細かな手の使用を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d445	手と腕の使用	0	手と腕の使用（リーチ動作、押す、引く等の動作）を問題なく自分で行っている
		1	手と腕の使用を自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、あるいは自分で行っているが装具や自助具等を使用する
		2	手と腕の使用を一部もしくは全部で他者の見守り下もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている、あるいは実施範囲に一部（50%未満）制限がある
		3	手と腕の使用を大部分（50%以上）サポート下で行っている、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	手と腕の使用を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d446	細かな足の使用	0	細かな足の使用を問題なく自分で行っている
		1	細かな足の使用を自分で行っているが困難を伴う、もしくは自分で行っているが装具や自助具等を使用する
		2	細かな足の使用において、実施範囲に一部（50%未満）制限がある
		3	細かな足の使用において、実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	細かな足の使用を全く行えていない
d450	歩行	0	歩行（短距離、長距離、悪路での歩行などを含む）を問題なく自分で行っている
		1	歩行を自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、あるいは自分で行っているが装具や杖、手すりを使用する
		2	歩行の一部もしくは全部を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	歩行を大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	歩行を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d451	階段の上り下り	0	階段の上り下りを問題なく自分で行っている
		1	階段の上り下りを自分で行っているが困難を伴う/自分で行っているが装具や杖、手すりを使用する
		2	階段の上り下りを他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	階段の上り下りを大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	歩行を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない

d455	移動	0	問題なく自分で移動（這う、走る、泳ぐなどを含む：歩行、階段昇降、用具を用いた移動を除く）ができる
		1	移動を自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、もしくは装具や杖、手すりを使用する
		2	一部もしくは全部の移動を他者の見守り下あるいは一部（50%未満）サポート下で行っている、もしくは実施範囲に一部（50%未満）制限がある
		3	移動を大部分（50%以上）をサポート下で行っている、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	完全なサポート下で移動を行っている、もしくは全く自分では行えていない
d460	さまざまな場所での移動	0	問題なくさまざまな場所での移動（屋内や屋外での移動を含む）ができる
		1	さまざまな場所での移動を自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、あるいは装具や杖、手すり、歩行器、車椅子などを使用する
		2	さまざまな場所での移動を一部もしくは全部で他者の見守り下もしくは一部（50%未満）をサポート下で行っている、もしくは実施範囲に一部（50%未満）制限がある
		3	さまざまな場所での移動を大部分（50%以上）をサポート下で行っている、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	完全なサポート下でさまざまな場所での移動を行っている、もしくは全く自分では行えていない
d465	用具を用いての移動	0	用具を用いての移動（車椅子や歩行器など）を問題なく自分で行っている
		1	用具を用いての移動を自分で行っているが困難を伴う、あるいは自分で行っているが改造や動力が必要
		2	用具を用いての移動を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	用具を用いての移動を大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	用具を用いての移動を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d470	交通機関や手段の利用	0	問題なく交通機関や手段（バス、電車、タクシーなど）を利用できる
		1	交通機関・交通手段の利用を自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、あるいは装具や杖、手すりを使用する、もしくはエレベーターの使用が必須

		2	交通機関・交通手段の利用を一部もしくは全部で他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている、あるいは実施範囲に一部（50%未満）制限がある
		3	大部分（50%以上）をサポート下で交通機関や手段を利用している、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	完全なサポート下で交通機関や手段を利用している、もしくは全く自分では利用できていない
d475	運転や操作	0	問題なく運転や操作（自転車、自動車など）ができる
		1	運転や操作ができるが一部もしくは全部で困難を伴う、もしくは自分のできるが改造や道具が必要
		2	運転や操作を一部もしくは全部で他者の見守り下で行っている、もしくは運転や操作の実施範囲に一部（50%未満）制限（短距離のみ実施するなど）がある
		3	運転や操作の実施範囲に大部分（50%以上）制限（自宅敷地内のみで実施するなど）がある
		4	運転や操作を全く行えていない
d480	交通手段として動物に乗ること	0	交通手段として動物に乗ることが問題なくできる
		1	交通手段として動物に乗ることが自分のできるが困難を伴う、もしくは自分のできるが特殊な道具等が必要
		2	他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）のサポート下で交通手段として動物に乗ることを行っている、あるいは運転や操作の実施範囲に一部（50%未満）制限（短距離のみ実施するなど）がある
		3	大部分（50%以上）をサポート下で交通手段として動物に乗ることを行っている、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限（自宅敷地内のみで実施するなど）がある
		4	完全なサポート下で運転や操作を行っている、もしくは全く自分では行えていない
d510	自分の身体を洗うこと	0	自分の身体を洗うことを問題なく自分で行っている
		1	自分の身体を洗うことを自分で行っているが困難を伴う、もしくは自分で行っているが装具や自助具、手すりを使用する
		2	自分の身体を洗うことを他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	自分の身体を洗うことを大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	自分の身体を洗うことを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない

d520	身体各部の手入れ	0	身体各部の手入れを問題なく自分でやっている
		1	身体各部の手入れを自分でやっているが困難を伴う、もしくは自分でやっているが自助具を使用する
		2	身体各部の手入れを他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	身体各部の手入れを大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	身体各部の手入れを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d530	排泄	0	排泄を問題なく自分でやっている
		1	排泄を自分でやっているが困難を伴う、もしくは自分でやっているが装具や自助具、手すりを使用する
		2	排泄を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	排泄を大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	排泄を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d540	更衣	0	更衣を問題なく自分でやっている
		1	更衣を自分でやっているが困難を伴う、もしくは自分でやっているが装具や自助具を使用する、あるいは着用可能な衣服に制限がある
		2	更衣を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	更衣を大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	更衣を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d550	食べること	0	食べることを問題なく自分でやっている
		1	食べることを自分でやっているが困難を伴う、もしくは自分でやっているが自助具を使用する、あるいは摂食可能な食形態や使用可能な食器に制限がある
		2	食べることを他者の見守り下、一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	食べることを大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	食べることを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d560	飲むこと	0	問題なく飲むことができる
		1	飲むことを自分でやっているが困難を伴う、もしくは自分でやっているが自助具を使用する、あるいは飲用可能な形態や使用可能な飲用器に制限がある
		2	飲むことを他者の見守り下、一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	飲むことを大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	飲むことを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない

d570	健康に注意 すること	0	心身の健康を維持するための自己管理を問題なく自分でやっている
		1	心身の健康を維持するための自己管理を行っているが困難を伴う、もしくは他者によるアドバイスや励まし、道具（仕切られた薬箱やタイマーなど）を必要とすることがある。
		2	心身の健康を維持するための自己管理を一部（50%未満）他者の直接的なサポート下で行っている、もしくは一部（50%未満）管理できていない
		3	心身の健康を維持するための自己管理を大部分（50%以上）他者の直接的なサポート下で行っている、もしくは大部分（50%以上）管理できていない
		4	心身の健康を維持するための自己管理を完全に他者の直接的なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d610	住居の入手	0	住居の入手（住居を借りる、購入することなど）を問題なく自分で行う
		1	住居の入手を自分で行うが困難を伴う、もしくは道具（筆談用具等）の使用を要している
		2	住居入手において一部に（50%未満）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		3	住居入手において大部分に（50%以上）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	住居の入手を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d620	物品とサービスの入手	0	問題なく自分で物品とサービスの入手（買い物など）ができる
		1	物品とサービスの入手を自分でやっているが困難を伴う/装具や自助具等の使用を要している/宅配等のサービスを利用する
		2	物品とサービスの入手において一部に（50%未満）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		3	物品とサービスの入手において大部分に（50%以上）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	物品とサービスの入手を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d630	調理	0	調理を問題なく自分でやっている
		1	調理を自分でやっているが、何らかの困難がある、もしくは自分でやっているが、補助具・自助具等を使用する
		2	調理において一部に（50%未満）他者のサポートや代行、実施範囲の制限を要している
		3	調理において大部分に（50%以上）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	調理を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない

d640	調理以外の家事	0	調理以外の家事（掃除、洗濯、ゴミ捨てなど）を支援機器や他者のサポートなしに自分でやっている
		1	調理以外の家事を自分でやっているが一部もしくは全部で困難を伴う、もしくは 装具や自助具の使用を要している
		2	調理以外の家事において一部に（50%未満）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		3	調理以外の家事において大部分に（50%以上）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	調理以外の家事を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d650	家庭用品の管理	0	家庭用品の管理（家具や車の手入れ、動物の世話など）を支援機器や他者のサポートなしに自分でやっている
		1	家庭用品の管理を自分でやっているが一部もしくは全部で困難を伴う、もしくは装具や自助具等の使用を要している
		2	家庭用品の管理において一部（50%未満）に他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		3	家庭用品の管理において大部分（50%以上）に他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	家庭用品の管理を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d660	他者への援助	0	育児、介護等他者への援助を範囲の制限や困難を伴うことなく施行している
		1	育児、介護等他者への援助を自分でやっており実施可能な範囲に制限がないが、一部もしくは全部でなんらかの困難を伴っている
		2	育児、介護等他者への援助において一部（50%未満）に他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		3	育児、介護等他者への援助において大部分（50%以上）に他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	育児、介護等他者への援助を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d710	基本的な対人関係	0	相手への配慮、意見の調整など人との交流を問題なく行っている
		1	相手への配慮、意見の調整など人との交流を行っているが、強いストレスを感じる、やりとりに時間がかかる、あるいはコミュニケーション用具の使用をするなど何らかの困難を伴う
		2	相手への配慮、意見の調整など人との交流を行うことに時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		3	相手への配慮、意見の調整など人との交流を行うことに頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある

		4	相手への配慮、意見の調整などが全く行えていない
d720	複雑な対人関係	0	複雑な対人関係の維持・調整（社会的ルールへの配慮、新たな関係の構築など）を問題なく行っている
		1	複雑な対人関係を維持・調整を自分で行っているが、強いストレスを感じる、やりとりに時間がかかる、あるいはコミュニケーション用具の使用をするなど何らかの困難を伴う
		2	複雑な対人関係の維持・調整に時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		3	複雑な対人関係の維持・調整に頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		4	複雑な対人関係の維持・調整を全く自分では行えていない
d730	よく知らない人との関係	0	よく知らない人との関係（初めて会う人に物を尋ねるなど）を必要に応じて問題なく自分で行っている
		1	よく知らない人への対応を必要に応じて行うが、強いストレスを感じる、やりとりに時間がかかる、あるいはコミュニケーション用具の使用をするなど何らかの困難を伴う
		2	よく知らない人への対応を必要に応じて行うことに時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		3	よく知らない人への対応を必要に応じて行うことに頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		4	よく知らない人への対応を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d740	公的な関係	0	公的な関係（職場での上司、部下、同僚との関係など）の維持・調整を問題なく行っている
		1	公的な関係を築き維持できるが、強いストレスを感じる、やりとりに時間がかかる、あるいはコミュニケーション用具の使用をするなど何らかの困難を伴う
		2	公的な関係の構築・維持に時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		3	公的な関係の構築・維持に頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		4	公的な関係の構築・維持を全く自分では行えていない
d750	非公式な社会的関係	0	非公式な社会的関係（友人や隣人との関係など）の維持・調整を問題なく行っている
		1	非公式な社会的関係を築き維持できるが、強いストレスを感じる、やりとりに時間がかかる、あるいはコミュニケーション用具の使用をするなど何らかの困難を伴う

		2	非公式な社会的関係の構築・維持に時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		3	非公式な社会的関係の構築・維持に頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		4	非公式な社会的関係の構築・維持を全く自分では行えていない
d760	家族関係	0	家族関係（親子、兄弟姉妹や親族）の維持・調整を問題なく行っている
		1	家族関係を築き維持できるが、強いストレスを感じる、やりとりに時間がかかる、あるいはコミュニケーション用具の使用をするなど何らかの困難を伴う
		2	家族関係の構築・維持に時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		3	家族関係の構築・維持に頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		4	家族関係の構築・維持を全く自分では行えていない
d770	親密な関係	0	夫婦や恋人との関係を構築・維持することを問題なく行っている
		1	夫婦や恋人との関係を築き維持できるが、強いストレスを感じる、やりとりに時間がかかる、あるいはコミュニケーション用具の使用をするなど何らかの困難を伴う
		2	夫婦や恋人との関係の構築・維持に時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		3	夫婦や恋人との関係の構築・維持に頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		4	夫婦や恋人との関係の構築・維持を全く行えていない
d810	非公式な教育	0	非公式な教育（家庭での勉強や技能の教育等）に問題なく参加している
		1	非公式な教育に他者の特別なサポートなしに参加しているが困難を伴う、もしくは装具や自助具、コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	非公式な教育への参加にあたって一部（50%未満）に他者の特別なサポートを要している、あるいは参加の範囲が一部制限されている
		3	非公式な教育への参加にあたって大部分（50%以上）に他者の特別なサポートを要している、あるいは参加の範囲が大部分制限されている
		4	非公式な教育に全く参加できていない
d815	就学前教育	0	就学前教育（保育園や幼稚園での教育等）に問題なく参加している
		1	就学前教育に他者の特別なサポートなしに参加しているが困難を伴う/装具や自助具、コミュニケーション機器等の使用を要している

		2	就学前教育への参加にあたって一部（50%未満）に他者の特別なサポート（発達支援等）を要している、あるいは参加の範囲が一部制限されている
		3	就学前教育への参加にあたって大部分（50%以上）に他者の特別なサポート（発達支援等）を要している、あるいは参加の範囲が大部分制限されている
		4	就学前教育に全く参加できていない
d820	学校教育	0	問題なく学校教育（小学校～高等学校）に参加できる
		1	学校教育に他者の特別なサポートなしに参加できるが、困難を伴う/装具や自助具、コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	学校教育への参加にあたって一部（50%未満）に他者の特別なサポート（支援学級での対応等）を要している、あるいは参加の範囲が一部制限されている
		3	学校教育への参加にあたって大部分（50%以上）に他者の特別なサポート（支援学級での対応等）を要している、あるいは参加の範囲が大部分制限されている
		4	学校教育に全く参加できていない
d825	職業訓練	0	問題なく職業訓練に参加できる
		1	職業訓練に他者の特別なサポートなしに参加できるが、困難を伴う/装具や自助具、コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	職業訓練への参加にあたって一部（50%未満）に他者の特別なサポート（就労支援施設等での対応等）を要している、あるいは参加の範囲が一部制限されている
		3	職業訓練への参加にあたって大部分（50%以上）に他者の特別なサポート（就労支援施設等での対応等）を要している、あるいは参加の範囲が大部分制限されている
		4	職業訓練に全く参加できていない
d830	高等教育	0	問題なく高等教育（大学、大学院、専門職教育等）に参加できる
		1	高等教育に他者の特別なサポートなしに参加できるが、困難を伴う/装具や自助具、コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	高等教育への参加にあたって一部（50%未満）に他者の特別なサポート（支援者の付き添い等）を要している、あるいは参加の範囲が一部制限されている
		3	高等教育への参加にあたって大部分（50%以上）に他者の特別なサポート（支援者の付き添い等）を要している、あるいは参加の範囲が大部分制限されている
		4	高等教育に全く参加できていない
d835	学校生活や 関連した活 動	0	問題なく学校生活や関連した活動（学校の部活やサークル等）に参加できる

		1	学校生活や関連した活動に他者の特別なサポートなしに参加できるが、困難を伴う、もしくは装具や自助具、コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	学校生活や関連した活動への参加にあたって一部（50%未満）に他者の特別なサポート（周囲の特別な配慮や支援者の付き添い等）を要している、あるいは参加の範囲が一部制限されている
		3	学校生活や関連への参加にあたって大部分（50%以上）に他者の特別なサポート（周囲の特別な配慮や支援者の付き添い等）を要している、あるいは参加の範囲が大部分制限されている
		4	学校生活や関連した活動に全く参加できていない
d840	見習研修 (職業準備)	0	問題なく見習研修（インターン、体験就労等）に参加できる
		1	見習研修に他者の特別なサポートなしに参加できるが、困難を伴う/装具や自助具、コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	見習研修への参加にあたって一部（50%未満）に他者の特別なサポート（就労支援施設の関与等）を要している、あるいは参加の範囲が一部制限されている
		3	見習研修への参加にあたって大部分（50%以上）に他者の特別なサポート（就労支援施設の関与等）を要している、あるいは参加の範囲が大部分制限されている
		4	見習研修に全く参加できていない
d845	仕事の獲得・維持・終了	0	問題なく仕事の獲得・維持・終了（就職や退職、職場での昇進に向けた取り組み等）ができる
		1	仕事の獲得・維持・終了を自分で行っているが困難を伴う/装具や自助具の使用を要している
		2	仕事の獲得・維持・終了の一部に（50%未満）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		3	仕事の獲得・維持・終了の大部分に（50%以上）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	仕事の獲得・維持・終了を全く自分では行えていない
d850	報酬を伴う仕事	0	特別な配慮や支援機器等の助けなしに報酬を得て仕事をしている
		1	報酬を得て制限なく自分で仕事を行っているが、勤務時間や仕事量の配慮、支援機器や支援環境を要している
		2	報酬を得て自分で仕事を行っているが、勤務内容の制限、他者のサポートを一部（50%未満）に要している
		3	報酬を得て自分で仕事を行っているが、勤務内容の制限、他者のサポートを大部分（50%以上）に要している

		4	報酬を得て仕事を行えていない
d855	無報酬の仕事	0	問題なく無報酬の仕事（ボランティア等）ができる
		1	無報酬の仕事を制限なく自分で行っているが困難を伴う/ 装具や自助具の使用を要している
		2	無報酬の仕事を自分で行っているが、内容の制限、他者のサポートを一部（50%未満）に要している
		3	無報酬の仕事を自分で行っているが、内容の制限、他者のサポートを大部分（50%以上）に要している
		4	無報酬の仕事を全く行えていない
d860	基本的な経済的取引	0	問題なく基本的な経済的取引（買い物の際の金銭のやり取り等）ができる
		1	基本的な経済的取引を自分で行えるが、困難を伴う/コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	基本的な経済的取引の一部（50%未満）に他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		3	基本的な経済的取引の大部分（50%以上）に他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	基本的な経済的取引を全く行えていない
d865	複雑な経済的取引	0	問題なく複雑な経済的取引（ビジネスとしての商品の売買、事業の売買等）ができる
		1	複雑な経済的取引を自分で行えるが、困難を伴う/コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	複雑な経済的取引の一部（50%未満）に他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		3	複雑な経済的取引の大部分（50%以上）に他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	複雑な経済的取引を全く行えていない
d870	経済的自給	0	問題なく経済的自給（収入や資産の管理等）ができる
		1	経済的自給ができるが、健康上の理由や社会的障壁により、困難を伴う/装具や自助具、コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	健康上の理由や社会的障壁により、経済的自給の一部（50%未満）に他者のサポートや代行を要している、あるいは実施範囲の制限を要している
		3	健康上の理由や社会的障壁により、経済的自給の大部分（50%以上）に他者のサポートや代行を要している、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	健康上の理由や社会的障壁により、経済的自給を全く自分では行えていない

d910	コミュニティライフ	0	問題なく 地域の活動や団体（冠婚葬祭や町内会の活動など）に参加できる
		1	地域の活動や団体への参加に制限がないが、健康上の理由や社会的障壁により、困難を伴う/装具や自助具、コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	健康上の理由や社会的障壁により、地域の活動や団体への参加の一部（50%未満）に他者のサポートを要している、あるいは参加が一部（50%未満）制限されている
		3	健康上の理由や社会的障壁により、地域の活動や団体への参加の大部分（50%以上）に他者のサポートや代行を要している、あるいは参加が大部分（50%以上）制限されている
		4	健康上の理由や社会的障壁により、地域の活動や団体に全く参加できていない
d920	レクリエーションとレジャー	0	趣味活動等をその範囲の制限や困難を伴うことなく行っている
		1	趣味活動等を行い、実施可能な範囲に制限がないが、なんらかの困難を伴っている
		2	趣味活動等を行っているが、一部（50%未満）に他者のサポートを要している、あるいは趣味活動等として実施可能な範囲が一部（50%未満）制限されている
		3	趣味活動等を行っているが、大部分（50%以上）に他者のサポートを要している、あるいは趣味活動等として施行可能な範囲が大部分（50%以上）制限されている
		4	趣味活動等を全く行えていない
d930	宗教とスピリチュアリティ	0	宗教活動に参加を問題なく自分で行っている
		1	宗教活動に制限がないが、健康上の理由や社会的障壁により、なんらかの困難を伴っている
		2	宗教活動を行っているが、健康上の理由や社会的障壁により、一部（50%未満）に他者のサポートを要している、もしくは一部（50%未満）制限されている
		3	宗教活動を行っているが、健康上の理由や社会的障壁により、大部分（50%以上）に他者のサポートを要している、もしくは大部分（50%以上）制限されている
		4	健康上の理由や社会的障壁により、宗教活動に全く参加できていない
d940	人権	0	人として生活するための選択や決定、その管理を問題なく自分で行っている
		1	人として生活するための選択や決定、その管理を行っているが、いづれか困難を伴う

		2	人として生活するための自己選択や決定、その管理に一部（50%未満）支障がある
		3	人として生活するための自己選択や決定、その管理に重大な（50%以上）支障がある
		4	人として生活するための自己選択や決定、その管理を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d950	政治活動と市民権	0	問題なく政治活動と市民権を行使できる
		1	政治活動と市民権の行使の範囲に制限がないが、健康上の理由や社会的障壁によるなんらかの困難を伴っている
		2	健康上の理由や社会的障壁により、政治活動と市民権の行使の一部（50%未満）に他者のサポートを要している、あるいは一部（50%未満）制限されている
		3	健康上の理由や社会的障壁により、政治活動と市民権の行使の大部分（50%以上）に他者のサポートを要している、あるいは大部分（50%以上）制限されている
		4	健康上の理由や社会的障壁により、政治活動と市民権を全く行使できていない
s110	脳の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：脳構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：脳構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：脳構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：脳構造の全てにおよぶ問題がある
s120	脊髄と関連部位の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：脊髄と関連部位の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：脊髄と関連部位の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：脊髄と関連部位の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：脊髄と関連部位の構造の全てにおよぶ問題がある
s130	髄膜の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：髄膜の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：髄膜の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：髄膜の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：髄膜の構造の全てにおよぶ問題がある

s140	交感神経系の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：交感神経系の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：交感神経系の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：交感神経系の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：交感神経系の構造の全てにおよぶ問題がある
s150	副交感神経系の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：副交感神経系の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：副交感神経系の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：副交感神経系の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：副交感神経系の構造の全てにおよぶ問題がある
s210	眼窩の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：眼窩の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：眼窩の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：眼窩の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：眼窩の構造の全てにおよぶ問題がある
s220	眼球の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：眼球の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：眼球の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：眼球の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：眼球の構造の全てにおよぶ問題がある
s230	目の周囲の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：目の周囲の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：目の周囲の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：目の周囲の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：目の周囲の構造の全てにおよぶ問題がある
s240	外耳の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：外耳の構造全体の 1/4 未満に問題がある

		2	中等度の構造障害：外耳の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：外耳の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：外耳の構造の全てにおよぶ問題がある
s250	中耳の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：中耳の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：中耳の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：中耳の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：中耳の構造の全てにおよぶ問題がある
s260	内耳の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：内耳の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：内耳の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：内耳の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：内耳の構造の全てにおよぶ問題がある
s310	鼻の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：鼻の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：鼻の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：鼻の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：鼻の構造の全てにおよぶ問題がある
s320	口の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：口の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：口の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：口の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：口の構造の全てにおよぶ問題がある
s330	咽頭の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：咽頭の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：咽頭の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：咽頭の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：咽頭の構造の全てにおよぶ問題がある
s340	喉頭の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：喉頭の構造全体の 1/4 未満に問題がある

		2	中等度の構造障害：喉頭の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：喉頭の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：喉頭の構造の全てにおよぶ問題がある
s410	心血管系の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：心血管系の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：心血管系の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：心血管系の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：心血管系の構造の全てにおよぶ問題がある
s420	免疫系の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：免疫系の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：免疫系の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：免疫系の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：免疫系の構造の全てにおよぶ問題がある
s430	呼吸器系の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：呼吸器系の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：呼吸器系の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：呼吸器系の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：呼吸器系の構造の全てにおよぶ問題がある
s510	唾液腺の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：唾液腺の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：唾液腺の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：唾液腺の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：唾液腺の構造の全てにおよぶ問題がある
s520	食道の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：食道の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：食道の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある

		3	重度の構造障害：食道の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：食道の構造の全てにおよぶ問題がある
s530	胃の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：胃の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：胃の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：胃の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：胃の構造の全てにおよぶ問題がある
s540	腸の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：腸の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：腸の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：腸の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：腸の構造の全てにおよぶ問題がある
s550	膵臓の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：膵臓の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：膵臓の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：膵臓の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：膵臓の構造の全てにおよぶ問題がある
s560	肝臓の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：肝臓の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：肝臓の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：肝臓の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：肝臓の構造の全てにおよぶ問題がある
s570	胆嚢と胆管の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：胆嚢と胆管の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：胆嚢と胆管の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：胆嚢と胆管の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：胆嚢と胆管の構造の全てにおよぶ問題がある
s580	内分泌腺の構造	0	構造障害なし

		1	軽度の構造障害：内分泌腺の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：内分泌腺の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：内分泌腺の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：内分泌腺の構造の全てにおよぶ問題がある
s610	尿路系の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：尿路系の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：尿路系の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：尿路系の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：尿路系の構造の全てにおよぶ問題がある
s620	骨盤底の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：骨盤底の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：骨盤底の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：骨盤底の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：骨盤底の構造の全てにおよぶ問題がある
s630	生殖系の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：生殖系の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：生殖系の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：生殖系の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：生殖系の構造の全てにおよぶ問題がある
s710	頭頸部の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：頭頸部の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：頭頸部の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：頭頸部の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：頭頸部の構造の全てにおよぶ問題がある
s720	肩部の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：肩部の構造全体の 1/4 未満に問題がある

		2	中等度の構造障害：肩部の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：肩部の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：肩部の構造の全てにおよぶ問題がある
s730	上肢の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：上肢の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：上肢の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：上肢の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：上肢の構造の全てにおよぶ問題がある
s740	骨盤部の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：骨盤部の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：骨盤部の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：骨盤部の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：骨盤部の構造の全てにおよぶ問題がある
s750	下肢の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：下肢の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：下肢の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：下肢の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：下肢の構造の全てにおよぶ問題がある
s760	体幹の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：体幹の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：体幹の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：体幹の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：体幹の構造の全てにおよぶ問題がある
s810	皮膚の各部の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：皮膚の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：皮膚の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：皮膚の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない

		4	完全な構造障害：皮膚の構造の全てにおよぶ問題がある
s820	皮膚の腺の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：皮膚の腺の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：皮膚の腺の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：皮膚の腺の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：皮膚の腺の構造の全てにおよぶ問題がある
s830	爪の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：爪の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：爪の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：爪の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：爪の構造の全てにおよぶ問題がある
s840	毛の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：毛の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：毛の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：毛の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：毛の構造の全てにおよぶ問題がある

資料 2 検者間信頼性の検証結果

item	gwetAC2	標準誤差	95%信頼区間	信頼性					
					b410	0.73	0.05	0.64–0.82	Substantial
b110	0.68	0.05	0.58–0.78	Substantial	b415	0.85	0.03	0.79–0.91	Almost perfect
b114	0.69	0.04	0.61–0.78	Substantial	b420	0.76	0.03	0.70–0.83	Substantial
b117	0.78	0.04	0.70–0.86	Substantial	b430	0.75	0.04	0.68–0.83	Substantial
b122	0.60	0.05	0.50–0.70	Substantial	b435	0.78	0.04	0.70–0.85	Substantial
b126	0.62	0.05	0.53–0.71	Substantial	b440	0.79	0.04	0.71–0.87	Substantial
b130	0.68	0.05	0.59–0.77	Substantial	b445	0.79	0.04	0.71–0.87	Substantial
b134	0.65	0.04	0.57–0.73	Substantial	b450	0.81	0.04	0.74–0.87	Almost perfect
b140	0.60	0.05	0.50–0.71	Substantial	b455	0.67	0.06	0.56–0.78	Substantial
b144	0.72	0.05	0.62–0.81	Substantial	b460	0.75	0.04	0.67–0.83	Substantial
b147	0.74	0.04	0.65–0.82	Substantial	b510	0.61	0.06	0.50–0.72	Substantial
b152	0.69	0.06	0.58–0.80	Substantial	b515	0.74	0.04	0.67–0.82	Substantial
b156	0.83	0.04	0.75–0.91	Almost perfect	b520	0.61	0.06	0.50–0.72	Substantial
b160	0.62	0.05	0.52–0.72	Substantial	b525	0.70	0.04	0.62–0.79	Substantial
b164	0.66	0.05	0.57–0.75	Substantial	b530	0.68	0.05	0.58–0.79	Substantial
b167	0.66	0.05	0.57–0.76	Substantial	b535	0.72	0.04	0.63–0.81	Substantial
b172	0.63	0.06	0.51–0.75	Substantial	b540	0.79	0.04	0.71–0.86	Substantial
b176	0.69	0.05	0.59–0.79	Substantial	b545	0.67	0.05	0.58–0.76	Substantial
b180	0.71	0.04	0.63–0.79	Substantial	b550	0.65	0.06	0.54–0.77	Substantial
b210	0.86	0.03	0.81–0.91	Almost perfect	b555	0.69	0.05	0.60–0.78	Substantial
b215	0.88	0.02	0.83–0.93	Almost perfect	b610	0.83	0.03	0.77–0.89	Almost perfect
b220	0.92	0.03	0.87–0.98	Almost perfect	b620	0.80	0.03	0.74–0.87	Almost perfect
b230	0.84	0.03	0.77–0.90	Almost perfect	b630	0.79	0.04	0.71–0.86	Substantial
b235	0.91	0.04	0.84–0.98	Almost perfect	b640	0.85	0.03	0.80–0.90	Almost perfect
b240	0.80	0.03	0.74–0.85	Substantial	b650	0.82	0.03	0.76–0.88	Almost perfect
b250	0.81	0.02	0.76–0.86	Almost perfect	b660	0.84	0.03	0.78–0.90	Almost perfect
b255	0.86	0.03	0.80–0.91	Almost perfect	b670	0.85	0.03	0.78–0.91	Almost perfect
b260	0.86	0.03	0.81–0.91	Almost perfect	b710	0.82	0.03	0.76–0.88	Almost perfect
b265	0.76	0.04	0.67–0.85	Substantial	b715	0.80	0.04	0.71–0.89	Substantial
b270	0.78	0.03	0.71–0.85	Substantial	b720	0.78	0.03	0.72–0.84	Substantial
b280	0.77	0.03	0.71–0.83	Substantial	b730	0.84	0.03	0.78–0.89	Almost perfect
b310	0.87	0.03	0.81–0.92	Almost perfect	b735	0.78	0.04	0.71–0.85	Substantial
b320	0.97	0.02	0.94–1.00	Almost perfect	b740	0.81	0.03	0.76–0.87	Almost perfect
b330	0.85	0.03	0.79–0.92	Almost perfect	b750	0.79	0.04	0.71–0.86	Substantial
b340	0.95	0.02	0.90–0.99	Almost perfect	b755	0.79	0.04	0.72–0.86	Substantial

b760	0.78	0.04	0.70–0.86	Substantial	d310	0.79	0.03	0.72–0.86	Substantial
b761	0.87	0.04	0.79–0.95	Almost perfect	d315	0.80	0.04	0.72–0.88	Substantial
b765	0.82	0.03	0.76–0.88	Almost perfect	d320	0.90	0.02	0.86–0.95	Almost perfect
b770	0.80	0.04	0.72–0.87	Substantial	d325	0.82	0.03	0.76–0.88	Almost perfect
b780	0.90	0.03	0.84–0.96	Almost perfect	d330	0.84	0.03	0.77–0.90	Almost perfect
b810	0.80	0.04	0.73–0.87	Substantial	d331	0.80	0.03	0.74–0.86	Almost perfect
b820	0.77	0.04	0.68–0.85	Substantial	d332	0.87	0.03	0.81–0.93	Almost perfect
b830	0.80	0.04	0.72–0.87	Substantial	d335	0.80	0.03	0.73–0.86	Substantial
b840	0.83	0.03	0.77–0.89	Almost perfect	d340	0.83	0.03	0.77–0.90	Almost perfect
b850	0.78	0.03	0.72–0.84	Substantial	d345	0.83	0.03	0.77–0.88	Almost perfect
b860	0.81	0.03	0.75–0.88	Almost perfect	d350	0.84	0.03	0.79–0.88	Almost perfect
d110	0.78	0.04	0.71–0.85	Substantial	d355	0.72	0.05	0.63–0.81	Substantial
d115	0.74	0.05	0.65–0.83	Substantial	d360	0.80	0.04	0.73–0.87	Almost perfect
d120	0.90	0.03	0.85–0.95	Almost perfect	d410	0.88	0.03	0.81–0.94	Almost perfect
d130	0.84	0.03	0.78–0.90	Almost perfect	d415	0.88	0.03	0.82–0.93	Almost perfect
d131	0.87	0.03	0.81–0.93	Almost perfect	d420	0.84	0.03	0.78–0.90	Almost perfect
d132	0.80	0.04	0.72–0.87	Substantial	d430	0.81	0.03	0.75–0.87	Almost perfect
d133	0.87	0.03	0.81–0.93	Almost perfect	d435	0.86	0.02	0.82–0.91	Almost perfect
d135	0.82	0.04	0.75–0.90	Almost perfect	d440	0.86	0.03	0.80–0.92	Almost perfect
d137	0.89	0.02	0.84–0.93	Almost perfect	d445	0.81	0.04	0.74–0.89	Almost perfect
d138	0.82	0.04	0.75–0.89	Almost perfect	d446	0.85	0.03	0.79–0.91	Almost perfect
d140	0.76	0.04	0.69–0.83	Substantial	d450	0.85	0.03	0.79–0.91	Almost perfect
d145	0.88	0.03	0.83–0.93	Almost perfect	d451	0.84	0.04	0.77–0.92	Almost perfect
d150	0.84	0.04	0.77–0.91	Almost perfect	d455	0.85	0.03	0.80–0.91	Almost perfect
d155	0.83	0.03	0.76–0.89	Almost perfect	d460	0.90	0.03	0.84–0.96	Almost perfect
d160	0.84	0.04	0.77–0.91	Almost perfect	d465	0.88	0.03	0.83–0.93	Almost perfect
d163	0.83	0.03	0.77–0.89	Almost perfect	d470	0.80	0.04	0.73–0.87	Almost perfect
d166	0.85	0.03	0.79–0.91	Almost perfect	d475	0.80	0.04	0.73–0.87	Substantial
d170	0.85	0.03	0.80–0.91	Almost perfect	d480	0.80	0.04	0.73–0.87	Almost perfect
d172	0.84	0.03	0.78–0.90	Almost perfect	d510	0.92	0.03	0.87–0.97	Almost perfect
d175	0.71	0.05	0.62–0.79	Substantial	d520	0.87	0.03	0.81–0.94	Almost perfect
d177	0.84	0.04	0.77–0.92	Almost perfect	d530	0.85	0.03	0.78–0.91	Almost perfect
d210	0.81	0.03	0.76–0.87	Almost perfect	d540	0.85	0.04	0.78–0.92	Almost perfect
d220	0.91	0.03	0.85–0.97	Almost perfect	d550	0.82	0.04	0.74–0.89	Almost perfect
d230	0.86	0.03	0.79–0.92	Almost perfect	d560	0.84	0.03	0.78–0.90	Almost perfect
d240	0.82	0.03	0.76–0.88	Almost perfect	d570	0.78	0.03	0.71–0.85	Substantial

d610	0.84	0.03	0.78–0.91	Almost perfect	s150	0.78	0.05	0.69–0.88	Substantial
d620	0.87	0.03	0.81–0.92	Almost perfect	s210	0.77	0.06	0.66–0.88	Substantial
d630	0.83	0.04	0.76–0.90	Almost perfect	s220	0.80	0.05	0.71–0.89	Substantial
d640	0.86	0.04	0.79–0.93	Almost perfect	s230	0.82	0.05	0.72–0.91	Almost perfect
d650	0.87	0.03	0.81–0.92	Almost perfect	s240	0.85	0.04	0.78–0.92	Almost perfect
d660	0.81	0.03	0.75–0.87	Almost perfect	s250	0.78	0.03	0.71–0.84	Substantial
d710	0.84	0.03	0.78–0.90	Almost perfect	s260	0.85	0.04	0.77–0.92	Almost perfect
d720	0.83	0.04	0.76–0.91	Almost perfect	s310	0.86	0.04	0.79–0.93	Almost perfect
d730	0.87	0.03	0.81–0.93	Almost perfect	s320	0.81	0.04	0.73–0.89	Almost perfect
d740	0.85	0.03	0.79–0.91	Almost perfect	s330	0.75	0.05	0.65–0.84	Substantial
d750	0.86	0.03	0.80–0.91	Almost perfect	s340	0.77	0.05	0.67–0.87	Substantial
d760	0.80	0.03	0.75–0.86	Almost perfect	s410	0.88	0.03	0.82–0.93	Almost perfect
d770	0.86	0.03	0.80–0.93	Almost perfect	s420	0.68	0.05	0.58–0.79	Substantial
d810	0.86	0.02	0.82–0.90	Almost perfect	s430	0.84	0.03	0.77–0.90	Almost perfect
d815	0.82	0.03	0.76–0.88	Almost perfect	s510	0.79	0.05	0.70–0.87	Substantial
d820	0.85	0.03	0.79–0.91	Almost perfect	s520	0.76	0.05	0.67–0.86	Substantial
d825	0.84	0.03	0.78–0.91	Almost perfect	s530	0.84	0.04	0.77–0.92	Almost perfect
d830	0.86	0.03	0.80–0.92	Almost perfect	s540	0.80	0.04	0.72–0.88	Substantial
d835	0.87	0.03	0.82–0.93	Almost perfect	s550	0.75	0.05	0.65–0.84	Substantial
d840	0.86	0.04	0.79–0.93	Almost perfect	s560	0.78	0.05	0.69–0.87	Substantial
d845	0.88	0.03	0.83–0.94	Almost perfect	s570	0.84	0.04	0.75–0.92	Almost perfect
d850	0.82	0.03	0.77–0.88	Almost perfect	s580	0.89	0.04	0.82–0.96	Almost perfect
d855	0.84	0.03	0.78–0.90	Almost perfect	s610	0.70	0.05	0.60–0.81	Substantial
d860	0.82	0.04	0.75–0.90	Almost perfect	s620	0.77	0.04	0.69–0.85	Substantial
d865	0.86	0.03	0.79–0.92	Almost perfect	s630	0.79	0.03	0.72–0.86	Substantial
d870	0.87	0.03	0.81–0.92	Almost perfect	s710	0.73	0.05	0.64–0.82	Substantial
d910	0.87	0.03	0.82–0.92	Almost perfect	s720	0.73	0.04	0.64–0.82	Substantial
d920	0.81	0.03	0.75–0.87	Almost perfect	s730	0.67	0.05	0.56–0.78	Substantial
d930	0.82	0.03	0.76–0.88	Almost perfect	s740	0.72	0.05	0.62–0.81	Substantial
d940	0.79	0.03	0.73–0.86	Substantial	s750	0.71	0.05	0.61–0.81	Substantial
d950	0.78	0.05	0.69–0.87	Substantial	s760	0.81	0.04	0.72–0.89	Almost perfect
s110	0.81	0.03	0.75–0.87	Almost perfect	s810	0.74	0.05	0.65–0.83	Substantial
s120	0.65	0.06	0.52–0.78	Substantial	s820	0.70	0.05	0.59–0.81	Substantial
s130	0.78	0.05	0.69–0.87	Substantial	s830	0.73	0.05	0.64–0.83	Substantial
s140	0.79	0.04	0.70–0.87	Substantial	s840	0.81	0.04	0.73–0.89	Almost perfect

令和6年度 厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（統計情報総合研究））
分担研究報告書

研究課題名：多様な現場での国際生活機能分類（ICF）の円滑な実用化及び
統計への応用に向けた研究

分担課題： 既存の評価スケールとICFの項目対応表および点数換算式の作成

研究分担者：小松 雅代（大阪大学 大学院医学系研究科社会医学講座環境医学 助教）

研究代表者：向野 雅彦（北海道大学病院リハビリテーション科 教授）

研究要旨：本研究事業は、既存臨床スケールの情報を国際生活機能分類（ICF）に統合し、疾患横断で生活機能データを統合できる実装モデルの確立を目的とする。ICFは機能・活動・参加に加え環境因子までを包含するWHOの中心分類の一つであるが、1,600項目超の項目から構成されること、運用のための具体的なガイドが不足していることが障壁となり、臨床・統計分野での定着に課題がある。

今年度は、1) NYHA、mMRC、Hugh Jones、股関節 JOA、NIHSS、SIAS、Barthel Index、IADL、EQ-5D-3L の 8 スケールについて項目対応表を拡充、2) 医療・リハビリテーション専門職 647 名を対象にアンケート調査を実施し、それらのスケールのICF 0～4 点への点数換算表を整備した。換算表の作成にあたっては、様々な活用の方法に対応することを想定し、重み付け回答数・行内割合から算出した期待値・最頻値を記載し、さらにスケール段階が ICF 5 段階未満の場合は高頻度範囲を併記する形式で作成した。

これにより作成された臨床スケールからICFへの基本的な換算表ライブラリは、循環器・呼吸器・整形外科・神経領域など多彩なアウトカムの情報を ICF に集約し、電子カルテや研究データベースでの横断的解析、ならびに疾病統計への応用の基盤とすることができる可能性がある。今後はライブラリ拡充を継続し、多領域の専門家と協働して ICF 評価の社会実装を推進する予定である。

A. 研究目的

国際生活機能分類 (ICF) は、疾病を分類する国際疾病分類 (ICD) と対を成し、人の機能・活動・参加、さらに環境因子までを包括的に記述する“生活機能”の枠組みとして、世界保健機関 (WHO) の中心分類に位置づけられ、国内の導入に向けた検討が進められている。

しかし実用面では、1,600 を超える項目数、使用方法についてのガイドの不足などにより、臨床および統計分野における普及に依然課題がある。この課題に対し、2019年から2021年にかけて設置された厚生労働省生活機能分類普及推進検討ワーキンググループで、ICF のダイジェスト版に相当する ICD-11 第 V 章の採点リファレンスガイドを開発するなど、一部の領域から臨床での運用検証を進めてきた。その中で、すでに普及している既存の臨床スケールを ICF に集約する手法についての検証も進められてきた。

本研究はその取り組みを拡張し、既存の臨床評価スケールを国際生活機能分類 (ICF) に結び付け、疾患横断で生活機能情報を共有・統合できる実装モデルの確立を目指している。具体的には ICF の普及を支援するツールの一つとして、既存臨床スケールとの項目対応表 (既存のスケールが ICF のどの項目に対応するかを示すもの)、さらには点数換算表の作成に取り組んでいる。

今年度は、これまで作成に取り組んできた項目対応表のさらなる拡充を実施した。ICF 第二レベル211項目における評価点の採点基準作成の取り組みと連携しながら、医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師計 647 名を対象とした大規模ア

ンケートを実施し、点数換算表の作成を行った。これらの成果は、ICF を基盤とした横断的アウトカム比較と疾病統計への応用を一層推進する基盤となる可能性がある。

B. 研究方法

1. 既存の評価スケールと ICF の項目対応表の作成

前年度に引き続き、疾患に関連する心身機能項目の評価尺度を中心に、項目対応表を作成した。

項目対応表の作成にあたっては、リハビリテーション専門職 4 名 (医師 2 名、理学療法士 1 名、作業療法士 1 名) が参加し、ワーキンググループで作成されたリコードにおける以下の対応表作成ルールに基づいて実施した。

- 1) 二人以上の研究者が独立して対応する ICF (もしくは ICD-11 「V 章」) の項目を検討し、協議を経て決定する。
- 2) 項目の対応は、第二レベルを基本とする。
- 3) リコードの対象となる評価尺度の 1 項目に対し、対応する ICF (もしくは ICD-11 「V 章」) の 1 項目を同定することを基本とする。ただし、協議の結果、内容が複数項目に及んでおり 1 つに絞ることが難しいと判断された場合には、2 つ以上の項目を対応項目として挙げることを許容する。さらに、WHO から公開されている ICF コーディングツールが第三レベルでのコーディングを基本としていることから、第三レベルのコードについても同様にリストを作成した。作成したリストは ICF 専門家 2 名のレビューを経て決定した。

2.既存の評価スケールと ICF の点数換算表の作成

前年度に予備的な結果を報告した Barthel Index および IADL 尺度に加え、NYHA 心機能分類、修正 MRC 息切れスケール、Hugh Jones 分類、股関節 JOA スコア、EQ5D-3L、NIH 脳卒中スケールにおける点数換算表の作成に取り組んだ。点数換算表の作成は、リハビリテーション専門職に対するアンケートをベースに実施した。プロセスは以下の通りである。

1) リハビリテーション専門職を対象に、既存のスケールの点数それぞれが、ICF の評価点において何点に相当するか、アンケートを実施する。2) アンケートの結果から、例えば当該スケールの 1 点と等しいとされた ICF の評価点の最頻値および期待値を算出し、代表値とする。

C: 研究結果

2-a.既存の評価スケールと ICF の項目対応表の作成

対応表作成ルールに基づき、NYHA心機能分類、MRS息切れスケール、Hugh Jones分類、股関節JOAスコア、NIH Stroke Scale、Stroke Impairment Assessment Set(SIAS)の項目対応表を作成した。作成した対応表を資料3に示す。

2-b. 既存の評価スケールとICFの点数換算表の作成

前年度に予備的な調査を実施したBarthel IndexおよびIADL尺度に加え、NYHA心機能分類、MRS息切れスケール、Hugh Jones分類、股関節JOAスコア、NIH Stroke Scale、EQ5D-3Lの各項目の点数と、それ

に相当するICFの評価点についてリハビリテーション専門職を対象とした以下の調査を計647名の医療・リハビリテーション専門職（医師・PT・OT・ST・看護師等）を対象に実施した。

調査1) Barthel Index, IADL尺度

155名のリハビリテーション専門職（平均年齢35±8、男性112名/女性43名、医師6名/PT77名/OT60名/ST10名/MSW1名）が調査に参加した。

調査2) 股関節JOAスコア

72名のリハビリテーション専門職（平均年齢34±10、男性40名/女性32名、医師3名/PT42名/OT25名/ST1名/MSW1名）が調査に参加した。

調査3) NYHA、修正 MRC 息切れスケール、Hugh Jones 分類、EQ5D-3L

99名のリハビリテーション専門職（平均年齢31±8、男性63名/女性36名、医師2名/PT54名/OT36名/ST7名）が調査に参加した。

調査4) NIH 脳卒中スケール

321名の医療職（平均年齢41±10、男性63名/女性36名、看護師182名/PT91名/OT43名/ST5名）が調査に参加した。

対象スケール各スコアに対応する ICF 評価点のアンケート結果を資料 2 にまとめた。表には ①重み付け後の回答数（n 個の複数回答をした場合、1/n で重み付け）、②行内割合（%）、③期待値、④最頻値を掲載している。なお、対象スケールの段階数が ICF の 5 段階より少ない場合は、回答頻度が高い ICF スコアの範囲も併記した。

D: 考察

本研究事業では、既存の臨床評価スケールを国際生活機能分類（ICF）に結び付け、疾患横断で生活機能情報を共有・統合できる実装モデルの確立を目指している。今年度は、

NYHA 心機能分類、修正 MRC 息切れスケール、Hugh Jones 分類、股関節 JOA スコア、NIH Stroke Scale、Stroke Impairment Assessment Set (SIAS) の 6 スケールを対象に、前年度までに整備した対応ルールを適用して項目対応表を拡充した。また、前年度に予備調査を行った Barthel Index と IADL 尺度に加え、EQ-5D-3L を含む計 8 スケールについて点数換算表を作成するため、医療・リハビリテーション専門職 計 647 名（医師・PT・OT・ST・看護師等）を対象に大規模アンケート調査を実施し、ICF 0～4 点への対応値を算出した。得られた重み付け回答数・行内割合を基に期待値・最頻値への換算表を作成、対象スケールの段階が ICF の 5 段階より少ない場合には、頻度上位の ICF 範囲を併記した。

今回整備した項目対応表と点数換算表は、循環器、呼吸器、整形外科、神経内科、脳神経外科領域等様々な場面で用いられる指標を ICF の共通言語へ翻訳するための基盤とすることができる。これにより、部門間で臨床で生活機能に関する情報を統合しやすくなるだけでなく、疾患の生活面から見た重症度、リハビリテーションの実績や研究アウトカムを疾患横断的に比較できる基盤とすることができる可能性がある。

今後はさらに項目対応表、点数換算表のライブラリを充実させるため、引き続き取り組みを継続する予定である。

E: 結論

今年度の事業においては、ICF活用の実用を進めるべく、臨床スケールからの情報集約のためのライブラリ充実に取り組んだ。今後は、多領域の専門家のフィードバックを得ながら、さらに社会実装の推

進に向けた取り組みを実施する予定である。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

3. 論文発表

Umemori S, Ogawa M, Yamada S, Komatsu M, Oikawa E, Okamoto Y, Katoh M, Shirasaka T, Abiko K, Moriizumi S, Matsuo Y, Tohyama H, Mukaino M. Development of a Conversion Table Linking Functional Independence Measure Scores to International Classification of Functioning, Disability, and Health Qualifiers: Insights from a Survey of Healthcare Professionals. *Healthcare (Basel)*. 2024 Apr 15;12(8):831.

4. 学会発表

なし

資料 1 既存の評価スケールと ICF/ICD-11V 章の項目対応表

	ICD-11V	ICF 第二レベル項目	ICF 第三レベル項目以下
NYHA 心機能分類	VV3Y その他の特定の心血管系、血液系、免疫系及び呼吸器系の機能	b410 心機能	-
MRC 息切れスケール	VV3Y その他の特定の心血管系、血液系、免疫系及び呼吸器系の機能	b440 呼吸機能	-
Hugh-Jones 分類	VV3Y その他の特定の心血管系、血液系、免疫系及び呼吸器系の機能	b440 呼吸機能	-
股関節JOA スコア	ICD-11V	ICF 第二レベル項目	ICF 第三レベル項目以下
I. 疼痛	VV12 痛みを感じる	b280 痛みを感じる	b28015 下肢の痛み
II. 可動域	VV60 関節の可動性の機能	b710 関節の可動性の機能	b71001 一つの関節の可動性
III. 歩行能力	VV13 歩行	d450 歩行	-
IV. 日常生活動作			
腰掛け	VV1Y その他の特定の運動・移動	d410 基本的な姿勢の交換	d4103 座ること
立ち仕事 (家事含む、30分持続)	VV10 立位の保持	d415 姿勢の保持	d4154 立位の保持
しゃがみこみ・立ち上がり	VV1Y その他の特定の運動・移動	d410 基本的な姿勢の交換	d4101 しゃがむこと、d4101 立つこと
階段の昇り降り	VV1Y その他の特定の運動・移動	d451 階段の上り下り	-
車・バスなどの乗り降り	VV16 交通機関・交通手段の利用	d470 交通機関や手段の利用	d4702 動力付きの公共交通機関の利用
NIH Stroke Scale	ICD-11V	ICF 第二レベル項目	ICF 第三レベル項目
意識水準	VV0Y その他の特定の精神機能	b110 意識機能	-
意識障害一質問	VV0Y その他の特定の精神機能	b114 見当識機能	b1140 時間に関する見当識
意識障害一従命	VV0Y その他の特定の精神機能	b110 意識機能	-
最良の注視	VV8Y その他の特定の学習及び知識の応用	d110 注意して視ること	-
視野	VV10 視覚及び関連機能	b210 視覚機能	d2101 視野
顔面麻痺	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7308 その他の特定の、筋力の機能
上肢の運動 (左右それぞれ)	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7301 一肢の筋力
下肢の運動 (左右それぞれ)	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7301 一肢の筋力
運動失調	VV6Y その他の特定の神経筋骨格及び運動に関連する機能	b760 随意運動の制御機能	-
感覚	VV1Y その他の特定の感覚機能及び痛み	b260 固有受容覚、b265 触覚、b270 温度やその他の刺激に関連した感覚機能	-
最良の言語	VV0Y その他の特定の精神機能	b167 言語に関する精神機能	-
構音障害	VV2Y その他の特定の音声及び発話の機能	b320 構音機能	-
消去現象・注意障害	VV02 注意機能 VV0Y その他の特定の精神機能	b140 注意機能 b156 知覚機能	-
Stroke Impairment Assessment Set	ICD-11V	ICF 第二レベル項目	ICF 第三レベル項目

Knee-mouth test	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7301 一肢の筋力
Finger-function test	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7301 一肢の筋力
Hip-flexion test	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7301 一肢の筋力
Knee-extension test	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7301 一肢の筋力
Foot-pat test	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7301 一肢の筋力
U/EDTR (biceps or triceps)	VV6Y その他の特定の神経筋骨格及び運動に関連する機能	b750 運動反射機能	b7500 筋伸長反射
L/F DTR (PTR or ATR)	VV6Y その他の特定の神経筋骨格及び運動に関連する機能	b750 運動反射機能	b7500 筋伸長反射
U/E muscle tone	VV6Y その他の特定の神経筋骨格及び運動に関連する機能	b735 筋緊張の機能	b7351 一肢の筋緊張
L/E muscle tone	VV6Y その他の特定の神経筋骨格及び運動に関連する機能	b735 筋緊張の機能	b7351 一肢の筋緊張
U/E light touch (手掌)	VVIY その他の特定の感覚機能及び痛み	b265 触覚機能	-
L/E light touch (足底)	VVIY その他の特定の感覚機能及び痛み	b265 触覚機能	-
U/E position (母指 or 示指)	VVIY その他の特定の感覚機能及び痛み	b260 固有受容覚	-
L/E position (母趾)	VVIY その他の特定の感覚機能及び痛み	b260 固有受容覚	-
U/ROM	VV60 関節可動性の機能	b710 関節可動性の機能	-
L/ROM	VV60 関節可動性の機能	b710 関節可動性の機能	-
Pain	VVI2 痛みの感覚	b280 痛みの感覚	-
Verticality test	VVIY その他の特定の感覚機能及び痛み	b156 知覚機能	b1565 視空間知覚
Abdominal MMT	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7302 体幹の筋力
Visuo-spatial deficit	VVIY その他の特定の感覚機能及び痛み	b156 知覚機能	b1565 視空間知覚
Speech	VV0Y その他の特定の精神機能	b167 言語に関する精神機能	-
Sound side: Quadriceps MMT	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7301 一肢の筋力
Sound side: Grip strength	VV61 筋力の機能	b730 筋力の機能	b7301 一肢の筋力

資料2 既存の評価スケールと ICF の評価点換算表
 (複数回答は 1/n の重みにて計算、括弧内は行内%)

NYHA 分類

b410 心機能

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値	範囲
I	75.3 (76.9%)	22.3 (22.8%)	0.3 (0.3%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.2	0	0
II	1.2 (1.3%)	45.7 (48.1%)	45.7 (48.1%)	1.7 (1.8%)	0.7 (0.7%)	1.5	1	1~2
III	0.0 (0.0%)	2.3 (2.4%)	36.3 (37.8%)	54.3 (56.6%)	3.0 (3.1%)	2.6	3	3
IV	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	1.0 (1.0%)	20.5 (21.1%)	75.5 (77.8%)	3.8	4	4

MRC 息切れ
スケール

b440 呼吸機
能

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値
0	79.0 (81.4%)	18.0 (18.6%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.2	0
1	1.1 (1.3%)	57.3 (68.3%)	24.8 (29.5%)	0.6 (0.7%)	0.2 (0.3%)	1.3	1
2	0.0 (0.0%)	3.0 (3.5%)	64.0 (74.4%)	18.5 (21.5%)	0.5 (0.6%)	2.2	2
3	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	3.5 (4.3%)	64.0 (79.0%)	13.5 (16.7%)	3.1	3
4	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.3 (0.4%)	5.3 (6.5%)	76.3 (93.1%)	3.9	4

Hugh Jones
分類

b440 呼吸機
能

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値
1	86.0 (88.7%)	11.0 (11.3%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.1	0
2	3.6 (3.7%)	73.8 (76.0%)	18.3 (18.9%)	0.8 (0.8%)	0.6 (0.6%)	1.2	1
3	0.2 (0.3%)	12.5 (13.6%)	69.2 (75.3%)	9.8 (10.6%)	0.2 (0.3%)	2.0	2
4	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	6.8 (7.6%)	71.3 (79.3%)	11.8 (13.1%)	3.1	3
5	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	7.5 (8.8%)	77.5 (91.2%)	3.9	4

EQ5D

移動の程度 d450 歩行

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値	範囲
1	84.7 (85.6%)	12.7 (12.8%)	0.2 (0.2%)	1.2 (1.2%)	0.2 (0.2%)	0.2	0	0
2	1.2 (1.3%)	31.2 (31.8%)	38.8 (39.5%)	25.0 (25.5%)	1.8 (1.9%)	1.9	2	1~3
3	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.7 (0.7%)	13.7 (14.5%)	79.7 (84.8%)	3.8	4	4

身の回りの管理: d520 身体各部の手入れ/d540 更衣

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値	範囲
1	82.2 (83.9%)	14.7 (15.0%)	0.2 (0.2%)	0.2 (0.2%)	0.7 (0.7%)	0.2	0	0
2	0.5 (0.5%)	33.0 (33.7%)	42.9 (43.7%)	20.9 (21.3%)	0.7 (0.7%)	1.9	2	1~3
3	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	1.3 (1.4%)	23.8 (24.8%)	70.8 (73.8%)	3.7	4	4

ふだんの活動(例:仕事、勉強、家族・余暇活動):

d850 報酬を伴う仕事/d810-d839 教育/d920 レクリエーションとレジャー

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値	範囲
1	80.2 (81.9%)	16.2 (16.6%)	0.8 (0.8%)	0.0 (0.0%)	0.8 (0.8%)	0.2	0	0
2	0.5 (0.5%)	30.1 (30.4%)	43.8 (44.2%)	24.1 (24.4%)	0.4 (0.5%)	1.9	2	1~3
3	0.5 (0.5%)	0.0 (0.0%)	0.7 (0.7%)	21.2 (22.0%)	73.7 (76.7%)	3.7	4	4

痛み/不快感: b280 痛みの感覚

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値	範囲
1	72.7 (74.1%)	22.4 (22.9%)	1.9 (2.0%)	0.5 (0.5%)	0.5 (0.5%)	0.3	0	0
2	0.4 (0.5%)	25.5 (26.1%)	57.8 (59.0%)	13.5 (13.8%)	0.7 (0.7%)	1.9	2	1~2
3	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	36.5 (38.0%)	59.5 (62.0%)	3.6	4	3~4

不安/ふさぎ込み: b152 情動機能

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
1	71.2 (71.9%)	25.7 (25.9%)	1.0 (1.0%)	0.8 (0.8%)	0.3 (0.3%)	0.3	0	0~1
2	0.8 (0.8%)	22.6 (22.8%)	61.9 (62.5%)	12.6 (12.7%)	1.1 (1.1%)	1.9	2	2
3	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	38.5 (39.7%)	58.5 (60.3%)	3.6	4	3~4

JOA 股関節スコア

I. 疼痛: b280 痛みの感覚

Score	ICF					期待値	最頻値
	0	1	2	3	4		
0	0.0 (0.0%)	1.0 (1.4%)	0.0 (0.0%)	8.5 (12.3%)	59.5 (86.2%)	3.8	4
10	1.0 (1.7%)	0.0 (0.0%)	9.5 (15.8%)	49.0 (81.7%)	0.5 (0.8%)	2.8	3
20	0.0 (0.0%)	7.0 (10.4%)	53.0 (79.1%)	6.5 (9.7%)	0.5 (0.7%)	2.0	2
30	0.0 (0.0%)	31.8 (48.2%)	33.8 (51.3%)	0.0 (0.0%)	0.3 (0.5%)	1.5	2
35	16.0 (23.5%)	51.0 (75.0%)	0.0 (0.0%)	1.0 (1.5%)	0.0 (0.0%)	0.8	1
40	71.0 (98.6%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	1.0 (1.4%)	0.1	0

II 可動域 股関節屈曲: b710 関節の可動性の機能

Score	ICF					期待値	最頻値
	0	1	2	3	4		
0	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	1.0 (1.7%)	59.0 (98.3%)	4.0	4
1	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	7.5 (12.7%)	51.5 (87.3%)	3.9	4
2	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	1.0 (5.3%)	14.0 (73.7%)	4.0 (21.1%)	3.2	3
3	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	1.0 (3.8%)	22.0 (84.6%)	3.0 (11.5%)	3.1	3
4	0.0 (0.0%)	1.0 (3.6%)	4.0 (14.3%)	21.0 (75.0%)	2.0 (7.1%)	2.9	3
5	0.0 (0.0%)	1.0 (2.6%)	19.0 (50.0%)	18.0 (47.4%)	0.0 (0.0%)	2.4	2
6	1.0 (2.3%)	1.0 (2.3%)	23.0 (52.3%)	17.0 (38.6%)	2.0 (4.5%)	2.4	2

7		8.0	22.5	9.5		2.0	2
	1.0 (2.4%)	(19.0%)	(53.6%)	(22.6%)	1.0 (2.4%)		
8		17.0	24.5	7.5		1.8	2
	0.0 (0.0%)	(34.7%)	(50.0%)	(15.3%)	0.0 (0.0%)		
9		8.0	30.0	19.5		1.2	1
	(13.6%)	(50.8%)	(33.1%)	1.5 (2.5%)	0.0 (0.0%)		
10		12.5	40.5	7.0		0.9	1
	(20.8%)	(67.5%)	(11.7%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)		
11		27.5	16.5			0.4	0
	(62.5%)	(37.5%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)		
12		52.0				0.0	0
	(100.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)		

II.可動域 股関節外転: b710 関節の可動性の機能

Score	ICF					期待値	最頻値
	0	1	2	3	4		
0				8.2	62.2	3.9	4
	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.7 (0.9%)	(11.5%)	(87.6%)		
2			12.6	54.6		2.8	3
	0.0 (0.0%)	2.8 (3.8%)	(17.5%)	(75.8%)	2.1 (2.9%)		
4		16.9	51.4			1.7	2
	2.8 (3.8%)	(23.5%)	(71.4%)	0.9 (1.3%)	0.0 (0.0%)		
6		18.3	51.8			0.8	1
	(25.8%)	(73.0%)	0.8 (1.2%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)		
8		66.0				0.0	0
	(98.5%)	0.5 (0.7%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.5 (0.7%)		

III.歩行能力: d450 歩行

Score	ICF					期待値	最頻値
	0	1	2	3	4		
0				8.5	60.5	3.8	4
	1.0 (1.4%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	(12.1%)	(86.4%)		
5			20.0	40.5		2.7	3
	0.0 (0.0%)	3.2 (4.7%)	(29.4%)	(59.6%)	4.3 (6.4%)		
10		18.5	33.0	8.5		1.9	2
	0.0 (0.0%)	(30.3%)	(54.1%)	(13.9%)	1.0 (1.6%)		
15		37.0	11.0			1.3	1
	1.0 (2.0%)	(72.5%)	(21.6%)	2.0 (3.9%)	0.0 (0.0%)		
18		22.5	38.0			0.7	1
	(36.3%)	(61.3%)	0.5 (0.8%)	0.0 (0.0%)	1.0 (1.6%)		
20		69.0				0.0	0
	(100.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)		

IV. 日常生活動作- 腰掛け: d410 基本的な姿勢の変換

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0				8.5	62.0	3.8	4	4
	1.0 (1.4%)	0.0 (0.0%)	0.5 (0.7%)	(11.8%)	(86.1%)			
2		15.7	31.2	25.2	0.0 (0.0%)	2.1	2	1~3
	0.0 (0.0%)	(21.8%)	(43.3%)	(35.0%)				
4	52.0	18.0	1.3 (1.9%)	0.3 (0.5%)	0.3 (0.5%)	0.3	0	0
	(72.2%)	(25.0%)						

IV. 日常生活動作- しゃがみこみ、立ち上がり: d410 基本的な姿勢の変換

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0				9.7	60.7	3.8	4	4
	1.0 (1.4%)	0.0 (0.0%)	0.7 (0.9%)	(13.4%)	(84.3%)			
2		18.5	30.5	23.0	0.0 (0.0%)	2.1	2	1~3
	0.0 (0.0%)	(25.7%)	(42.4%)	(31.9%)				
4	54.5	15.5	1.0 (1.4%)	0.5 (0.7%)	0.5 (0.7%)	0.3	0	0
	(75.7%)	(21.5%)						

IV. 日常生活動作-立ち仕事（家事含む、30分持続）:d415 姿勢の保持

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0				9.8	60.8	3.8	4	4
	1.0 (1.4%)	0.0 (0.0%)	0.3 (0.5%)	(13.7%)	(84.5%)			
2		18.7	30.7	22.7	0.0 (0.0%)	2.1	2	1~3
	0.0 (0.0%)	(25.9%)	(42.6%)	(31.5%)				
4	56.2	14.2	0.7 (0.9%)	0.0 (0.0%)	1.0 (1.4%)	0.3	0	0
	(78.0%)	(19.7%)						

IV. 日常生活動作-階段の昇り降り: d451 階段の上り下り

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0				10.3	60.3	3.8	4	4
	1.0 (1.4%)	0.0 (0.0%)	0.3 (0.5%)	(14.4%)	(83.8%)			
2		18.3	31.3	22.3	0.0 (0.0%)	2.1	2	1~3
	0.0 (0.0%)	(25.5%)	(43.5%)	(31.0%)				
4	55.3	14.3	1.3 (1.9%)	0.5 (0.7%)	0.5 (0.7%)	0.3	0	0
	(76.9%)	(19.9%)						

IV. 日常生活動作-車・バスなどの乗り降り: d470 交通機関や手段の利用

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0				10.3 (14.4%)	60.3 (83.8%)	3.8	4	4
2	1.0 (1.4%)	0.0 (0.0%)	0.3 (0.5%)	21.3 (29.6%)	0.0 (0.0%)	2.0	2	1~3
4	57.2 (79.4%)	19.3 (26.9%)	31.3 (43.5%)	0.7 (0.9%)	0.5 (0.7%)	0.3	0	0

Barthel Index

食事: d550 食べること/d560 飲むこと

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0				37.5 (22.7%)	126.5 (76.7%)	3.8	4	4
5	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	1.0 (0.6%)	41.0 (24.7%)	0.5 (0.3%)	2.1	2	2~3
10	111.7 (66.5%)	26.0 (15.7%)	98.5 (59.3%)	0.7 (0.4%)	0.4 (0.2%)	0.4	0	0~1

移乗: d420 乗り移り (移乗)

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0					148.3 (93.9%)	3.9	4	4
5	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.3 (0.2%)	9.3 (5.9%)	4.8 (3.2%)	2.9	3	3
10	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	17.8 (11.7%)	129.3 (85.1%)	0.0 (0.0%)	1.6	2	1~2
15	1.0 (0.6%)	61.3 (36.9%)	100.8 (60.7%)	2.8 (1.7%)	0.4 (0.2%)	0.2	0	0

整容: d520 身体各部の手入れ

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0		11.5 (6.9%)	50.8 (30.6%)	51.8 (31.2%)	51.8 (31.2%)	2.9	3	2~4
5	0.0 (0.0%)	60.1 (35.8%)	1.1 (0.6%)	0.4 (0.2%)	0.4 (0.2%)	0.4	0	0~1

トイレ動作: d530 排泄

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0				37.3	126.3	3.7	4	4
	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	2.3 (1.4%)	(22.5%)	(76.1%)			
5		25.3	98.3	42.3		2.1	2	2~3
	0.0 (0.0%)	(15.3%)	(59.2%)	(25.5%)	0.0 (0.0%)			
10	107.7	58.7				0.4	0	0~1
	(64.1%)	(35.0%)	0.7 (0.4%)	0.4 (0.2%)	0.4 (0.2%)			

入浴: d510 自分の身体を洗うこと

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0			50.4	53.4	53.4	2.9	3	2~4
	0.0 (0.0%)	8.8 (5.3%)	(30.4%)	(32.2%)	(32.2%)			
5	99.9	64.9				0.4	0	0~1
	(59.5%)	(38.6%)	2.4 (1.4%)	0.4 (0.2%)	0.4 (0.2%)			

歩行: d450 歩行

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0				17.3	130.3	3.9	4	4
	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	1.3 (0.9%)	(11.6%)	(87.5%)			
5			26.5	91.5	15.5	2.9	3	3
	0.0 (0.0%)	3.5 (2.6%)	(19.3%)	(66.8%)	(11.3%)			
10		52.8	92.8	15.8		1.8	2	2
	0.5 (0.3%)	(32.6%)	(57.3%)	(9.8%)	0.0 (0.0%)			
15	123.2	42.2				0.3	0	0~1
	(73.8%)	(25.3%)	0.7 (0.4%)	0.4 (0.2%)	0.4 (0.2%)			

歩行（車椅子を使用する場合）: d465 用具を用いての移動

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0				23.3	128.3	3.8	4	4
	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	4.3 (2.8%)	(15.0%)	(82.3%)			
5			40.8	79.7		2.5	3	3
	7.2 (4.9%)	9.5 (6.6%)	(28.2%)	(54.9%)	7.8 (5.4%)			
10		62.3	69.8	10.8		1.6	2	1~2
	1.0 (0.7%)	(43.3%)	(48.5%)	(7.5%)	0.0 (0.0%)			
15	114.2	34.2				0.3	0	0
	(76.2%)	(22.8%)	0.7 (0.5%)	0.4 (0.3%)	0.4 (0.3%)			

階段昇降: d451 階段の上り下り

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0				25.5	137.5	3.8	4	4
	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	1.0 (0.6%)	(15.5%)	(83.8%)			

5		17.2	93.3	53.8		2.2	2	2~3
	0.0 (0.0%)	(10.4%)	(56.6%)	(32.6%)	0.7 (0.4%)			
10	102.4	64.4				0.4	0	0~1
	(61.0%)	(38.3%)	0.4 (0.2%)	0.4 (0.2%)	0.4 (0.2%)			

着替え: d540 更衣

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0				50.8	109.8	3.7	4	3~4
	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	2.3 (1.4%)	(31.2%)	(67.4%)			
5		26.4	108.8	28.8		2.0	2	2
	0.0 (0.0%)	(16.0%)	(65.9%)	(17.4%)	1.1 (0.7%)			
10	108.1	58.1				0.4	0	0~1
	(64.3%)	(34.6%)	1.1 (0.6%)	0.4 (0.2%)	0.4 (0.2%)			

排便コントロール b525 排便機能

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0		0.0		42.7	120.7	3.7	4	3~4
	0.0 (0.0%)	(0.0%):	1.7 (1.0%)	(25.9%)	(73.1%)			
5		23.2	103.2	37.7		2.1	2	2
	0.0 (0.0%)	(14.0%)	(62.5%)	(22.8%)	1.0 (0.6%)			
10	105.8	59.8				0.4	0	0~1
	(63.0%)	(35.6%)	1.3 (0.8%)	0.6 (0.4%)	0.4 (0.2%)			

排尿コントロール: b620 排尿機能

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0				42.3	121.3	3.7	4	3~4
	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	1.3 (0.8%)	(25.7%)	(73.5%)			
5		24.3	103.2	38.2		2.1	2	2
	0.0 (0.0%)	(14.7%)	(62.1%)	(23.0%)	0.3 (0.2%)			
10	107.7	58.7				0.4	0	0~1
	(64.1%)	(35.0%)	0.7 (0.4%)	0.4 (0.2%)	0.4 (0.2%)			

IADL 尺度

電話の使用: d360 コミュニケーション用具および技法の利用

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値	範囲
0				22.5 (13.7%)	140.5 (85.7%)	3.9	4	4
1	45.3 (27.0%)	45.3 (27.0%)	43.8 (26.1%)	32.5 (19.3%)	1.0 (0.6%)	1.4	0	0~3

買い物: d620 物品とサービスの入手

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値	範囲
0		29.8 (17.9%)	44.8 (27.0%)	45.2 (27.3%)	45.2 (27.3%)	2.6	3	1~4
1	138.2 (82.3%)	28.2 (16.8%)	0.7 (0.4%)	0.4 (0.2%)	0.4 (0.2%)	0.2	0	0

食事の用意: d630 調理

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値	範囲
0		29.2 (17.6%)	45.8 (27.6%)	45.5 (27.4%)	45.5 (27.4%)	2.6	2	1~4
1	137.9 (82.1%)	28.9 (17.2%)	0.4 (0.2%)	0.4 (0.2%)	0.4 (0.2%)	0.2	0	0

家事（洗濯以外）: d640 調理以外の家事

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値	範囲
0					107.0 (97.3%)	4.0	4	4
1	38.9 (23.2%)	39.1 (23.3%)	38.9 (23.2%)	38.6 (23.0%)	12.4 (7.4%)	1.7	0	0~3

家事（洗濯）: d640 調理以外の家事

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値	範囲
0				53.0 (31.9%)	103.0 (62.0%)	3.6	4	3~4
1	54.8 (32.6%)	53.8 (32.0%)	43.3 (25.8%)	15.6 (9.3%)	0.4 (0.2%)	1.1	0	0~2

徒歩以外での移動: d470 交通機関や手段の利用

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0	0.0 (0.0%)	0.6 (0.4%)	9.4 (5.7%)	55.9 (33.9%)	99.1 (60.1%)	3.5	4	3~4
1	51.9 (30.9%)	51.9 (30.9%)	49.6 (29.5%)	13.9 (8.3%)	0.8 (0.5%)	1.2	0	0~2

指示通りの処方箋の服用: d570 健康に注意すること

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0	0.0 (0.0%)	26.0 (15.7%)	46.7 (28.1%)	46.7 (28.1%)	46.7 (28.1%)	2.7	2	2~4
1	132.4 (78.8%)	34.4 (20.5%)	0.4 (0.2%)	0.4 (0.2%)	0.4 (0.2%)	0.2	0	0~1

NIH 脳卒中スケール

意識水準: b110 意識機能

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0	298.0 (90.0%)	24.0 (7.3%)	4.0 (1.2%)	5.0 (1.5%)	0.0 (0.0%)	0.1	0	0
1	9.0 (2.5%)	234.0 (66.1%)	94.0 (26.6%)	13.0 (3.7%)	4.0 (1.1%)	1.3	1	1
	2.0 (0.5%)	18.0 (4.5%)	176.0 (43.7%)	196.0 (48.6%)	11.0 (2.7%)	2.5	3	2~3
	0.0 (0.0%)	4.0 (1.1%)	11.0 (3.1%)	63.0 (17.8%)	275.0 (77.9%)	3.7	4	4

意識障害－質問 : b114 見当識機能

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0	286.0 (83.9%)	42.0 (12.3%)	7.0 (2.1%)	4.0 (1.2%)	2.0 (0.6%)	0.2	0	0
1	8.0 (2.0%)	191.0 (47.9%)	172.0 (43.1%)	24.0 (6.0%)	4.0 (1.0%)	1.6	1	1~2
2	4.0 (0.9%)	9.0 (2.1%)	73.0 (17.1%)	195.0 (45.7%)	146.0 (34.2%)	3.1	3	3~4

意識障害－従命: b110 意識機能

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0	286.0 (81.7%)	57.0 (16.3%)	2.0 (0.6%)	4.0 (1.1%)	1.0 (0.3%)	0.2	0	0

1	6.0 (1.4%)	146.0 (35.0%)	215.0 (51.6%)	46.0 (11.0%)	4.0 (1.0%)	1.8	2	1~2
2	6.0 (1.4%)	7.0 (1.7%)	46.0 (11.1%)	146.0 (35.1%)	211.0 (50.7%)	3.3	4	3~4

最良の注視: d110 注意して視ること

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0	305.0 (90.8%)	24.0 (7.1%)	6.0 (1.8%)	1.0 (0.3%)	0.0 (0.0%)	0.2	0	0
1	8.0 (1.8%)	167.0 (37.3%)	218.0 (48.7%)	51.0 (11.4%)	4.0 (0.9%)	1.7	2	1~2
2	4.0 (1.0%)	9.0 (2.2%)	32.0 (7.7%)	132.0 (31.7%)	240.0 (57.6%)	3.4	4	3~4

視野: b210 視覚機能

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0	300.0 (90.6%)	26.0 (7.9%)	3.0 (0.9%)	2.0 (0.6%)	0.0 (0.0%)	0.1	0	0
1	4.0 (1.0%)	216.0 (55.0%)	156.0 (39.7%)	14.0 (3.6%)	3.0 (0.8%)	1.5	1	1~2
2	1.0 (0.3%)	18.0 (4.7%)	120.0 (31.6%)	212.0 (55.8%)	29.0 (7.6%)	2.7	3	3
3	0.0 (0.0%)	5.0 (1.3%)	24.0 (6.5%)	113.0 (30.4%)	230.0 (61.8%)	3.5	4	4

顔面麻痺: b730 筋力の機能

Score	ICF					期待値	最頻値	範囲
	0	1	2	3	4			
0	297.0 (90.0%)	25.0 (7.6%)	4.0 (1.2%)	3.0 (0.9%)	1.0 (0.3%)	0.1	0	0
1	2.0 (0.6%)	270.0 (78.0%)	67.0 (19.4%)	4.0 (1.2%)	3.0 (0.9%)	1.2	1	1
2	2.0 (0.5%)	28.0 (6.9%)	258.0 (63.7%)	109.0 (26.9%)	8.0 (2.0%)	2.2	2	2
3	2.0 (0.5%)	8.0 (2.1%)	13.0 (3.5%)	104.0 (27.7%)	249.0 (66.2%)	3.6	4	3~4

上肢の運動: b730 筋力の機能

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値	範囲
0	284.0 (83.5%)	46.0 (13.5%)	8.0 (2.4%)	1.0 (0.3%)	1.0 (0.3%)	0.2	0	0
1	4.0 (1.1%)	248.0 (71.3%)	86.0 (24.7%)	7.0 (2.0%)	3.0 (0.9%)	1.3	1	1
2	1.0 (0.3%)	26.0 (7.4%)	240.0 (68.0%)	81.0 (22.9%)	5.0 (1.4%)	2.2	2	2
3	0.0 (0.0%)	10.0 (2.9%)	22.0 (6.3%)	267.0 (76.7%)	49.0 (14.1%)	3.0	3	3
4	0.0 (0.0%)	7.0 (2.1%)	9.0 (2.7%)	16.0 (4.8%)	302.0 (90.4%)	3.8	4	4

下肢の運動: b730 筋力の機能

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値	範囲
0	285.0 (84.3%)	42.0 (12.4%)	6.0 (1.8%)	3.0 (0.9%)	2.0 (0.6%)	0.2	0	0
1	4.0 (1.1%)	250.0 (71.8%)	74.0 (21.3%)	12.0 (3.4%)	8.0 (2.3%)	1.3	1	1
2	2.0 (0.6%)	34.0 (9.5%)	250.0 (70.0%)	62.0 (17.4%)	9.0 (2.5%)	2.1	2	2
3	1.0 (0.3%)	8.0 (2.3%)	23.0 (6.6%)	275.0 (78.8%)	42.0 (12.0%)	3.0	3	3
4	1.0 (0.3%)	6.0 (1.8%)	5.0 (1.5%)	13.0 (3.9%)	306.0 (92.4%)	3.9	4	4

運動失調 : b760 随意運動の制御機能

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値	範囲
0	298.0 (90.0%)	28.0 (8.5%)	3.0 (0.9%)	2.0 (0.6%)	0.0 (0.0%)	0.1	0	0
1	9.0 (2.1%)	184.0 (43.2%)	198.0 (46.5%)	31.0 (7.3%)	4.0 (0.9%)	1.6	2	1~2
2	6.0 (1.4%)	10.0 (2.3%)	76.0 (17.6%)	183.0 (42.5%)	156.0 (36.2%)	3.1	3	3~4

感覚 : b260 固有受容覚、b265 触覚、b270 温度やその他の刺激に関連した感覚機能

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値	範囲
-------	---	---	---	---	---	-----	-----	----

0	298.0 (90.0%)	28.0 (8.5%)	3.0 (0.9%)	2.0 (0.6%)	0.0 (0.0%)	0.1	0	0
1	9.0 (2.1%)	184.0 (43.2%)	198.0 (46.5%)	31.0 (7.3%)	4.0 (0.9%)	1.6	2	1~2
2	6.0 (1.4%)	10.0 (2.3%)	76.0 (17.6%)	183.0 (42.5%)	156.0 (36.2%)	3.1	3	3~4

最良の言語 : b167 言語に関する精神機能

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値	範囲
0	300.0 (90.6%)	27.0 (8.2%)	2.0 (0.6%)	0.0 (0.0%)	2.0 (0.6%)	0.1	0	0
1	7.0 (1.5%)	198.0 (43.0%)	231.0 (50.1%)	22.0 (4.8%)	3.0 (0.7%)	1.6	2	1~2
2	5.0 (1.1%)	10.0 (2.2%)	32.0 (7.0%)	194.0 (42.3%)	218.0 (47.5%)	3.3	4	3~4

構音障害 : b320 構音機能

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値	範囲
0	298.0 (89.2%)	27.0 (8.1%)	6.0 (1.8%)	3.0 (0.9%)	0.0 (0.0%)	0.1	0	0
1	3.0 (0.7%)	190.0 (42.4%)	229.0 (51.1%)	23.0 (5.1%)	3.0 (0.7%)	1.6	2	1~2
2	2.0 (0.5%)	13.0 (2.9%)	35.0 (7.9%)	203.0 (46.0%)	188.0 (42.6%)	3.3	3	3~4

消去現象・注意障害 : b140 注意機能、 b156 知覚機能

ICF

Score	0	1	2	3	4	期待値	最頻値	範囲
0	301.0 (89.9%)	28.0 (8.4%)	3.0 (0.9%)	2.0 (0.6%)	1.0 (0.3%)	0.1	0	0
1	6.0 (1.4%)	168.0 (39.5%)	215.0 (50.6%)	32.0 (7.5%)	4.0 (0.9%)	1.7	2	1~2
2	3.0 (0.7%)	11.0 (2.6%)	49.0 (11.4%)	205.0 (47.6%)	163.0 (37.8%)	3.2	3	3~4

令和6年度 厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（統計情報総合研究））
分担研究報告書

研究課題名：多様な現場での国際生活機能分類（ICF）の円滑な実用化及び
統計への応用に向けた研究

分担研究課題名：ICFコーディングマニュアルおよびICF検索ツールの作成

研究分担者：山田 深 （杏林大学医学部リハビリテーション医学講座 教授）

研究代表者：向野 雅彦 （北海道大学病院リハビリテーション科 教授）

研究要旨：国際生活機能分類（ICF）は、国際疾病分類（ICD）と並ぶ WHO の中心分類として位置づけられ、普及が推進されている。しかし 1600 項目超の規模や支援ツールの不足により臨床への導入に課題があり、国レベルで標準化された評価・統計活用には至っていない。本研究は ICF と ICD-11 第 V 章の臨床への実装を円滑化し、疾病統計への応用基盤を整備することを目的に、①日本語で直感的にコード検索ができる Web アプリの開発、②臨床用 ICFコーディングマニュアルの改訂を実施した。

今年度はリハビリテーション専門職 16 名が協力し、第 2 レベル各コードを同義語・構成要素・環境／外部要因・その他の 4 類型で網羅的に抽出し、合計 7005 語からなる語句リストを作成して Web アプリに実装し、コード検索を可能にした。また、マニュアルの改訂においては、リハビリテーション専門職から得たフィードバックを基にマニュアル構成や採点の具体的な基準を掲載し、実際に臨床における ICF の活用を支援する仕組みの作成に取り組んだ。

これらの取り組みは、ICF の普及と活用の促進に貢献することが期待される。一方で、評価の具体例の整備や、環境因子の点数化については課題を残しており、今後も実用を重視した継続的な改良が求められる。

A. 研究目的

国際生活機能分類 (ICF) は、疾病を分類する国際疾病分類 (ICD) と対を成し、人の機能・活動・参加、さらに環境因子を含む“生活機能”を体系的に捉える枠組みとして、世界保健機関 (WHO) の中心分類に位置づけられている。しかし実用面では様々な課題がある。例えば、ICFは1,600 を超える膨大な項目から構成されており、これを用いて記述をしようとしたときに、項目を選択することは容易ではない。現在ICFはWHOのWHO-FICプラットフォーム上で利用できるようになっており、登録されている関連用語から検索が可能となっているが、ICFの関連用語の登録は現時点では限られており、さらに現時点では英語でしか利用できない。また、ICFには評価点という仕組みがあるが、評価点の使用に際しての共通のガイドラインはあるものの、臨床活用を想定した具体的な評価基準は作成されていない。国内では2019年から2021年にかけて、厚生労働省の社会保障審議会統計分科会の生活機能委員会に生活機能分類普及推進検討ワーキンググループが設置され、ICF のダイジェスト版に相当する ICD-11 第 V 章向けに採点リファレンスガイドが開発され、一部領域で運用の検証が進められてきたが、ICF全体を対象にした支援ツールは作成されていなかった。

そこで本研究では、ICF と ICD-11 第 V 章の臨床現場での実用性と普及性のさらなる向上を図ることを目的とし、これらの問題に対応した実用支援ツールの開発に取り組んできた。今年度は、1)ICFのコードを検索するWebアプリの作成、2) 前年度までに作成したICFコーディングマニュアルの改訂、を実施した。

B. 研究方法

1. ICF コード検索システムの作成

リハビリテーション専門職として理学療法士6名、作業療法士8名、言語聴覚士2名の計16名が参加し、ICF 第二レベルの各コードに対して「同義語」「構成要素」「関連する環境・外部要因」「その他」の4カテゴリーに分類しながら語句を体系的に収集した。その後、研究チームによるレビューを経て語句リストを精査・確定し、オンライン上で容易に検索できるよう Web アプリの作成を実施した。

2.ICF コーディングマニュアルの改訂

昨年度までに作成されたICD11V/ICF リファレンスガイド (暫定版) について、14名のリハビリテーション専門職からなるフィードバックグループを形成し、実際に臨床で使用した上でのフィードバックを得た。また、その際のフィードバックに基づき、マニュアルの改訂を行った。

C: 研究結果

1. ICF コード検索システムの作成

ICF コード検索システムの構築にあたり、理学療法士6名・作業療法士8名・言語聴覚士2名から成る計16名のリハビリテーション専門職チームが、ICF 第二レベル各コードについて関連語句の収集、ICF研究者2名がレビューを実施した。その結果、同義語 1,214 語、構成要素 2,136 語、環境・外部要因 3,166 語、その他 489 語を含む、合計 7,005 語の語句リストを整備した。さらに、先行研究で開発された検索対応 Web アプリケーションを改修し、この語句リス

トを登録して公開したことで、ユーザーがオンライン上で ICF コードを関連語句から迅速に検索できるシステムを実現した（資料1）。

2. ICFコーディングマニュアルの改訂

リハビリテーション専門職14名（理学療法士7名、作業療法士5名、言語聴覚士2名）によるフィードバック内容を資料2に示す。これらのフィードバック内容に基づき、前年度までに作成したICFコーディングマニュアル（暫定版）の改訂を行った。

フィードバックに基づく改訂内容としては以下の通り：

a) ICFのWHOFICプラットフォームもしくは日本版の書籍等の構成に合わせ、①心身機能 ②身体構造 ③活動と参加 ④環境因子の順番に変更した。

b) 評価基準作成と取り組みと連携し、ICFの第2レベル（環境因子以外）のそれぞれの項目について評価基準を作成した。

c) 環境因子については、評価基準がわかりにくく複雑との評価が複数みられたため、説明の整理を行った。また、点数化のための具体的な基準については継続検討とした。

また、採点の具体例についての要望が複数みられたため、今後の検討課題とした。なお、第三レベル、第四レベルのICF項目の評価については、上位項目の評価基準を適用することを想定し、説明の追加を行った。

D: 考察

本分担課題では、ICFの実用性向上を目的に、1)日本語で利用可能なコード検索 Web アプリの整備、2)臨床現場で使いやすい評価

マニュアルの改訂という二つの課題に取り組んだ。ICF 関連語句を 7,005 語まで拡充し体系的に分類し、検索システムに掲載したことは、ICF の 1600 を超える項目の活用に向けて、利用者が直観的にコードへアクセスできる環境を提供した点で活用推進に向けて大きな意義があると考えられる。

評価マニュアル改訂では、潜在的な利用者のフィードバックに基づき、構成の変更や具体的な評価基準の追加など、より使いやすい構成に大幅に改訂がなされた。一方、環境因子の点数化は依然課題として残った。障害因子/促進因子は、使用者の生活機能によって異なるため一律に評価が難しく、点数化については今後も継続的な検討が必要と考えられる。

これらの成果は、ICFの現場における活用に役立てられ、今後の普及促進の基盤となる可能性がある。今後はより広い潜在的な利用者を対象として活用可能性の検証とアップデートを実施する予定である。

E: 結論

今年度は、ICFの臨床における実用を支援するため、ICFコード検索システムの構築とICFコーディングマニュアルの改訂に取り組んだ。

これらの取り組みは、ICFの普及と活用の促進に貢献することが期待される。一方で、評価の具体例の整備や、環境因子の点数化については課題を残しており、今後も実用を重視した継続的な改良が求められる。

F: 健康危険情報

特になし

G: 研究発表

5. 論文発表

Umemori S, Ogawa M, Yamada S, Komatsu M, Oikawa E, Okamoto Y, Katoh M, Shirasaka T, Abiko K, Moriizumi S, Matsuo Y, Tohyama H, Mukaino M. Development of a Conversion Table Linking Functional Independence Measure Scores to International Classification of Functioning, Disability, and Health Qualifiers: Insights from a Survey of Healthcare Professionals. *Healthcare (Basel)*. 2024 Apr 15;12(8):831.

6. 学会発表

なし

資料1 ICFコード検索システム

検索画面

項目検索 管理者ログイン English

検索語句を入力してください。

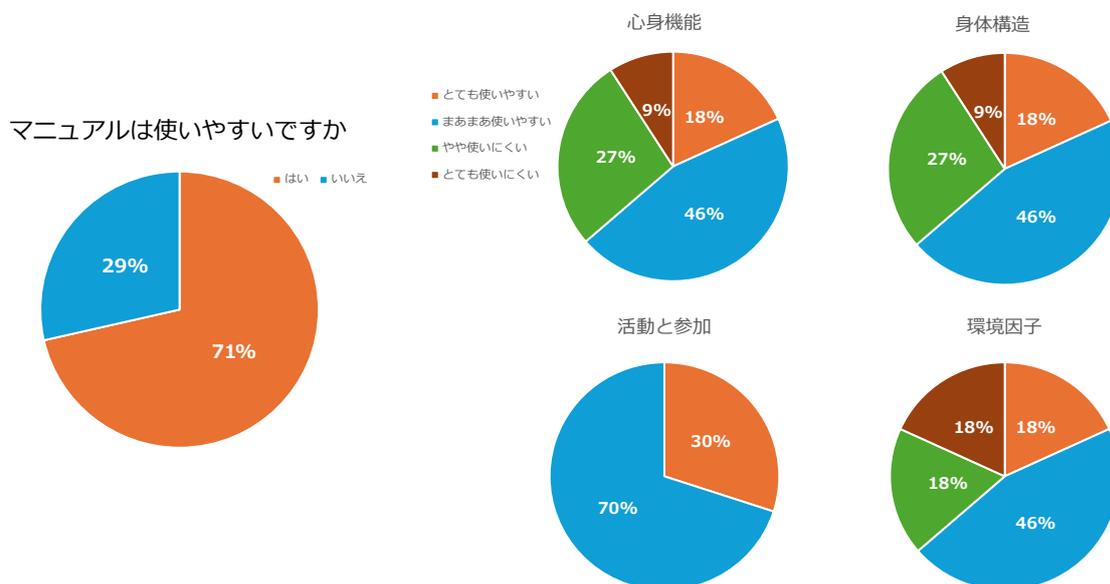
検索結果

項目検索 管理者ログイン English

失語

Code	Name
第2レベル	
b167	言語に関する精神機能
d310	話し言葉の理解
d330	話すこと
d345	書き言葉によるメッセージの表出
第3レベル	
b1670	言語受容
b1671	言語表出
第4レベル	
b16700	話し言葉の受容
b16710	話し言葉の表出

資料2 ICF コーディングマニュアルについてのフィードバック



フィードバックコメント

1. マニュアル全体の使いやすさ

- 全体的に分かりやすく、明確な指針が示されている。
- 内容の理解はしやすいが、実際に使用してみないと評価が難しい部分がある。
- コーディングの順番がわかりにくい。
- 項目数が多く、使用に時間がかかる。
- ICF 日本版や OT 協会 ICF コード分類の順番 (①心身機能 ②身体構造 ③活動と参加 ④環境因子) とマニュアルの順番が異なり、照らし合わせにくい。
- コードとマニュアルの対応がわかりにくい。

2. 第2章の各コーディングマニュアルの使いやすさ

(1) 心身機能項目について

- マニュアルの採点方法は理解しやすい。
- 0 や 4 の判定は容易。
- 2 と 3 の点数の違いが判断しにくい (特に具体例が少ない)。

(2) 身体構造項目について

- 一部の項目については理解しやすい。
- 1, 2, 3 の違いが判断しにくい。
- 例えば、「1/2 以上の問題がある」とは部位の範囲を指すのか、骨・関節・筋肉などの種類の割合なのかが不明確。

- 皮膚や神経系の構造について、専門知識がないと判断が難しい。
- 手術後の構造変化の判定基準が不明。

(3) 活動と参加項目について

- 具体例を示せば評価しやすい。
- 認知的な活動の2と3の判別基準が不明確（「サポートが50%以上必要」との基準が明確化されるとよい）。

(4) 環境因子項目について

- 一部の項目は理解しやすい。
- 環境因子の段階分け（1, 2, 3）が難しい。
- 阻害因子・促進因子の判断が困難。
- 評価例が少なく、イメージがつきにくい（特にe165の資産等）。
- サービス・制度・政策の評価基準が具体的に示されていない。

3. その他の改善点・コメント

- 基準を明確化したほうがよい。
- 具体例があったほうがよい。
- 各項目についてそれぞれ詳細評価ガイドがあるほうがよい。
- コーディングマニュアルに記載がない項目の評価方法について不明。
- 項目数が多いため、使用に時間がかかる。
- ICFコード分類と評価基準の対応が必要。
- 各コードごとのマニュアルがわかりやすく作成されることが望ましい。

資料3 ICF コーディングマニュアル

ICD-11 V 章/ICF コーディングマニュアル (暫定版)

version 6.0

目次

第1章 国際分類における生活機能：ICF と ICD-11	-----	2
第2章 ICD-11 V 章/ ICF 評価点支援ガイド	-----	5
評価点支援ガイドの基本構造	-----	5
1. 心身機能項目の評価点支援ガイド	-----	6
2. 身体構造項目の評価点支援ガイド	-----	9
3. 活動と参加項目の評価点支援ガイド	-----	11
A) ICF の1章（学習と知識の応用）及び2章（一般的な課題と要求） の認知的な活動に関連する項目群	-----	12
ICF の3章（コミュニケーション）のコミュニケーションに関連 する項目群	-----	14
B) 4章（運動・移動）及び5章（セルフケア）の主に日常生活活動 （ADL）に関連する項目	-----	16
C) 6章（家庭生活）、8章（主要な生活領域）及び9章 （コミュニティライフ・社会生活・市民生活）の主に 家庭生活、社会生活に関連する項目	-----	19
D) 7章（対人関係）の人間関係に関連する項目	-----	22
A) 環境因子項目の評価点支援ガイド	-----	24
4. 付録：ICD-11V 章評価点支援ガイド詳細版	-----	26
5. 付録：ICF 評価点支援ガイド詳細版	-----	37

第1章 国際分類における生活機能：ICF と ICD-11

はじめに

国際生活機能分類(以下 ICF)は世界保健機関 (WHO) の国際疾病分類(以下 ICD)と対をなす障害分類の枠組みとして、2001 年に WHO 総会において採択されました[1]。

ICF は人間の生活機能と障害をアルファベットと数字を組み合わせたコードで分類しているもので、現在全部で 1600 以上の項目の生活機能に関わる多岐に渡る評価項目により構成されています。生活機能というのは、“「人が生きること」全体であり、健康とは「生活機能」全体が高い水準にあることを示す”、とされており、日常生活活動 (ADL)、手段的日常生活活動 (IADL) や運動機能、認知機能などを含めた広い概念です。

WHO 国際統計分類には様々な分類がありますが、ICD と ICF はその中で、中心分類に位置付けられています。中心分類はその二つの分類に現在作成中の国際医療行為分類を加えた三つの分類から構成されます。

ICF では、生活機能の要素として、心身機能、身体構造、活動と参加、そしてそれに影響を与える背景因子として環境因子および個人因子が挙げられています。心身機能には注意、記憶などの認知機能や筋力、関節の可動性の機能などの運動機能などの身体系の生理的機能、身体構造には脳の構造や上肢の構造などの身体の解剖学的要素、活動と参加には歩行、家事、仕事などの課題や行為の遂行や生活・人生場面への関わり、環境因子としては道具や建物、家族などの物的、社会的環境がそれぞれ分類されています。そして、健康状態と生活機能、そして要素間の関係性を示した生物心理社会的統合モデルが ICF の概念の基礎となっています (図 1)。このモデルでは、健康状態は心身機能・身体構造、活動と参加の生活機能の三つの要素から説明され、さらに生活機能は背景因子としての環境因子と個人因子によって影響を受けていることが示されています。

分類としての ICF

ICF の分類は、全部で 1600 以上の項目から構成されています。分類には階層構造があります。まず、大きく分けて、“生活機能と障害”と“背景因子”の二つの部門に分かれています。生活機能と障害に関する項目は、心身機能、身体構造、活動と参加の三つのパートに分けて分類が作られており、背景因子は環境因子と個人因子に分かれますが、環境因子のみに分類が作成されています。それぞれの分類は、第一レベルから第四レベルまで階層があります。例えば、疼痛の問題がある場合、心身機能の第二章の“感覚機能と痛み”の中の“b280 痛みの感覚”という分類項目を用いることができますが、さらに第三レベルの分類項目を用いると、全身的なのか局所的なのか、どのような範囲の痛みなのかということに記載することができます。さらに、例えば局所的な痛みがある場合、第四レベルの分類を用いると、頭頸部の痛みや背部の痛みというようにより詳細に分類することができます。

ICF の評価点

ICF の項目それぞれの項目については評価点を用いることで、問題の程度を記載することができます。ICF の評価点は基本的に、項目ごとに 0 から 4 (0 が問題なし、1 が軽度の問題、2 が中等度の問題、3 が重度の問題そして 4 が完全な問題) で記載するルールになっています。なお、詳細不明の場合に 8 点、非該当の場合に 9 点を記載します。“ICF のコード化に関するガイドライン” (ICF の付録 2) [1]においては、0 から 4 の評価点の基準として、パーセント表示(0: 0-4%、1: 5-24%、2: 25-49%、3: 50-94%、4: 95-100%)が記載され、“『中等度の問題 (2)』は通常『完全な問題 (4)』の半分までである”、と説明されています。

このような評価点は、活動と参加の項目については、二種類の記述の形式があります。一つは実行状況 (Performance)、もう一つは能力 (Capacity) です。実行状況というのは個人が現在の環境のもとでおこなっている状況を表すものです。これは環境によって調整された個人の能力を反映します。例えば、装具を使って歩いている場合はその装具を使った状態で普段歩け

ているかどうかを記載します。一方、能力というのは、ある課題や行為を遂行する個人の能力そのものを表すものです。したがって、装具を使って歩いている場合には、装具を使用しないで歩けるかどうか、その能力がどのくらいあるかということに記載します。

ICD-11 と生活機能

2018年6月に世界保健機関（WHO）より新たな国際疾病分類である ICD-11 が公表され、適用に向けた準備が進められています[2]。ICD-11 には、国際疾病分類の改訂において初めて生活機能評価に関する補助セクションである V 章が追加されました。

ICD-11 V 章は以下の3つの部分から構成されています。すなわち、WHO 障害評価面接基準（The World Health Organization Disability Assessment Schedule: WHODAS 2.0）、モデル障害調査（Model Disability Survey: MDS）および一般的機能の構成要素の項目群（ICF に基づく項目群）です。これらの項目群は、標準的な共通評価として比較可能なデータ収集を可能にすること、もしくは個々の事例に対応した生活機能情報の記述に使用することを念頭に構成されています。

標準的な生活機能の評価法として、WHO は WHODAS 2.0[3]の利用を推奨しています。

WHODAS 2.0 は、世界保健機関(WHO)が開発した健康と障害について測定するための標準ツールで、ICF の概念的枠組みに基礎をおき、ICF の「活動と参加」の構成要素としての6つの領域、すなわち認知、移動、セルフケア、人との関わり、生活、参加の各領域における生活機能(functioning) のレベルを把握するよう構成されています。ICD-11 V 章の項目のうち、36項目はこの WHODAS 2.0 の質問に直接結び付けられており、WHODAS 2.0 を利用して情報を集められるようになっています。

また、ICD-11 V 章には MDS をベースとした項目が8項目あります。MDS は WHO と世界銀行により開発された、障害データ収集のための質問紙です。MDS は 200 以上の質問から構成される質問紙ですが、40項目からなる短縮版もあり、今回含まれた8項目はその短縮版にも含まれている項目です。

一般的機能の構成要素の項目群は ICF から抜粋された44項目と残余の項目を表すコードから構成されています。これらの ICF 項目は、ICF に基づく3つのツール(すなわち、ICF の付録9、ICF 一般セット 30項目版および WHODAS 2.0)に基づいて選択されています。この中で、ICF の付録9とは、WHO の発行した ICF の書籍において、“理想のおよび最低限の健康情報システムまたは調査のために提案された ICF データの要件”として記載があるもので、ICF の調査に必要な主だった項目のリストとなっています。また、ICF 一般セット 30項目版とは、疾患に関わらず健康状態との関連が強い ICF の項目を計量心理学的な手法と国際的な専門家会議に基づいて選択することで作成された項目セットです。WHODAS 2.0 の質問紙と加えてこれらの項目群を用いることで、臨床における生活機能の問題点を包括的にカバーできる仕組みとなっています。

第2章 ICD-11 V 章/ ICF 評価点支援ガイド

評価点支援ガイドとは

ICF や、ICF に基づく ICD-11V 章の一般的機能の構成要素の項目では、前章に述べたような評価点を用いたコーディングの仕組みがあります。しかし、通常の臨床に用いられる臨床スケールのような詳細な説明や採点基準がなく、コーディングの信頼性に課題がありました。臨床における普及を推進するためには、臨床で実際に使われている評価スケールと同様に具体的な評価基準が用意されることが望ましいという考え方にに基づき、厚労省社会保障審議会統計分科会生活機能分類専門委員会 生活機能分類普及推進検討ワーキンググループにおいて、まず ICD-11V 章において評価点の使用をサポートするガイドを作成する取り組みが行われました。これは、ICD-11V 章の一般的機能の構成要素の項目群において 0 から 4 までの評価点をつける目安を項目ごとに具体的に示したものです。このガイドは、WHO の ICF のコード化に関するガイドライン（ICF の付録 2）[1]と矛盾が生じないように、ガイドラインを参照しながら医療者が臨床でコーディングを行った結果とその際の思考過程を分析するインタビュー結果を元に多職種の研究チームが素案を作成し、ICF の専門家のレビューを経て作成されました[4, 5]。評価点支援ガイドは、この ICD-11V 章のガイドを ICF 全体にも適応可能となるように採点原則の整理と臨床における検証、ICF の専門家のレビューを経て、ICD-11V 章と ICF の評価点の使用をサポートするべく作成されたものです。

評価点支援ガイドは、ICF の構造を反映し、心身機能、身体構造、活動と参加、環境因子の四つのグループに分かれています。心身機能は、身体機能や精神機能に関する項目群からなっており、身体構造は身体の構造に関する項目群、活動と参加は日常生活活動（ADL）や 手段的日常生活活動（IADL）などのさまざまな日常の活動、社会参加に関わる項目からそれぞれ構成されています。

なお、この評価点支援ガイドは、ICD-11V 章、および ICF の第二レベルまでの項目に対し、具体的な基準を提示しています。第三レベルおよび第四レベルにおける評価には、その親分類となる第二レベルの基準を参照してください。

1. 心身機能項目の評価点支援ガイド

ICF の対象項目：

心身機能 1-8 章 (全て:b110 - b899)

ICD-11 V 章の対象項目：

- VV00 活力および欲動の機能
- VV01 睡眠機能
- VV02 注意機能
- VV03 記憶機能
- VV04 情動機能
- VV10 視覚及び関連機能
- VV11 聴覚及び前庭の機能
- VV12 痛みの感覚
- VV20 音声及び発話に関連する機能
- VV30 運動耐容能
- VV40 消化器系に関連する機能
- VV50 排尿機能
- VV51 性機能
- VV60 関節の可動性の機能
- VV61 筋力の機能
- VV70 皮膚及び関連する構造の機能

心身機能の評価においては、WHO の ICF のコード化に関するガイドライン (ICF の付録 2) [1]において、評価点が以下のように定義されています。

- 0 機能障害なし 0-4%
- 1 軽度の機能障害 5-24%
- 2 中等度の機能障害 25-49%
- 3 重度の機能障害 50-95%
- 4 完全な機能障害 96%-100%
- 8 詳細不明
- 9 非該当

この原則に基づき、機能障害の程度や大きさについて評価点をつける仕組みとなっています。本評価点支援ガイドは、これらの原則をより具体的に作るよう作成されています。

心身機能項目には身体機能や精神機能が含まれます。心身機能項目の評価点支援ガイドは、原則的には以下の 5 段階評価となります。

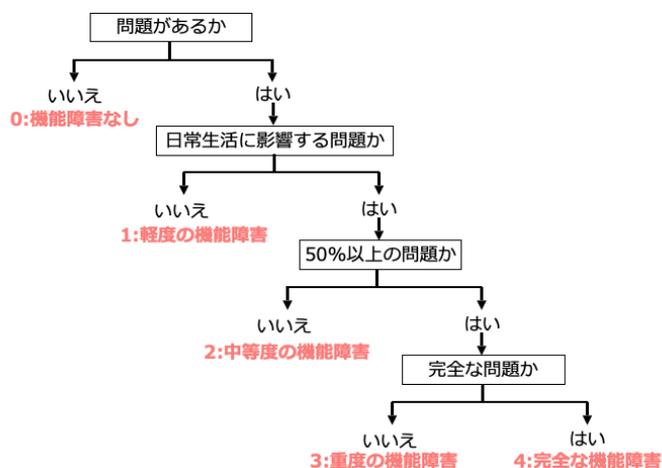
- 0：機能障害なし
 - 1：軽度の機能障害：当該の機能に問題があるが、日常に影響しない程度である
 - 2：中等度の機能障害：当該の機能に 1 の範囲を超える機能障害があるが、部分的な問題（50%未満）がある
 - 3：重度の機能障害：当該の機能に重大な問題（50%以上）がある
 - 4：完全な機能障害：当該の機能に完全な問題がある
- なお、詳細不明の場合は 8、非該当の場合は 9 のコードを用います。

ここでいう部分的な問題では 50%未満、重大な問題では 50%以上と程度の目安が大まかに示されています。心身機能項目の評価点支援ガイドではさらに、1)項目ごとに何に着目して採点するか、2)完全な機能障害とはどんな状態かという二つの情報が付記されています。例えば、排尿機能は完全に失われていて自己導尿で管理している場合、活動と参加の問題としての排泄は自立

をしていても、排尿機能の評価点は「4：完全な機能障害」となります。なお、詳細不明の場合は8、非該当の場合は9のコードを用います。

図1は、心身機能項目の採点の流れをフローチャートにしたものです。評価のポイントは以下の4つです。

- 1)問題があるか
- 2)問題がある場合、日常生活に影響するまでの問題か
- 3) 50%以上の問題か
- 4)完全な問題か



心身機能の項目には、複数の部位や要素を含む場合があります（例えば、b730 筋力の機能は、顔面、四肢、体幹など全身の複数の部位を含みます）。その場合、全体のうちのどの程度、その機能に問題があるかという観点から評価してください。特定の部位や要素に重度の障害があることを記載したい場合（例えば、下肢の完全対麻痺）には、第三レベルもしくは第四レベルの項目を使用してください（例えば、b7303 下半身の筋力）。

評価点支援ガイドを用いた評価の具体例として、記憶機能(ICD-11V:VV03/ICF: b144)を例に挙げます。

心身機能項目の評価点支援ガイドには、以下のように採点する内容や各点数の基準が示されています。また、4の説明では何をもちいて完全な機能障害とするか、具体的に記載されています。

数秒から数時間の短期の記憶ができないことや過去の出来事の想起ができないこと等、記憶機能全般における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。

- 0 機能障害なし：記憶機能における問題がない
- 1 軽度の機能障害：記憶機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
- 2 中等度の機能障害：1の範囲を超える記憶機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
- 3 重度の機能障害：記憶機能において、重大な問題（50%以上）がある
- 4 完全な機能障害：例えば全く記憶ができない、過去の出来事を全く思い出せないといった記

憶機能における完全な問題がある

評価例：

記憶障害のため昨日のことをほとんど覚えていない。繰り返し実施したことは一部だけ覚えているが普通の人の2、3割程度である。

→この場合、問題があるため「1」の基準を満たす、問題は日常生活に影響する程度なので「2」の基準を満たす、さらに50%以上の問題があるため「3」の基準を満たす、ただし完全な問題とまでは言えないので「4」の基準を満たさないと考えると、「3：重度の機能障害」と判定されます。

2. 身体構造項目の評価点支援ガイド

ICF の対応項目：

身体構造 1-8 章（全て）に含まれる項目
(s110 - s899)

WHO の ICF のコード化に関するガイドライン（ICF の付録 2） [1]において、身体構造項目は第一評価点から第三評価点までが定義されていますが、構造障害の程度や大きさを示す第一評価点を中心に位置づけられています。

0 構造障害なし	0-4%
1 軽度の構造障害	5-24%
2 中等度の構造障害	25-49%
3 重度の構造障害	50-95%
4 完全な構造障害	96%-100%
8 詳細不明	
9 非該当	

なお、第二評価点は身体部位における変化の性質（全欠損、部分的欠損など）、第三評価点は部位を示すコードです。

本マニュアルでは、構造障害の程度や大きさを示す第一評価点のための評価点支援ガイドのみを提示します。

身体構造項目の評価点支援ガイドは、原則的には以下の 5 段階評価としています。

- 0：構造障害なし：対象の身体構造に問題なし
- 1：軽度の構造障害：対象の身体構造全体の 1/4 未満に問題がある
- 2：中等度の構造障害：対象の身体構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
- 3：重度の構造障害：対象の身体構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
- 4：完全な構造障害：対象の身体構造の全てにおよぶ問題がある

評価点支援ガイドの具体例として、呼吸器系の構造 (ICF: s430)を例に挙げます。

- 0：構造障害なし：肺、気管、呼吸器筋などの呼吸器系の構造に問題なし
 - 1：軽度の構造障害：肺、気管、呼吸器筋などの呼吸器系の構造の 1/4 未満に問題がある
 - 2：中等度の構造障害：肺、気管、呼吸器筋などの呼吸器系の構造の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
 - 3：重大な構造障害：肺、気管、呼吸器筋などの呼吸器系の構造の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
 - 4：完全な構造障害：肺、気管、呼吸器筋などの呼吸器系の構造の全てにおよぶ問題がある
- なお、詳細不明の場合は 8、非該当の場合は 9 のコードを用います。

評価例：

右肺の一部にブラを生じている。ブラが存在する区域は X 線上で右肺の 1/2 未満である。他に呼吸器系の構造の異常は指摘されていない。

→この場合、呼吸器系の構造の 1/4 未満に問題があると考えられ、「1：軽度の構造障害」と判定されます。

2. 活動と参加項目の評価点支援ガイド

活動と参加の評価については、WHOのICFのコード化に関するガイドライン（ICFの付録2）[1]において、評価点が以下のように定義されています。

0 困難なし	0-4%
1 軽度の困難	5-24%
2 中等度の困難	25-49%
3 重度の困難	50-95%
4 完全な困難	96%-100%
8 詳細不明	
9 非該当	

この原則に基づき、実行状況（活動と参加が実際に行われている状況）および能力（課題や行為を遂行する個人の能力）について評価点がつけられる仕組みとなっています。

この評価点支援ガイドでは、この考え方にに基づき、各項目を基本的に以下の5つのグループに分けてそれぞれに基本的なガイドを提示しています。

A) 認知的な活動に関連する項目群（ICFにおける1章 学習と知識の応用 及び2章 一般的な課題と要求）

B) コミュニケーションに関連する項目群（ICFにおける3章 コミュニケーション）

C) 移動やセルフケアに関連する項目群（ICFにおける4章 運動・移動 及び5章 セルフケア）

D) 家庭生活や社会生活における活動に関連する項目群（ICFにおける6章 家庭生活、8章 主要な生活領域 及び9章 コミュニティライフ・社会生活・市民生活）

E) 対人関係に関連する項目群（ICFにおける7章 対人関係）

なお、この5つの基本パターンに当てはめることができない例外項目については、個別にガイドを記載しています。

なお、本ガイドは能力の評価にも応用は可能ですが、基本的には実行状況の評価を行うことを念頭において作成・検証されています。

A) 認知的な活動に関連する項目群

ICF の対象項目：

活動と参加 1章（学習と知識の応用）及び2章（一般的な課題と要求）に含まれる項目（d110- d299）

ICD-11 V 章の対象項目：

- VV80 基礎的学習
- VV81 問題解決
- VV90 日課の遂行
- VV91 ストレス及びその他の心理的要求への対処

このグループには、一人で行う認知的な活動に関連する項目が主に含まれます。

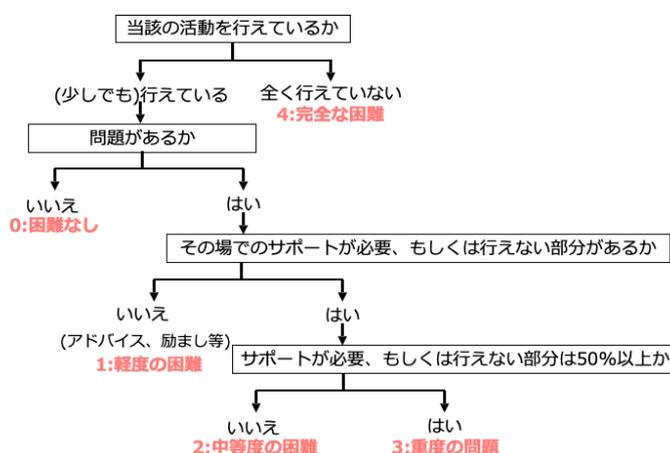
原則的には以下の5段階評価となります。

- 0 困難なし：問題なく自分でやっている
 - 1 軽度の困難：自分でやっているが何らかの困難がある。もしくは自分で行なっているが間接的なサポートを要する
 - 2 中等度の困難：一部（50%未満）を直接的なサポート下で行っている、もしくは一部（50%未満）を自分では行えていない
 - 3 重度の困難：大部分（50%以上）を直接的なサポート下で行っている、もしくは大部分（50%以上）を自分では行えていない
 - 4 完全な困難：全て直接的なサポート下で行っている、もしくは全く自分では行えていない
- なお、詳細不明の場合は8、非該当の場合は9のコードを用います。

”間接的”と”直接的“の違いは、”間接的“はアドバイスや励まし等その場にいる必要のないサポート、”直接的“は他者の配慮や指示等その場でのサポートが必要かどうかという点です。

図2は、この項目群の採点の流れをフローチャートにしたものです。評価のポイント以下の4つです。

- 1)当該の活動を行えているか
- 2)問題があるか
- 3)その場での直接的なサポートが必要、もしくは自分では行えない部分があるか
- 4)必要なサポートや自分では行えない部分が50%以上に及ぶか



支援ガイドを用いた評価の具体例として、問題解決（ICD-11V: VV81/ ICF: d175）を例に挙げます。

- 0：支障なく自分で問題解決を行っている
- 1：問題解決を自分でやっているが、解決方法が限定される等何らかの困難、制限がある
- 2：問題解決において、一部（50%未満）を直接的な他者のサポート下で行っている。もしくは一部（50%未満）を自分では行えていない
- 3：問題解決において、大部分（50%以上）を直接的な他者のサポート下で行っている。もしくは大部分（50%以上）を自分では行えていない
- 4：問題解決を完全に直接的な他者のサポート下で行っている。もしくは全く自分では行えていない

評価例：

重度の認知症のために判断能力に問題があり、老人ホームの契約や財産管理等重要な事柄については成年後見人が対応している。身の回りのことで困ったときに人の助けを借りることはできることもあるが、多くの場合は周りの配慮・サポートが必要である。
→この場合、問題があるため「1」の基準を満たす、問題はその場での直接的なサポートが必要なので「2」の基準を満たす。さらに問題は50%以上に及ぶため「3」の基準を満たす、しかし全く自分で行えないわけではなく一部は行えているので「4」の基準を満たさないと考えると、「3：重度の困難」と判定されます。

B) コミュニケーションに関連する項目群

ICFの対象項目：

活動と参加 3章（コミュニケーション）に含まれる項目
（d310 - d399）

ICD-11 V章の対象項目：

- VW00 話し言葉の理解
- VW01 会話

原則的には以下の5段階評価となります。

- 0 困難なし：問題なく自分でやっている
- 1 軽度の困難：自分でやっているが何らかの困難がある。もしくは自分でやっているが道具等を必要とする
- 2 中等度の困難：一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポートが必要である
- 3 重度の困難：大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポートが必要である
- 4 完全な困難：全く自分では行えていない

なお、詳細不明の場合は8、非該当の場合は9のコードを用います。

コミュニケーションには必ず相手がいるため、その相手の配慮に基づくサポートが必要かどうかの評価のポイントです。

図3は、この項目群の採点の流れをフローチャートにしたものです。評価のポイントは以下の4つです。

- 1) 当該の活動を行えているか
- 2) 問題があるか
- 3) 他者の配慮に基づくサポートが必要か
- 4) 必要な場合、必要なサポートは50%以上か

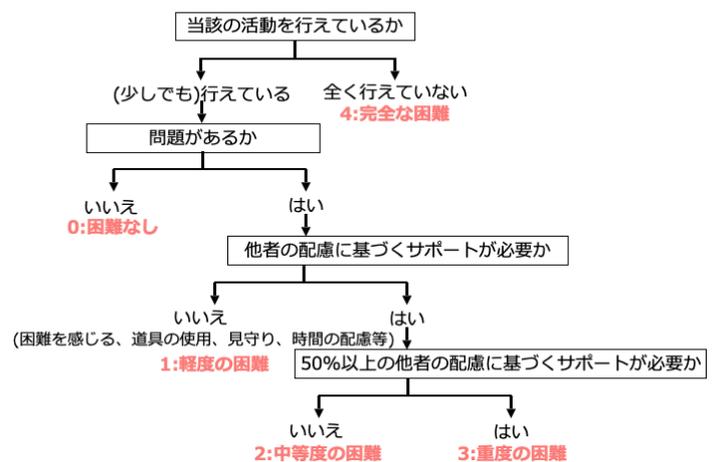
支援ガイドの具体例として、話し言葉の理解（ICD-11V：VW00/ ICF: d310）を例に挙げます

。 ---

- 0 困難なし：問題なく話し言葉を理解できている
- 1 軽度の困難：話し言葉の理解に制限があるが、自分でサポート（言い換え等）を依頼することで解決できる/補助具を利用している
- 2 中等度の困難：話し言葉の理解に制限があり、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（ジェスチャーや言い換え等）が必要である
- 3 重度の困難：話し言葉の理解に制限があり、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（ジェスチャーや言い換え等）が必要である
- 4 完全な困難：話し言葉を全く理解できていない

評価例：話したことの大意を理解できるが、一部で理解が不十分なことがある。話し手が配慮して平易な言葉を用いたり、理解を確認したりする必要がある。

→この場合、問題があるため「1」の基準を満たし、他者のサポートが必要なので「2」の基準を満たしますが、一部で言い換えをする程度とサポートは50%未満であるため「3」の基準は満たさず、「2：中等度の困難」と判定されます。



なお、以下の項目については例外を適用します。

歌うこと (ICF d332)

以下の項目独自の支援ガイドを適用します。

- 0 問題なく歌うことができている
- 1 自分で歌うが、声量が極端に小さいなど何らかの困難がある
- 2 歌うことに一部 (50%未満) 制限 (音域や時間が限られるなど) がある
- 3 歌うことに大部分 (50%以上) 制限 (音域や時間が限られるなど) がある
- 4 歌うことが全くできていない

コミュニケーション用具および技法の利用 (ICF d360)

C)移動およびセルフケアに関連する項目群の支援ガイドの形式に準じて以下のガイドを適用します。

- 0 問題なくコミュニケーション用具および技法 (電話や筆談用具など) を利用できる
- 1 コミュニケーション用具および技法の利用を自分で行っているが、時間がかかるなど何らかの困難がある
- 2 コミュニケーション用具および技法の利用を他者の見守り下、もしくは一部 (50%未満) サポート下 (操作の手伝いなど) で行っている
- 3 コミュニケーション用具および技法の利用を、大部分 (50%以上) サポート下 (操作の手伝いなど) で行っている
- 4 コミュニケーション用具および技法の利用が全くできない

C)移動およびセルフケアに関連する項目群

ICFの対象項目：

4章（運動・移動）及び5章（セルフケア）に含まれる項目
（d410 - d599）

ICD-11 V章の対象項目：

- VW10 立位の保持
- VW11 乗り移り（移乗）
- VW12 物の運搬、移動及び操作
- VW13 歩行
- VW14 自宅内の移動
- VW15 用具を用いての移動
- VW16 交通機関・手段の利用
- VW20 自分の身体を洗うこと
- VW21 身体各部の手入れ
- VW22 排泄
- VW23 更衣
- VW24 食べること
- VW25 健康に注意すること

原則的には以下の5段階評価となります。

- 0 困難なし：問題なく自分で行っている
- 1 軽度の困難：自分で行っているが何らかの困難がある。もしくは自分で行なっているが道具等が必要である
- 2 中等度の困難：他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）をサポート下で行っている
- 3 重度の困難：大部分（50%以上）をサポート下で行っている
- 4 完全な困難：完全なサポート下で行っている。もしくは全く自分では行えていない

なお、詳細不明の場合は8、非該当の場合は9のコードを用います。

この項目群には移動及びセルフケアに関連した項目が含まれています。患者自身が実施しないと生活が成立しない日常生活活動（ADL）に関連するものが多くを占めています。評価のポイントは、見守りや介助（サポート）の有無と程度です。

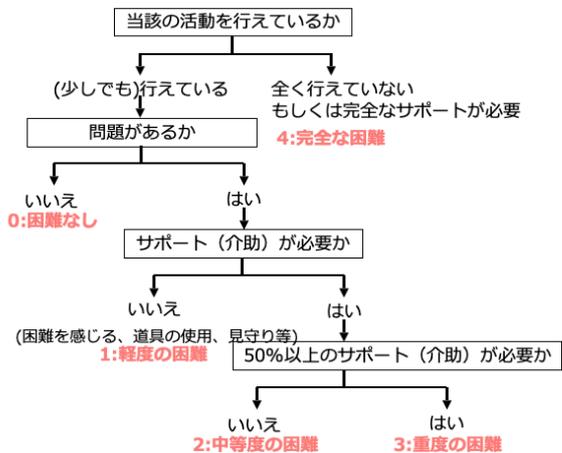
図4は、この項目群の採点の流れをフローチャートにしたものです。評価のポイントは以下の4つです。

- 1)当該の活動が行えているか
- 2)問題があるか
- 3)サポートが必要か
- 4)必要な場合、必要なサポートは50%以上か

この項目群においては、とくに第二レベルが異なる難易度の第三レベルおよび第四レベルの項目を含む場合が多くあります。活動と参加項目の冒頭で述べたように、このような場合、項目に含まれる代表的な活動の平均的な実行状況を念頭に評価してください。特定の活動を念頭に置いて評価する場合は、第二レベルではなく、その下位にあたる第三または第四レベルの項目で評価してください。評価基準は上位項目の第二レベルのものを参照してください。

評価点支援ガイドを用いた評価の具体例として、乗り移り（移乗）（ICD-11V：VW11/ICF：d420）を例に挙げます。

- 0 困難なし：
 移乗を問題なく自分でやっている
- 1 軽度の困難：
 移乗を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や杖、手すりを使用する
- 2 中等度の困難：
 移乗を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
- 3 重度の困難：移乗を大部分（50%以上）サポート下で行っている
- 4 完全な困難：移乗を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない



評価例：

重い麻痺のため、ベッド-車椅子間及びトイレ-車椅子間の移乗の際に重介助を要する。協力動作はわずかに得られる。

→この場合、問題があるため「1」の基準を満たす、他者のサポートが必要のため「2」の基準を満たす、重介助を要しており、協力動作はわずかとあるためサポートは50%以上と考えると「3」の基準を満たすため、「3：重度の困難」と判定されます。

なお、以下の項目については例外を適用します。

健康に注意すること (ICD-11V: VW25/ ICF 570)

A) 認知的な活動に関連する項目群のガイドの形式に準じて以下のマニュアルを適用します

。

- 0 心身の健康を維持するための自己管理を問題なく自分でやっている
- 1 心身の健康を維持するための自己管理を行っているが困難を伴う、もしくは他者によるアドバイスや励まし、道具（仕切られた薬箱やタイマーなど）を必要とすることがある
- 2 心身の健康を維持するための自己管理を一部（50%未満）他者の直接的なサポート下で行っている、もしくは一部（50%未満）管理できていない
- 3 心身の健康を維持するための自己管理を大部分（50%以上）他者の直接的なサポート下で行っている、もしくは大部分（50%以上）管理できていない
- 4 心身の健康を維持するための自己管理を完全に他者の直接的なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない

D)家庭生活、社会生活に関連する項目群

ICFの対象項目：

6章（家庭生活）、8章（主要な生活領域）及び9章（コミュニティライフ・社会生活・市民生活）に含まれる項目
(d610 - d699, d810 - d999)

ICD-11 V章の対象項目：

- VW30 調理
- VW31 家事を行う
- VW32 他者への援助
- VW50 報酬を伴う仕事
- VW60 レクリエーションとレジャー
- VW61 人権

この項目群には、家庭生活や社会生活に関わる項目が多く含まれています。原則的には以下の5段階評価となります。

- 0 困難なし：問題なく自分で行っている
 - 1 軽度の困難：自分で行っているが、何らかの困難がある。補助具・自助具等を使用する
 - 2 中等度の困難：一部（50%未満）に他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
 - 3 重度の困難：大部分（50%以上）に他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
 - 4 完全な困難：全く自分では行えていない
- なお、詳細不明の場合は8、非該当の場合は9のコードを用います。

この項目群の支援ガイドでは、他者のサポートだけではなく、代行や実施範囲の制限を要していることも基準に含めています。移動やセルフケア等のように基本的には行うことが必須（例えばトイレを人が代わりにやることはできない）の項目とは異なり、この項目群には家事や仕事等、家庭や社会での役割に関する項目が含まれており、それらには実施しないという選択肢があります。例えば家事は家族が代わりにやることもありますし、仕事内容に制限がかかるといったケースもあります。そのため、通常行うことが期待される範囲の内容を実施できていないということ、基準に追加しています。なお、9章（コミュニティライフ・社会生活・市民生活）は参加の問題であるため代行することなく、「他者のサポートや実施範囲の制限」の有無を基準としています。

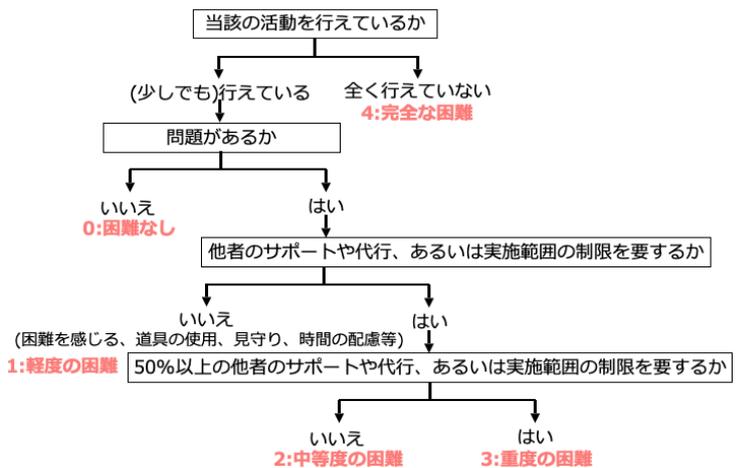
図5はこの項目群の採点の流れをフローチャートにしたものです。評価のポイントは以下の4つです。

- 1)当該の活動を行えているか
- 2)問題があるか
- 3)サポートが必要かもしくは代行や実施範囲に制限があるか
- 4)必要なサポートや代行・実施範囲の制限は50%以上か

この項目群においてはC)と同様、第二レベルが異なる難易度の第三レベルおよび第四レベルの項目を含む場合があります。活動と参加項目の冒頭で述べたように、このような場合、項目に含まれる代表的な活動の平均的な実行状況を念頭に評価してください。特定の活動を念頭に置いて評価する場合は、第二レベルではなく、その下位にあたる第三または第四レベルの項目で評価してください。評価基準は上位項目の第二レベルのものを参照してください。

評価点支援ガイドを用いた評価の具体例として、報酬を伴う仕事（ICD-11V: VW50/ ICF: d850）を例に挙げます。

- 0 困難なし：
特別な配慮や支援機器等の助けなしに、報酬を得て仕事をしている
- 1 軽度の困難：
報酬を得て制限なく自分で仕事を行っているが、勤務時間や仕事量の配慮、支援機器や支援環境を要している
- 2 中等度の困難：
報酬を得て自分で仕事を行っているが、勤務内容の制限、他者のサポートを一部（50%未満）に要している
- 3 重度の困難：
報酬を得て自分で仕事を行っているが、勤務内容の制限、他者のサポートを大部分（50%以上）に要している
- 4 完全な困難：
報酬を得る仕事を行えていない



評価例：

脊髄損傷後、受傷前と同じ事務職として時短勤務で働き始めている。また、移動には車椅子を使用している。
→この場合、問題はあるため「1」の基準を満たす、時短勤務で車椅子の使用もしているが他者のサポートは必要とせず、実施内容の制限もないので「2」の基準は満たしていないため、「1：軽度の困難」と判定されます。

なお、以下の項目については例外を適用します。

人権（ICD-11 V: VW60/ ICF: d940）

以下の項目独自の支援ガイドを適用します。

- 0 困難なし：人として生活するための選択や決定、その管理を問題なく自分でやっている
- 1 軽度の困難：人として生活するための選択や決定、その管理を行っているが、いくらか困難を伴う
- 2 中等度の困難：人として生活するための自己選択や決定、その管理に一部（50%未満）支障がある
- 3 重度の困難：人として生活するための自己選択や決定、その管理に重大な（50%以上）支障がある
- 4 完全な困難：人として生活するための自己選択や決定、その管理を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない

E)人間関係に関連する項目群

ICFの対象項目：

7章（対人関係）に含まれる項目
（d710-d799）

ICD-11V章の対象項目：

- VW40 基本的な対人関係
- VW41 よく知らない人との関係
- VW42 親密な関係

この項目群には、人間関係に関わる項目が多く含まれています。原則的には以下の5段階評価となります。

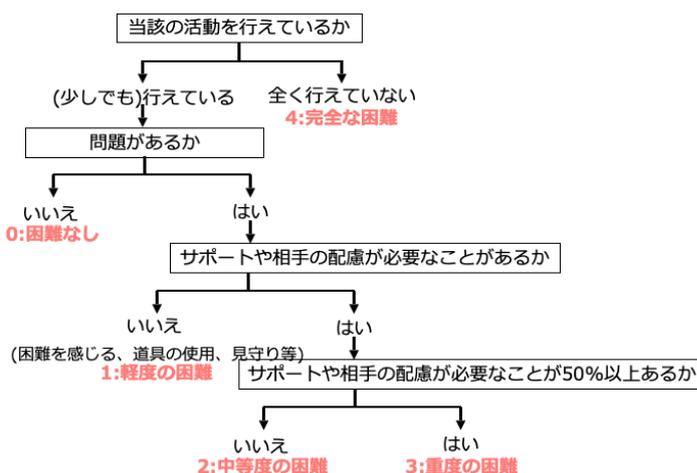
- 0 困難なし：問題なく行っている
 - 1 軽度の困難：自分で行っているが、何らかの困難がある
 - 2 中等度の困難：時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
 - 3 重度の困難：頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
 - 4 完全な困難：全く自分では行えていない
- なお、詳細不明の場合は8、非該当の場合は9のコードを用います。

コミュニケーションと同様に人間関係にも相手がいるため、相手の特別な配慮が必要かどうかの基本となっています。コミュニケーションの項目と違うところは、必ずしも二者の問題とは限らない点です。複数人が関わるため、第三者のサポートで関係が円滑に進むケースもあるということです。そのため、2と3は“支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある”という言い回しになっています。

図6は、この項目群の採点の流れをフローチャートにしたものです。評価のポイントは以下の4つです。

- 1)当該の活動を行えているか
- 2)問題があるか
- 3)見守り・サポートや相手の配慮が必要なことがあるか
- 4)それは50%以上か

支援ガイドの具体例として、基本的な対人関係（ICD-11 V章：VC50/ ICF：d710）を例に挙げます。



0 困難なし：

相手への配慮、意見の調整等人との交流を問題なく行っている

1 軽度の困難：

相手への配慮、意見の調整等人との交流を行っているが、強いストレスを感じる、やりとりに時間がかかる、あるいはコミュニケーション用具の使用をする等何らかの困難がある

2 中等度の困難：

相手への配慮、意見の調整等人との交流を行うことに時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある

3 重度の困難：

相手への配慮、意見の調整等人との交流を行うことに頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある

4 完全な困難：

相手への配慮、意見の調整等を全く自分では行えていない

評価例：

重度の失語のため言語理解や意思の表出が困難である上にうつ傾向があり、本人とのやりとりに相手の努力をかなり要する。交流は家族と医療者に限られる。

→この場合、問題があるため「1」の基準を満たす、サポートや相手の配慮が必要なので「2」の基準を満たす、さらに第三者のサポートや相手の特別な配慮が50%以上に及ぶと考えられるため「3」の基準を満たす、しかし自分では全く行えないわけではなく一部は実施できることから「4」の基準は満たさないことから、「3：重度の困難」と判定されます。

4. 環境因子項目の評価点支援ガイド

ICFの対応項目：環境因子 1-5章（全て）に含まれる項目
(e110 - e599)

環境因子項目の評価においては、生活機能の各要素（主に活動と参加）において阻害因子あるいは促進因子であるかを記載することとされています。WHOのICFのコード化に関するガイドライン（ICFの付録2）[1]における評価点の定義は以下の通りです。

0 阻害因子なし	0-4%
1 軽度の阻害因子	5-24%
2 中等度の阻害因子	25-49%
3 重度の阻害因子	50-95%
4 完全な阻害因子	96%-100%
+0 促進因子なし	0-4%
+1 軽度の促進因子	5-24%
+2 中等度の促進因子	25-49%
+3 重度の促進因子	50-95%
+4 完全な促進因子	96%-100%

- 8 詳細不明の阻害因子
- + 8 詳細不明の促進因子
- 9 非該当

ここでの阻害因子とは、患者の生活機能を阻害するもの、促進因子とはそれを促進するものことです。

この支援ガイドでは、一般的に安定した社会においてほとんどの人が日常的に享受している環境を標準とし、そこから外れた環境によって生活機能が損なわれている場合に阻害因子、よりよい環境によって生活機能が改善している場合に促進因子と定義しています。たとえば、平均的な住宅には存在しない大きな段差が室内にあるために、日常生活に必要な歩行が制限される状況は阻害因子、バリアフリー住宅など平均的な住宅よりも支援的な環境によって歩行が可能となっている場合は促進因子と考えます。

なお、医療・介護・福祉などにおいて限られた人だけに提供される環境は、促進因子とみなします。たとえば、家に車椅子がないことは一般家庭の環境として標準的と考えて阻害因子とはみなさず、車椅子が提供されている場合に促進因子として評価します。

環境因子は対象者の生活機能によって阻害因子にも促進因子にもなるため、絶対的な評価は困難であり、対象者ごとの相対的な評価が必要となります。以下に本マニュアルにおける評価点の基本的な考え方を記載しますが、具体的な評価基準については今後開発される必要があります。

- 0: 当該環境因子が適切に存在しており、関連する活動や参加に支障がない状態
- 1: 本来あるべき当該環境因子の不足により、関連する活動や参加に軽度の悪化が生じている状態
- 2: 本来あるべき当該環境因子の不足により、関連する活動や参加に中等度の悪化が生じている状態
- 3: 本来あるべき当該環境因子の不足により、関連する活動や参加に重度の悪化が生じている状態

4: 本来あるべき当該環境因子の不足により、関連する活動や参加に完全な悪化が生じている状態

+1: 当該環境因子が標準を超えていることにより、関連する活動や参加に軽度の改善が生じている状態

+2: 当該環境因子が標準を超えていることにより、関連する活動や参加に中等度の改善が生じている状態

+3: 当該環境因子が標準を超えていることにより、関連する活動や参加に高度の改善が生じている状態

+4: 当該環境因子が標準を超えていることにより、関連する活動や参加に完全な改善が生じている状態

付録

ICD-11V 章評価点支援ガイド詳細版

1) 心身機能項目

ICD11-V	ICF	項目	評価点支援ガイド
VV00	b130	活力及び欲動の機能	<p>*モチベーションの欠如や食欲不振といった、活力と欲動の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。</p> <p>0 機能障害なし：活力と欲動の機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：活力と欲動の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える活力と欲動の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：活力と欲動の機能において、重大な問題（50%以上）が存在する</p> <p>4 完全な機能障害：例えばモチベーションや食欲がまったくないといった活力と欲動の機能における完全な困難がある</p>
VV01	b134	睡眠機能	<p>*不十分な睡眠や昼夜逆転といった睡眠機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。</p> <p>0 機能障害なし：睡眠機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：睡眠機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える睡眠機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：睡眠機能において、重大な問題（50%以上）が存在する</p> <p>4 完全な機能障害：例えば全く寝られなかったり、完全な昼夜逆転などが常にみられているといった睡眠機能における完全な困難がある</p>
VV02	b140	注意機能	<p>*一つの課題への注意の集中、複数の対象への注意の分散といった、注意機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。</p> <p>0 機能障害なし：注意機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：注意機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える注意機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：注意機能において重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：例えば全く一つの課題に集中できない、別の対象に注意が向けられないといった注意機能における完全な困難がある</p>
VV03	b144	記憶機能	<p>*数秒から数時間の短期の記憶ができないことや過去の出来事の想起ができないことなど、記憶機能全般における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。</p> <p>0 機能障害なし：記憶機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：記憶機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える記憶機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：記憶機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：例えば全く記憶ができない、過去の出来事を全く思い出せないといった記憶機能における完全な困難がある</p>

VV04	b152	情動機能	<p>*感情表現の欠如やコントロールの欠如といった、情動機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。</p> <p>0 機能障害なし：情動機能において問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：情動機能において問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える情動機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：情動機能において、重大な問題（50%以上）が存在する</p> <p>4 完全な機能障害：例えば常に全く感情がコントロールできなかつたり、感情の表出が完全にできない状態にあるといった情動機能における完全な困難がある</p>
VV10	b210- b220	視覚及び関連機能	<p>*視力および視野や眼球運動による視覚の制限など、視覚に関わる機能全般における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。</p> <p>0 機能障害なし：視覚に関わる機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：視覚に関わる機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える視覚に関わる機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：視覚に関わる機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：失明のように視覚に関わる機能において完全な困難がある</p>
VV11	b230- b240	聴覚及び前庭の機能	<p><u>聴覚機能</u></p> <p>*難聴など、聴覚機能における程度と頻度を考慮に入れて採点する。</p> <p>0 機能障害なし：聴覚機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：聴覚機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える聴覚機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：聴覚機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：聾のように聴覚に関わる機能において完全な困難がある</p> <p><u>前庭機能</u></p> <p>*平衡感覚の障害、めまいなど、前庭機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。</p> <p>0 機能障害なし：前庭機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：前庭機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える前庭機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：前庭機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：平衡を完全に失った状態のように前庭機能において完全な困難がある</p>

VV12	b280	痛みの感覚	<p>*痛みの問題の程度、頻度および疼痛のある部位の数を考慮に入れて採点する。</p> <p>0 機能障害なし：痛みの問題が全くない</p> <p>1 軽度の機能障害：痛みの問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える痛みの問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：痛みにおいて、重大な問題（50%以上）が存在する</p> <p>4 完全な機能障害：例えば持続的な耐えられない痛みのように痛みにおける完全な困難がある</p>
VV20	b310- b340	音声及び発話に関連する機能	<p>*発声の障害、声量の低下や発話明瞭度の低下など、音声と発話に関する機能全般における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。</p> <p>0 機能障害なし：音声と発話に関する機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：音声と発話に関する機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える音声と発話に関する機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：音声と発話に関する機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：例えば全く発声ができない、もしくは発話がまったく不明瞭であるといった音声と発話に関する機能における完全な困難がある</p>
VV30	b455	運動耐容能	<p>*呼吸機能や心機能の低下といった、運動耐容能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。</p> <p>0 機能障害なし：運動耐容能において問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：運動耐容能において問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える運動耐容能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：運動耐容能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：例えば心肺機能の問題のために日常生活のあらゆる活動に常に体力的に耐えられないといった運動耐容能における完全な困難がある</p>
VV40	b510- b535	消化器系に関連する機能	<p><u>摂食機能</u></p> <p>*咀嚼機能の低下・嚥下機能の低下など、摂食機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。</p> <p>0 機能障害なし：摂食機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：摂食機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える摂食機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：摂食機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：例えば全く摂食ができない、もしくはあらゆる条件下で誤嚥する状態であるといった摂食機能における完全な困難がある</p>

消化・吸収及び排便機能

*嘔吐、便秘、下痢など、消化・吸収および排便に関する機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。

0 機能障害なし：消化・吸収および排便に関する機能における問題がない

1 軽度の機能障害：消化・吸収および排便に関する機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である

2 中等度の機能障害：1の範囲を超える消化・吸収および排便に関する機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる

3 重度の機能障害：消化・吸収および排便に関する機能において、重大な問題（50%以上）がある

4 完全な機能障害：例えばまったく排便がないもしくは全て嘔吐するといった消化・吸収および排便に関する機能における完全な困難がある

VV50 b620 排尿機能

*排尿困難や失禁といった、排尿機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。

0 機能障害なし：排尿機能において問題がない

1 軽度の機能障害：排尿機能において問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である

2 中等度の機能障害：1の範囲を超える排尿機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる

3 重度の機能障害：排尿機能において、重大な問題（50%以上）がある

4 完全な機能障害：例えば常に尿閉や失禁があるといった排尿機能における完全な困難がある

VV51 b640 性機能

*精神的、身体的な性機能障害といった、性機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。

0 機能障害なし：性機能において問題がない

1 軽度の機能障害：性機能において問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である

2 中等度の機能障害：1の範囲を超える性機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる

3 重度の機能障害：性機能において、重大な問題（50%以上）がある

4 完全な機能障害：性欲や性的活動のための身体機能が完全に失われるといった性機能における完全な困難がある

VV60 b710 関節の可動性の機能

*関節拘縮や疼痛による可動域制限といった、関節の可動性の機能における問題の程度と問題のある関節の割合を考慮に入れて採点する。

0 機能障害なし：関節の可動性の機能において問題がない

1 軽度の機能障害：関節の可動性の機能において問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である

2 中等度の機能障害：1の範囲を超える関節の可動性の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる

3 重度の機能障害：関節の可動性の機能において、重大な問題（50%以上）がある

4 完全な機能障害：全ての主要な関節の完全な拘縮といった関節の可動性の機能における完全な困難がある

VV61	b730	筋力の機能	<p>*筋力の機能における問題の程度と問題のある関節の割合を考慮に入れて採点する。</p> <p>0 機能障害なし：筋力の機能において問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：筋力の機能において問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える筋力の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：筋力の機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>4 完全な機能障害：すべての主要な筋の筋力が失われるといった筋力の機能における完全な困難がある</p>
VV70	b810- b860	皮膚及び関連する構造の機能	<p>*褥瘡や熱傷などによる皮膚の保護機能、修復機能の低下など、皮膚および関連する構造における問題の範囲と程度と頻度を考慮に入れて採点する。</p> <p>0 機能障害なし：皮膚および関連する構造の機能における問題がない</p> <p>1 軽度の機能障害：皮膚および関連する構造の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である</p> <p>2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える皮膚および関連する構造の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる</p> <p>3 重度の機能障害：皮膚および関連する構造の機能において、重大な問題（50%以上）がある</p> <p>5 完全な機能障害：例えば、全身に重度の熱傷など皮下組織を含む皮膚の保護修復機能の問題を生じるような皮膚および関連する構造の機能における完全な困難がある</p>

2) 活動と参加

ICD11-V	ICF	項目	評価点支援ガイド
VV80	d130-d155	基礎的学習	<p>0 困難なし：問題なく基礎的学習を行っている</p> <p>1 軽度の困難：基礎的学習は可能だが、促しや準備が必要である</p> <p>2 中等度の困難：学習にいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは学習が一部（50%未満）において不十分となる</p> <p>3 重度の困難：学習にかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは学習が大部分（50%以上）において不十分となる</p> <p>4 完全な困難：学習が全く行えていない</p>
VV81	d175	問題解決	<p>0 困難なし：支障なく自分で問題解決を行っている</p> <p>1 軽度の困難：問題解決を自分で行っているが、アドバイスや励ましなどの間接的なサポートを要する、もしくは解決方法が限定されるなど何らかの困難、制限がある</p> <p>2 中等度の困難：問題解決において、一部（50%未満）を直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは一部を行えていない</p> <p>3 重度の困難：問題解決において、大部分（50%以上）を直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは大部分を行えていない</p> <p>4 完全な困難：問題解決を完全に直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VV90	d230	日課の遂行	<p>0 困難なし：日課の遂行を問題なく自分で行っている</p> <p>1 軽度の困難：日課の遂行を自分で行っているが、アドバイスや励ましなどの間接的なサポートを要する、もしくは計画性に乏しい、活動の計画に消極的であるなど何らかの困難がある</p> <p>2 中等度の困難：日課の遂行を一部（50%未満）直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは一部を行えていない</p> <p>3 重度の困難：日課の遂行を大部分（50%以上）直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは大部分を行えていない</p> <p>4 完全な困難：日課の遂行を完全に直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VV91	d240	ストレス及びその他の心理的要求への対処	<p>0 困難なし：ストレス及びその他の心理的要求への対処を問題なく自分で行っている</p> <p>1 軽度の困難：ストレス及びその他の心理的要求への対処を自分で行っているが、対処に他者によるアドバイスや励ましを要するなど何らかの困難がある</p> <p>2 中等度の困難：ストレス及びその他の心理的要求への対処を一部（50%未満）直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは一部を行えていない</p> <p>3 重度の困難：ストレス及びその他の心理的要求への対処を大部分（50%以上）直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは大部分を行えていない</p> <p>4 完全な困難：ストレス及びその他の心理的要求への対処を完全に直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VW00	d310	話し言葉の理解	<p>0 困難なし：問題なく話し言葉を理解できている</p> <p>1 軽度の困難：話し言葉の理解に制限があるが、自分でサポート（言い換えなど）を依頼することで解決できる/ 補助具を利用している</p> <p>2 中等度の困難：話し言葉の理解に制限があり、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（ジェスチャーや言い換えなど）が必要である</p> <p>3 重度の困難：話し言葉の理解に制限があり、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（ジェスチャーや言い換えなど）が必要である</p> <p>4 完全な困難：話し言葉が全く理解できていない</p>
VW01	d350	会話	<p>0 困難なし：問題なく会話を行っている</p>

VW10	d4154 (d415 の一部)	立位の保持	<p>1 軽度の困難：会話を行っているが、軽微な問題(内容の不適切さ、語彙の不足など)が存在する</p> <p>2 中等度の困難：会話を行っているが、一部(50%未満)に他者の配慮に基づくサポート(要約、推測、補足など)が必要である</p> <p>3 重度の困難：会話を行っているが、大部分(50%以上)に他者の配慮に基づくサポート(要約、推測、補足など)が必要である</p> <p>4 完全な困難：全く会話が行えない、会話が成立しない</p> <p>0 困難なし：立位の保持を問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の困難：立位の保持を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や杖、手すりを使用する</p> <p>2 中等度の困難：立位の保持を他者の見守り下、もしくは一部(50%未満)サポート下で行っている</p> <p>3 重度の困難：立位の保持を大部分(50%以上)サポート下で行っている</p> <p>4 完全な困難：立位の保持を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VW11	d420	乗り移り(移乗)	<p>0 困難なし：移乗を問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の困難：移乗を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や杖、手すりを使用する</p> <p>2 中等度の困難：移乗を他者の見守り下、もしくは一部(50%未満)サポート下で行っている</p> <p>3 重度の困難：移乗を大部分(50%以上)サポート下で行っている</p> <p>4 完全な困難：移乗を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VW12	d430- d445	物の運搬、移動及び操作	<p>0 困難なし：物の運搬、移動及び操作を問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の困難：物の運搬、移動及び操作を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や自助具等を使用する</p> <p>2 中等度の困難：物の運搬、移動及び操作を他者の見守り下、もしくは一部(50%未満)サポート下で行っている</p> <p>3 重度の困難：物の運搬、移動及び操作を大部分(50%以上)サポート下で行っている</p> <p>4 完全な困難：物の運搬、移動及び操作を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VW13	d450	歩行	<p>屋内</p> <p>0 困難なし：屋内の歩行を問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の困難：屋内の歩行を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や杖、手すりを使用する</p> <p>2 中等度の困難：屋内の歩行を他者の見守り下、もしくは一部(50%未満)サポート下で行っている</p> <p>3 重度の困難：屋内の歩行を大部分(50%以上)サポート下で行っている</p> <p>4 完全な困難：屋内の歩行を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p> <p>屋外、悪路</p> <p>0 困難なし：屋外、悪路の歩行を問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の困難：屋外、悪路の歩行を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や杖、手すりを使用する</p> <p>2 中等度の困難：屋外、悪路の歩行を他者の見守り下、もしくは一部(50%未満)サポート下で行っている</p> <p>3 重度の困難：屋外、悪路の歩行を大部分(50%以上)サポート下で行っている</p> <p>4 完全な困難：屋外、悪路の歩行を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VW14	d4600 (d460 の一部)	自宅内の移動	<p>0 困難なし：自宅内の移動を問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の困難：自宅内の移動を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や杖、手すり、歩行器、車椅子などを使用する</p>

			<p>2 中等度の困難：自宅内の移動を他者の見守り下、もしくは一部(50%未満) サポート下で行っている</p> <p>3 重度の困難：自宅内の移動を大部分 (50%以上) サポート下で行っている</p> <p>4 完全な困難：自宅内の移動を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VW15	d465	用具を用いての移動	<p>0 困難なし：用具を用いての移動を問題なく自分で行っている</p> <p>1 軽度の困難：用具を用いての移動を自分で行っているが困難を伴う/自分で行っているが改造や動力が必要</p> <p>2 中等度の困難：用具を用いての移動を他者の見守り下、もしくは一部 (50%未満) サポート下で行っている</p> <p>3 重度の困難：用具を用いての移動を大部分 (50%以上) サポート下で行っている</p> <p>4 完全な困難：用具を用いての移動を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VW16	d470	交通機関・交通手段の利用	<p>0 困難なし：交通機関・交通手段の利用を問題なく自分で行っている</p> <p>1 軽度の困難：交通機関・交通手段の利用を自分で行っているが困難を伴う/自分で行っているが、装具や杖、手すりを使用する/自分で行っているがエレベーターの使用が必須</p> <p>2 中等度の困難：交通機関・交通手段の利用を他者の見守り下、もしくは一部 (50%未満) サポート下で行っている</p> <p>3 重度の困難：交通機関・交通手段の利用を大部分 (50%以上) サポート下で行っている</p> <p>4 完全な困難：交通機関・交通手段の利用を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VW20	d510	自分の身体を洗うこと	<p>0 困難なし：自分の身体を洗うことを問題なく自分で行っている</p> <p>1 軽度の困難：自分の身体を洗うことを自分で行っているが困難を伴う/自分で行っているが装具や自助具、手すりを使用する</p> <p>2 中等度の困難：自分の身体を洗うことを他者の見守り下、もしくは一部 (50%未満) サポート下で行っている</p> <p>3 重度の困難：自分の身体を洗うことを大部分 (50%以上) サポート下で行っている</p> <p>4 完全な困難：自分の身体を洗うことを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VW21	d520	身体各部の手入れ	<p>0 困難なし：身体各部の手入れを問題なく自分で行っている</p> <p>1 軽度の困難：身体各部の手入れを自分で行っているが困難を伴う/自分で行っているが自助具を使用する</p> <p>2 中等度の困難：身体各部の手入れを他者の見守り下、もしくは一部 (50%未満) サポート下で行っている</p> <p>3 重度の困難：身体各部の手入れを大部分 (50%以上) サポート下で行っている</p> <p>4 完全な困難：身体各部の手入れを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VW22	d530	排泄	<p>0 困難なし：排泄を問題なく自分で行っている</p> <p>1 軽度の困難：排泄を自分で行っているが困難を伴う/自分で行っているが装具や自助具、手すりを使用する</p> <p>2 中等度の困難：排泄を他者の見守り下、もしくは一部(50%未満) サポート下で行っている</p> <p>3 重度の困難：排泄を大部分 (50%以上) サポート下で行っている</p> <p>4 完全な困難：排泄を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VW23	d540	更衣	<p>0 困難なし：更衣を問題なく自分で行っている</p> <p>1 軽度の困難：更衣を自分で行っているが困難を伴う/自分で行っているが装具や自助具を使用する、あるいは着用可能な衣服に制限がある</p> <p>2 中等度の困難：更衣を他者の見守り下、もしくは一部(50%未満) サポート下で行っている</p> <p>3 重度の困難：更衣を大部分 (50%以上) サポート下で行っている</p>

VW24	d550	食べること	<p>4 完全な困難：更衣を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p> <p>0 困難なし：食べることを問題なく自分で行っている</p> <p>1 軽度の困難：食べることを自分で行っているが困難を伴う/自分で行っているが自助具を使用する、あるいは摂食可能な食形態や使用可能な食器に制限がある</p> <p>2 中等度の困難：食べることを他者の見守り下、一部（50%未満）サポート下で行っている</p> <p>3 重度の困難：食べることを大部分（50%以上）サポート下で行っている</p> <p>4 完全な困難：食べることを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VW25	d570	健康に注意すること	<p>0 困難なし：心身の健康を維持するための自己管理を問題なく自分で行っている</p> <p>1 軽度の困難：心身の健康を維持するための自己管理を他者によるアドバイスや励ましを受けて行っている</p> <p>2 中等度の困難：心身の健康を維持するための自己管理を一部（50%未満）他者の直接的なサポート下で行っている、もしくは一部（50%未満）管理できていない</p> <p>3 重度の困難：心身の健康を維持するための自己管理を大部分（50%以上）他者の直接的なサポート下で行っている、もしくは大部分（50%以上）管理できていない</p> <p>4 完全な困難：心身の健康を維持するための自己管理を完全に他者の直接的なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VW30	d630	調理	<p>0 困難なし：調理を問題なく自分で行っている</p> <p>1 軽度の困難：調理を自分で行っているが、何らかの困難がある/自分で行っているが、補助具・自助具等を使用する</p> <p>2 中等度の困難：調理において一部に（50%未満）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している</p> <p>3 重度の困難：調理において大部分に（50%以上）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している</p> <p>4 完全な困難：調理を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VW31	d640	家事を行う	<p>0 困難なし：調理以外の家事を支援機器や他者のサポートなしに自分で行っている</p> <p>1 軽度の困難：調理以外の家事を自分で行っているが困難を伴う/装具や自助具の使用を要している</p> <p>2 中等度の困難：調理以外の家事において一部に（50%未満）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している</p> <p>3 重度の困難：調理以外の家事において大部分に（50%以上）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している</p> <p>4 完全な困難：調理以外の家事を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VW32	d660	他者への援助	<p>0 困難なし：育児、介護等他者への援助を範囲の制限や困難を伴うことなく施行している</p> <p>1 軽度の困難：育児、介護等他者への援助を自分で行っており実施可能な範囲に制限がないが、なんらかの困難を伴っている</p> <p>2 中等度の困難：育児、介護等他者への援助一部に（50%未満）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している</p> <p>3 重度の困難：育児、介護等他者への援助において大部分に（50%以上）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している</p> <p>4 完全な困難：育児、介護等他者への援助を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VW40	d710	基本的な対人関係	<p>0 困難なし：相手への配慮、意見の調整など人との交流を問題なく行っている</p> <p>1 軽度の困難：相手への配慮、意見の調整など人との交流を行っているが、強いストレスを感じる、やりとりに時間がかかる、あ</p>

			<p>るいはコミュニケーション用具の使用をするなど何らかの困難を伴う</p> <p>2 中等度の困難：相手への配慮、意見の調整など人との交流を行うことに時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある</p> <p>3 重度の困難：相手への配慮、意見の調整など人との交流を行うことに頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある</p> <p>4 完全な困難：相手への配慮、意見の調整などが全く行えていない</p>
VW41	d730	よく知らない人との関係	<p>0 困難なし：よく知らない人との関係(初めて会う人に物を尋ねるなど)を必要に応じて問題なく自分で行っている</p> <p>1 軽度の困難：よく知らない人への対応を必要に応じて行うが、強いストレスを感じる、やりとりに時間がかかる、あるいはコミュニケーション用具の使用をするなど何らかの困難を伴う</p> <p>2 中等度の困難：よく知らない人への対応を必要に応じて行うことに時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある</p> <p>3 重度の困難：よく知らない人への対応を必要に応じて行うことに頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある</p> <p>4 よく知らない人への対応を完全な困難：完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VW42	d770	親密な関係	<p>0 困難なし：夫婦や恋人との関係を構築・維持することを問題なく行っている</p> <p>1 軽度の困難：夫婦や恋人との関係を築き維持できるが、強いストレスを感じる、やりとりに時間がかかる、あるいはコミュニケーション用具の使用をするなど何らかの困難を伴う</p> <p>2 中等度の困難：夫婦や恋人との関係を構築・維持に時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある</p> <p>3 重度の困難：夫婦や恋人との関係の構築・維持に頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある</p> <p>4 完全な困難：夫婦や恋人との関係の構築・維持を全く行えていない</p>
VW50	d850	報酬を伴う仕事	<p>0 困難なし：特別な配慮や支援機器等の助けなしに報酬を得て仕事をしている</p> <p>1 軽度の困難：報酬を得て制限なく自分で仕事を行っているが、勤務時間や仕事量の配慮、支援機器や支援環境を要している</p> <p>2 中等度の困難：報酬を得て自分で仕事を行っているが、勤務内容の制限、他者のサポートを一部（50%未満）に要している</p> <p>3 重度の困難：報酬を得て自分で仕事を行っているが、勤務内容の制限、他者のサポートを大部分（50%以上）に要している</p> <p>4 完全な困難：報酬を得て仕事を行えていない</p>
VW60	d920	レクリエーション及びレジャー	<p>0 困難なし：趣味活動等とその範囲の制限や困難を伴うことなく行っている</p> <p>1 軽度の困難：趣味活動等を行い、実施可能な範囲に制限がないが、なんらかの困難を伴っている</p> <p>2 中等度の困難：趣味活動等を行っているが、趣味活動等として実施可能な範囲が一部（50%未満）制限されている</p> <p>3 重度の困難：趣味活動等を行っているが、趣味活動等として施行可能な範囲が大部分（50%以上）制限されている</p> <p>4 完全な困難：趣味活動等を全く行えていない</p>
VW61	d940	人権	<p>0 困難なし：人として生活するための選択や決定、その管理を問題なく自分で行っている</p> <p>1 軽度の困難：人として生活するための選択や決定、その管理を行っているが、いづらか困難を伴う</p>

- 2 中等度の困難：人として生活するための自己選択や決定、その管理に一部（50%未満）支障がある
- 3 重度の困難：人として生活するための自己選択や決定、その管理に重大な（50%以上）支障がある
- 4 完全な困難：人として生活するための自己選択や決定、その管理を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない

ICF 評価点支援ガイド詳細版（第二レベル）

コード	項目	評価点	評価点支援ガイド
b110	意識機能		*意識障害、意識レベルの変動などの意識機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：意識機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：意識機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える意識機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：意識機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
b114	見当識機能		*自己認識の障害、時間・場所などの状況認識の低下などの見当識機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：見当識機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：見当識機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える見当識機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：見当識機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
b117	知的機能		*発達遅滞、知能の低下などの知的機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：知的機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：知的機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える知的機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：知的機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
b122	全般的な心理社会的機能		*環境への適応障害、自己認識の問題などの全般的な心理社会的機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：全般的な心理社会的機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：心理社会的機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える心理社会的機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：心理社会的機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
b126	気質と人格の機能		*思考の柔軟性の低下、攻撃性の増加などの気質と人格の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：気質と人格の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：気質と人格の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える気質と人格の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる

		3	重度の機能障害：気質と人格の機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
		4	完全な機能障害：気質と人格の機能における完全な問題がある
b130	活力と欲動の機能		*モチベーションの欠如や食欲不振といった、活力と欲動の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：活力と欲動の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：活力と欲動の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1の範囲を超える活力と欲動の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：活力と欲動の機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
		4	完全な機能障害：活力と欲動の機能における完全な問題がある
b134	睡眠機能		*不十分な睡眠や昼夜逆転といった睡眠機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：睡眠機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：睡眠機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1の範囲を超える睡眠機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：睡眠機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
		4	完全な機能障害：睡眠機能における完全な問題がある
b140	注意機能		*一つの課題への注意の集中、複数の対象への注意の分散といった、注意機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：注意機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：注意機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1の範囲を超える注意機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：注意機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：注意機能における完全な問題がある
b144	記憶機能		*数秒から数時間の短期の記憶ができないことや過去の出来事の想起ができないことなど、記憶機能全般における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：記憶機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：記憶機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1の範囲を超える記憶機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：記憶機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：記憶機能における完全な問題がある
b147	精神運動機能		*精神運動性の興奮または抑制などの精神運動機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：精神運動機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：精神運動機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である

		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える精神運動機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：精神運動機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：精神運動機能における完全な問題がある
b152	情動機能		*感情表現の欠如やコントロールの欠如といった、情動機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：情動機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：情動機能において問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える情動機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：情動機能において、重大な問題（50%以上）が存在する
		4	完全な機能障害：情動機能における完全な問題がある
b156	知覚機能		*錯覚、幻覚、知覚の歪みといった、知覚機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：知覚機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：知覚機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える知覚機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：知覚機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：知覚機能における完全な問題がある
b160	思考機能		*思考の速度の変化、思考の論理性の低下、思考の一貫性の欠如などの思考機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：思考機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：思考機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える思考機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：思考機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：思考機能における完全な問題がある
b164	高次認知機能		*抽象的思考の困難、計画立案の障害、思考の柔軟性の低下などの高次認知機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：高次認知機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：高次認知機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える高次認知機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：高次認知機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：高次認知機能における完全な問題がある
b167	言語に関する精神機能		*言語理解や言語表出の困難（失語症）といった言語に関する精神機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：言語に関する精神機能における問題がない

		1	軽度の機能障害：言語機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える言語機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：言語機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：言語に関する精神機能における完全な問題がある
b172	計算機能		*数的処理能力の低下、数学的思考の困難などの計算機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：計算機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：計算機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える計算機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：計算機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：計算機能における完全な問題がある
b176	複雑な運動を順序立てて行う精神機能		*運動の順序づけの障害、複雑な運動パターンの実行困難といった、複雑な運動を順序立てて行う精神機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：複雑な運動を順序立てて行う精神機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：機能にわずかな困難があるが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：複雑な運動を順序立てて行う精神機能における完全な問題がある
b180	自己と時間の経験の機能		*自己認識の障害、身体像の歪みといった、自己と時間の経験の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：自己と時間の経験の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：機能にわずかな乱れがあるが、日常生活に影響しない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：自己と時間の経験の機能における完全な問題がある
b210	視覚機能		*視力や視野の制限など、視覚の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：視覚機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：視覚機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える視覚機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：視覚機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：視覚機能における完全な問題がある
b215	目に付属する構造の機能		*眼球運動の制限、まぶたの機能不全、涙腺の分泌異常といった目に付属する構造の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する

		0	機能障害なし：目に付属する構造の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：目に付属する構造の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1の範囲を超える機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：目に付属する構造の機能における完全な問題がある
b220	目とそれに付属する構造に関連した感覚		*眼精疲労、眼痛などの目とそれに付属する構造に関連した感覚における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：関連感覚における問題がない
		1	軽度の感覚障害：目とそれに付属する構造に関連した感覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の感覚障害：1の範囲を超える感覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の感覚障害：感覚において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な感覚障害：目に関連した感覚における完全な問題がある
b230	聴覚機能		*難聴など、聴覚機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：聴覚機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：聴覚機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1の範囲を超える聴覚機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：聴覚機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：聴覚機能における完全な問題がある
b235	前庭機能		*平衡感覚の障害、めまいなど、動きに関連する内耳の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：前庭機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：前庭機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1の範囲を超える前庭機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：前庭機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：前庭機能における完全な問題がある
b240	聴覚と前庭の機能に関連した感覚		*耳鳴りなどの感覚における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：関連感覚における問題がない
		1	軽度の感覚障害：聴覚と前庭の機能に関連した感覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の感覚障害：1の範囲を超える感覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の感覚障害：感覚において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な感覚障害：聴覚や前庭に関連した感覚における完全な問題がある

b250	味覚	*味覚の喪失、味覚の減退、味覚の歪み、舌のしびれなどの味覚機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する 機能障害なし：味覚機能における問題がない	0	
			1	軽度の機能障害：味覚機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
			2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える味覚機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
			3	重度の機能障害：味覚機能において、重大な問題（50%以上）がある
			4	完全な機能障害：味覚機能における完全な問題がある
b255	嗅覚	*嗅覚の喪失、嗅覚の減退、嗅覚の歪み、嗅覚過敏などの嗅覚機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する 機能障害なし：嗅覚機能における問題がない	0	
			1	軽度の機能障害：嗅覚機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
			2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える嗅覚機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
			3	重度の機能障害：嗅覚機能において、重大な問題（50%以上）がある
			4	完全な機能障害：嗅覚機能における完全な問題がある
b260	固有受容覚	*関節位置感覚の低下、運動感覚の障害、姿勢感覚の喪失、筋緊張度の感覚異常などの固有受容覚機能における問題の程度と問題のある部位の割合を考慮に入れて採点する 機能障害なし：固有受容覚における問題がない	0	
			1	軽度の機能障害：固有受容覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
			2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える固有受容覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
			3	重度の機能障害：固有受容覚において、重大な問題（50%以上）がある
			4	完全な機能障害：固有受容覚における完全な問題がある
b265	触覚	*触覚の喪失、触覚の減退、しびれ感、異常感覚、触覚過敏などの触覚機能における問題の程度と問題のある部位の割合を考慮に入れて採点する 機能障害なし：触覚における問題がない	0	
			1	軽度の機能障害：触覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
			2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える触覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
			3	重度の機能障害：触覚において、重大な問題（50%以上）がある
			4	完全な機能障害：触覚における完全な問題がある
b270	温度やその他の刺激に関連した感覚機能	*温度感覚の異常、痛覚の異常、振動覚の異常、圧覚の異常などの感覚機能における問題の程度と問題のある部位の割合を考慮に入れて採点する 機能障害なし：関連感覚機能における問題がない	0	
			1	軽度の機能障害：感覚機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
			2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える感覚機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる

		3	重度の機能障害：感覚機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：関連感覚機能における完全な問題がある
b280	痛みの感覚		*痛みの問題の程度、頻度および疼痛のある部位の数を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：痛みの感覚における問題がない
		1	軽度の機能障害：痛みの感覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える痛みの感覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：痛みの感覚において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：痛みの感覚における完全な問題がある
b310	音声機能		*発声障害、声量の低下など、音声機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：音声機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：音声機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える音声機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：音声機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：音声機能における完全な問題がある
b320	構音機能		*構音障害、発音の歪みなど、構音機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：構音機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：構音機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える構音機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：構音機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：構音機能における完全な問題がある
b330	音声言語（発話）の流暢性とリズムの機能		*発話の流暢性障害、吃音など、発話の流暢性とリズムにおける問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：流暢性とリズムの機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：発話の流暢性とリズムの機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：流暢性とリズムの機能における完全な問題がある
b340	代替性音声機能		*喉頭摘出後の食道発声、人工喉頭の使用など、代替性音声機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：代替性音声機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：代替性音声機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる

		3	重度の機能障害：機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：代替性音声機能における完全な問題がある
b410	心機能		*心拍数の異常、心リズム障害、心不全などの心機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：心機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：心機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える心機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：心機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：心機能における完全な問題がある
b415	血管の機能		*血管狭窄、静脈瘤などの血管機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：血管機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：血管機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える血管機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：血管機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：血管機能における完全な問題がある
b420	血圧の機能		*高血圧、低血圧、血圧の変動などの血圧機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。
		0	機能障害なし：血圧機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：血圧機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える血圧機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：血圧機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：血圧機能における完全な問題がある
b430	血液系の機能		*貧血、凝固障害、白血球異常などの血液系機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。
		0	機能障害なし：血液系機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：血液系機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える血液系機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：血液系機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：血液系機能における完全な問題がある
b435	免疫系の機能		*免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患などの免疫系機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。
		0	機能障害なし：免疫系機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：免疫系機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える免疫系機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：免疫系機能において、重大な問題（50%以上）がある

		4	完全な機能障害：免疫系機能における完全な問題がある
b440	呼吸機能		*呼吸苦、呼吸数の異常などの呼吸機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：呼吸機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：呼吸機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える呼吸機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：呼吸機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：呼吸機能における完全な問題がある
b445	呼吸筋の機能		*横隔膜や肋間筋などの呼吸筋の筋力低下、麻痺、協調不全などの問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：呼吸筋機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：呼吸筋機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える呼吸筋機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：呼吸筋機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：呼吸筋機能における完全な問題がある
b450	その他の呼吸機能		*咳、くしゃみ、あくびなどの付随的な呼吸機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：その他の呼吸機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：その他の呼吸機能における完全な問題がある
b455	運動耐容能		*呼吸機能や心機能の低下、易疲労性の増大といった、運動耐容能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：運動耐容能における問題がない
		1	軽度の機能障害：運動耐容能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える運動耐容能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：運動耐容能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：運動耐容能における完全な問題がある
b460	心血管系と呼吸器系に関連した感覚		*動悸の増加、息切れの悪化、胸痛の出現などの心血管系と呼吸器系に関連した感覚における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：関連感覚における問題がない
		1	軽度の機能障害：感覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える感覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：感覚において、重大な問題（50%以上）がある

		4	完全な機能障害：関連感覚における完全な問題がある
b510	摂食機能		*咀嚼機能の低下、嚥下機能の低下など、摂食機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：摂食機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：摂食機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える摂食機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：摂食機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：摂食機能における完全な問題がある
b515	消化機能		*消化酵素の分泌低下、栄養の吸収障害などの消化機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：消化機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：消化機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える消化機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：消化機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：消化機能における完全な問題がある
b520	同化機能		*サルコペニアなどの同化機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：同化機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：同化機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える同化機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：同化機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：同化機能における完全な問題がある
b525	排便機能		*便秘、下痢、便失禁などの排便機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：排便機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：排便機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える排便機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：排便機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：排便機能における完全な問題がある
b530	体重維持機能		*体重の異常な増減、肥満や痩せの進行などの体重維持機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：体重維持機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：体重維持機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える体重維持機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：体重維持機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：体重維持機能における完全な問題がある

b535	消化器系に関連した感覚	*悪心、膨満感などの消化器系に関連した感覚における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0 機能障害なし：関連感覚における問題がない
		1 軽度の機能障害：感覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える感覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3 重度の機能障害：感覚において、重大な問題（50%以上）がある
b540	全般的代謝機能	*糖代謝障害、脂質代謝異常などの全般的代謝機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0 機能障害なし：全般的代謝機能における問題がない
		1 軽度の機能障害：全般的代謝機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える全般的代謝機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3 重度の機能障害：全般的代謝機能において、重大な問題（50%以上）がある
b545	水分・ミネラル・電解質バランスの機能	*脱水や浮腫の出現、電解質異常などの水分・ミネラル・電解質バランスの機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0 機能障害なし：水分・ミネラル・電解質バランスの機能における問題がない
		1 軽度の機能障害：水分・ミネラル・電解質バランスの機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える水分・ミネラル・電解質バランスの機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3 重度の機能障害：水分・ミネラル・電解質バランスの機能において、重大な問題（50%以上）がある
b550	体温調節機能	*高熱や低体温、体温変動の増大などの体温調節機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0 機能障害なし：体温調節機能における問題がない
		1 軽度の機能障害：体温調節機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える体温調節機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3 重度の機能障害：体温調節機能において、重大な問題（50%以上）がある
b555	内分泌腺機能	*ホルモン分泌の過剰や不足、内分泌器官の機能不全などの内分泌腺機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0 機能障害なし：内分泌腺機能における問題がない
		1 軽度の機能障害：内分泌腺機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2 中等度の機能障害：1 の範囲を超える内分泌腺機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3 重度の機能障害：内分泌腺機能において、重大な問題（50%以上）がある

		4	完全な機能障害：内分泌腺機能における完全な問題がある
b610	尿排泄機能		*尿量の異常、尿濃縮・希釈障害などの尿排泄機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：尿排泄機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：尿排泄機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える尿排泄機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：尿排泄機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：尿排泄機能における完全な問題がある
b620	排尿機能		*排尿困難や失禁といった、排尿機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：排尿機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える排尿機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：排尿機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：排尿機能における完全な問題がある
b630	排尿機能に関連した感覚		*尿意の消失、残尿感の増加、排尿時痛の出現などの排尿機能に関連した感覚における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：排尿機能に関連した感覚における問題がない
		1	軽度の機能障害：排尿機能に関連した感覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える排尿機能に関連した感覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：排尿機能に関連した感覚において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：排尿機能に関連した感覚における完全な問題がある
b640	性機能		*精神的、身体的な性機能障害といった、性機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：性機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：性機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える性機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：性機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：性機能における完全な問題がある
b650	月経の機能		*月経不順、無月経などの月経機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：月経の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：月経の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える月経の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：月経の機能において、重大な問題（50%以上）がある

		4	完全な機能障害：月経の機能における完全な問題がある
b660	生殖の機能		*不妊、妊娠維持困難などの生殖機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：生殖の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：生殖の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える生殖の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：生殖の機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：生殖の機能における完全な問題がある
b670	性と生殖の機能に関連した感覚		*性交痛などの性と生殖の機能に関連した感覚における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：性と生殖の機能に関連した感覚における問題がない
		1	軽度の機能障害：性と生殖の機能に関連した感覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える性と生殖の機能に関連した感覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：性と生殖の機能に関連した感覚において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：性と生殖の機能に関連した感覚における完全な問題がある
b710	関節の可動性の機能		*関節拘縮や疼痛による可動域制限といった、関節の可動性の機能における問題の程度と問題のある関節の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：関節の可動性の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：関節の可動性の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える関節の可動性の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：関節の可動性の機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：関節の可動性の機能における完全な問題がある
b715	関節の安定性の機能		*関節の不安定性、関節のゆるみなどの関節の安定性の機能における問題の程度と問題のある関節の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：関節の安定性の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：関節の安定性の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える関節の安定性の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：関節の安定性の機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：関節の安定性の機能における完全な問題がある
b720	骨の可動性の機能		*骨の可動性の制限、骨の癒合不全の発生、骨の変形の進行などの骨の可動性の機能における問題の程度と問題のある部位の割合を考慮に入れて採点する

		0	機能障害なし：骨の可動性の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：骨の可動性の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える骨の可動性の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：骨の可動性の機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：骨の可動性における完全な問題がある
b730	筋力の機能		*筋力の機能における問題の程度と問題のある関節の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：筋力の機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：筋力の機能において問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える筋力の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：筋力の機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：筋力における完全な問題がある
b735	筋緊張の機能		*筋緊張の亢進（痙縮）、筋緊張の低下（弛緩）などの筋緊張の機能における問題の程度と問題のある関節の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：筋緊張の機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：筋緊張の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える筋緊張の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：筋緊張の機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：筋緊張における完全な問題がある
b740	筋の持久性機能		*筋疲労の増大、筋持久力の低下、特定の筋群の早期疲労の出現などの筋の持久性機能における問題の程度と問題のある関節の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：筋の持久性機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：筋の持久性機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える筋の持久性機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：筋の持久性機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：筋の持久性における完全な問題がある
b750	運動反射機能		*伸張反射の亢進または低下、病的反射の出現、姿勢反射の減弱などの運動反射機能における問題の程度と問題のある関節の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：運動反射機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：運動反射機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える運動反射機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：運動反射機能において、重大な問題（50%以上）がある

		4	完全な機能障害：運動反射機能における完全な問題がある
b755	不随意運動反応機能		*姿勢保持反応の低下、バランス反応の遅延、防御反応の減弱などの不随意運動反応機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：不随意運動反応機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：不随意運動反応機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1の範囲を超える不随意運動反応機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：不随意運動反応機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：不随意運動反応機能における完全な問題がある
b760	随意運動の制御機能		*運動協調性の低下、運動の正確性の障害、運動のタイミングの乱れなどの随意運動の制御機能における問題の程度と問題のある関節の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：随意運動の制御機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：随意運動の制御機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1の範囲を超える随意運動の制御機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：随意運動の制御機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：随意運動の制御機能における完全な問題がある
b761	自発的運動機能		*運動の頻度・流暢性・複雑性などの自発的運動における問題の程度と、問題がみられる部位・範囲を考慮して採点する
		0	機能障害なし：自発的運動機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：自発的運動機能に問題があるが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1の範囲を超える自発的運動機能の問題があるが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：自発的運動機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：自発的運動機能における完全な問題がある
b765	不随意運動機能		*振戦の出現、チック症状の増加、アテトーゼ運動の悪化などの不随意運動機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：不随意運動機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：不随意運動機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1の範囲を超える不随意運動機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：不随意運動機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：不随意運動機能における完全な問題がある
b770	歩行パターン機能		*歩行の非対称性の増加、歩行リズムの乱れ、歩幅の異常な変化などの歩行パターン機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：歩行パターン機能において問題がない

		1	軽度の機能障害：歩行パターン機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える歩行パターン機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：歩行パターン機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：歩行パターン機能における完全な問題がある
b780	筋と運動機能に関連した感覚		*筋疲労感、筋痛、関節位置感覚の低下などの筋と運動機能に関連した感覚における問題の程度と問題のある関節の割合を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：筋と運動機能に関連した感覚において問題がない
		1	軽度の機能障害：筋と運動機能に関連した感覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える筋と運動機能に関連した感覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：筋と運動機能に関連した感覚において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：筋と運動機能に関連した感覚における完全な問題がある
b810	皮膚の保護機能		*皮膚の脆弱性、創傷治癒の遅延、皮膚バリア機能の低下などの皮膚の保護機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：皮膚の保護機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：皮膚の保護機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える皮膚の保護機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：皮膚の保護機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：皮膚の保護機能における完全な問題がある
b820	皮膚の修復機能		*創傷治癒の遅延、瘢痕形成の異常、ケロイドの形成などの皮膚の修復機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：皮膚の修復機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：皮膚の修復機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える皮膚の修復機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：皮膚の修復機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：皮膚の修復機能における完全な問題がある
b830	その他の皮膚の機能		*発汗機能の低下、皮脂分泌の異常などのその他の皮膚の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：その他の皮膚機能において問題がない
		1	軽度の機能障害：その他の皮膚機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超えるその他の皮膚機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：その他の皮膚機能において、重大な問題（50%以上）がある

		4	完全な機能障害：その他の皮膚機能における完全な問題がある
b840	皮膚に関連した感覚		*かゆみ、皮膚の知覚過敏、触覚異常などの皮膚に関連した感覚における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：皮膚感覚における問題がない
		1	軽度の機能障害：感覚における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える感覚の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：感覚において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：皮膚感覚における完全な問題がある
b850	毛の機能		*脱毛の進行、体毛の異常な増加などの毛の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：毛の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：毛の機能における完全な問題がある
b860	爪の機能		*爪の変形、爪の脆弱化などの爪の機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する
		0	機能障害なし：爪の機能における問題がない
		1	軽度の機能障害：機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である
		2	中等度の機能障害：1 の範囲を超える機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる
		3	重度の機能障害：機能において、重大な問題（50%以上）がある
		4	完全な機能障害：爪の機能における完全な問題がある
d110	注意して視ること	0	問題なく自分で注意して視る（子供が遊ぶのを注視したり、目視確認作業を行ったりするなど）
		1	自分で注意して視るが、時々集中が途切れやすいことなど何らかの困難がある
		2	注意して視ることにおいていくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる
		3	注意して視ることにおいてかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる
		4	注意して視ることが全くできない
d115	注意して聞くこと	0	問題なく自分で注意して聞く（騒がしい場所で会話に集中する、ラジオを注意して聞くなど）
		1	自分で注意して聞くことができるが、時々集中が途切れやすいことなど何らかの困難がある
		2	注意して聞くことにおいていくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる

		3	注意して聞くことにおいてかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる
		4	注意して聞くことが全くできない
d120	その他の目的のある感覚	0	問題なく自分でその他の目的のある感覚（匂いを嗅いだり、食事を味わったり、質感を感じたりすることなど）を使う
		1	自分でその他の目的のある感覚を通常の範囲で使うが、何らかの困難がある
		2	その他の目的のある感覚の使用においていくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる
		3	その他の目的のある感覚の使用においてかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる
		4	その他の目的のある感覚を全く使用できない
d130	模倣	0	問題なく模倣（ジェスチャーや音、言葉を真似ることなど）による学習を自分で行う
		1	模倣による学習を自分で行うが、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	模倣による学習でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（複雑な作業、身体動作の模倣などの複雑な模倣に問題があることなどを含む）
		3	模倣による学習でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（単純な動作の模倣などの単純な模倣にも問題があることなどを含む）、もしくは支援が必要
		4	模倣による学習が全く行えていない
d131	物体を伴う行動を通じた学習	0	問題なく物体を伴う行動を通じた学習（人形や車の玩具で学習することなど）を自分で行う
		1	物体を伴う行動を通じた学習を自分で行うが、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	物体を伴う行動を通じた学習でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（ロールプレイやごっこ遊びなどの物体を伴う複雑な行動を通じた学習に問題があることなどを含む）
		3	物体を伴う行動を通じた学習でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（物体の把握、移動などの物体を伴う単純な行動を通じた学習に問題があることなどを含む）
		4	物体を伴う行動を通じた学習が全く行えていない
d132	言語の習得	0	問題なく言語の習得を自分で行う
		1	言語の習得を自分で行うが、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	言語の習得でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（複雑な文法や構文などの複雑な言語要素の習得に問題があることなどを含む）
		3	言語の習得でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（単語や基本的な文法などの単純な言語要素の習得に問題があることなどを含む）
		4	言語の習得が全く行えていない

d133	付加的言語の習得	0	問題なく付加的言語の習得を自分で行う
		1	付加的言語の習得を自分で行うが、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	付加的言語の習得でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（複雑な文法や構文など付加的言語の複雑な言語要素の習得に問題があることなどを含む）
		3	付加的言語の習得でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（単語や基本的な文法など付加的言語の単純な言語要素の習得にも問題があることなどを含む）
		4	付加的言語の習得が全く行えていない
d135	反復	0	問題なく反復による学習（教育において音読や数唱を繰り返し実施することなど）を自分で行っている
		1	反復による学習を自分で行うが、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	反復による学習でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（複数工程からなる作業などの複雑な内容の反復による学習に問題があることなどを含む）
		3	反復による学習でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（単語の音読などの単純な内容の反復による学習に問題があることなどを含む）
		4	反復による練習などが全く行えていない
d137	概念の習得	0	問題なく概念（大小、長短などの基本的概念や因果関係などの複雑な概念）の習得を自分で行っている
		1	概念の習得を自分で行うが、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	概念の習得でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（因果関係などの複雑な概念の習得に問題があることなどを含む）
		3	概念の習得でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（大小、長短などの単純な概念の習得にも問題があることなどを含む）
		4	概念の習得が全く行えていない
d138	情報の獲得	0	問題なく情報の獲得（質問によって必要な情報を得る、インターネットなどで情報を探すなど）を自分で行っている
		1	情報の獲得を自分で行うが、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	情報の獲得でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（関連情報から推測して情報を獲得することに問題があることなどを含む）
		3	情報の獲得でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（単純な質問で得られる情報の獲得にも問題があることなどを含む）
		4	情報の獲得が全く行えていない
d140	読むことの学習	0	問題なく自分で読むこと（文字を読んだり、文章を読んだりすることなど）の学習を行っている
		1	読むことの学習を自分で行うが、促しや準備が必要、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	読むことの学習でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは学習が一部（50%未満）において不十分となる（複雑な文字を読む、長文を読むことなどの複雑な内容で問題があることなどを含む）

		3	読むことの学習でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは学習が大部分（50%以上）において不十分となる（単純な文字や単語を読むことなど単純な内容に問題があることなどを含む）
		4	読むことの学習が全く行えていない
d145	書くことの学習	0	問題なく書くことの学習（文字を覚えたり、文章を書いたりすることなど）を自分でやっている
		1	書くことの学習を自分で行うが、促しや準備が必要、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	書くことの学習が一部（50%未満）でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは学習が一部（50%未満）において不十分となる（複雑な文字を書く、長い文章を書くといった複雑な内容に問題があることなどを含む）
		3	書くことの学習でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは学習が大部分（50%以上）において不十分となる（単純な文字や単語を書くといった単純な内容に問題があることなどを含む）、もしくは特別な支援を要する
		4	書くことの学習が全く行えていない
d150	計算の学習	0	問題なく計算の学習を自分でやっている
		1	計算の学習を自分で行うが、促しや準備が必要、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	計算の学習が一部（50%未満）でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは学習が一部（50%未満）において不十分となる（二桁以上の四則演算などの複雑な計算に問題があることなどを含む）
		3	計算の学習が大部分（50%以上）でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは学習が大部分（50%以上）において不十分となる（単純な一桁の四則演算など単純な計算の学習に問題があることなどを含む）
		4	計算の学習が全く行えていない
d155	技能の習得	0	問題なく技能（道具の使用やスポーツなど）の習得を行っている
		1	技能の習得を行うが、促しや準備が必要、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	技能の習得が一部（50%未満）でいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは学習が一部（50%未満）において不十分となる（複数のパーツを使った組み立て作業や工具を使用した建築作業などの複雑な技能の習得に問題があることなどを含む）
		3	技能の習得でかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは学習が大部分（50%以上）において不十分となる（鉛筆やカトラリーの使用などの単純な技能の習得に問題があることなどを含む）
		4	技能の習得が全く行えていない
d160	注意を集中すること	0	問題なく自分で注意を集中する
		1	自分で注意を集中するが、集中が途切れやすいなど何らかの困難がある
		2	注意を集中することはいくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（支援員による声掛けを時折要することなどを含む）
		3	注意を集中することにかかなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（支援員による声掛けを頻繁に要することなどを含む）
		4	注意を集中することが全く行えていない

d163	思考	0	問題なく自分で思考する
		1	自分で思考するが、通常よりも時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	思考することにより、いくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（思考の整理に時折支援者による誘導を要することなどを含む）
		3	思考することにより、かなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（誘導がなければ思考を続けられないことなどを含む）
		4	思考が全く行えていない
d166	読むこと	0	問題なく自分で読むことを行っている
		1	自分で読むことを行うが、理解に時間がかかるなど何らかの困難がある、もしくは道具（拡大鏡等）を使用する
		2	読むことにより、いくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（支援者による解説や音読等を時折要することなどを含む）
		3	読むことにより、かなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（支援者による解説や音読等を頻繁に要することなどを含む）
		4	読むことが全く行えていない
d170	書くこと	0	問題なく自分で書くことを行っている
		1	自分で書くことを行うが、スムーズさに欠ける、時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	書くことにより、いくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（支援者による修正を時折要することなどを含む）
		3	書くことにより、かなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（支援者による修正を頻繁に要することなどを含む）
		4	書くことが全く行えていない
d172	計算	0	問題なく自分で計算を行っている
		1	自分で計算を行うが、時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	計算により、いくらか直接的なサポート（50%未満）を要する、もしくは一部（50%未満）において不十分となる（支援者による誘導を時折要することなどを含む）
		3	計算により、かなりの直接的なサポート（50%以上）を要するもしくは大部分（50%以上）において不十分となる（支援者による誘導を頻繁に要することなどを含む）
		4	計算が全く行えていない
d175	問題解決	0	問題なく自分で問題解決を行っている
		1	問題解決を自分で行っているが、アドバイスや励ましなどの間接的なサポートを要する、もしくは解決方法が限定されるなど何らかの困難、制限がある
		2	問題解決において、一部（50%未満）を直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは一部を行えていない（支援者による誘導を時折要することなどを含む）

		3	問題解決において、大部分（50%以上）を直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは大部分を行えていない（支援者による誘導を頻繁に要することなどを含む）
		4	問題解決が全く行えていない、もしくは問題解決を他者に完全に依存する
d177	意思決定	0	問題なく自分で意思決定を行っている
		1	自分で意思決定ができるが、決断に時間がかかるなど軽度の困難がある
		2	意思決定において、一部（50%未満）を直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは一部を行えていない（支援者による誘導を時折要することなどを含む）
		3	意思決定において、大部分（50%以上）を直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは大部分を行えていない（支援者による誘導を頻繁に要することなどを含む）
		4	意思決定が全く行えていない、もしくは意思決定を他者に完全に依存する
d210	単一課題の遂行	0	単一課題の遂行を問題なく自分でやっている
		1	単一課題の遂行を自分でやっているが、時間がかかるなど軽度の困難がある
		2	単一課題の遂行の一部（50%未満）を直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは一部を行えていない
		3	単一課題の遂行の大部分（50%以上）を直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは大部分を行えていない
		4	単一課題を全く遂行できない、もしくは完全に他者のサポートに依存している
d220	複数課題の遂行	0	複数課題の遂行を問題なく自分でやっている
		1	複数課題の遂行を自分でやっているが、優先順位付けに苦労するなど軽度の困難がある
		2	複数課題の遂行を一部（50%未満）直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは一部を行えていない
		3	複数課題の遂行を大部分（50%以上）直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは大部分を行えていない
		4	複数課題の遂行が全くできない、もしくは完全に他者のサポートに依存している
d230	日課の遂行	0	日課の遂行を問題なく自分でやっている
		1	日課の遂行を自分でやっているが、アドバイスや励ましなどの間接的なサポートを要する、もしくは計画性に乏しい、活動の計画に消極的であるなど何らかの困難がある
		2	日課の遂行を一部（50%未満）直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは一部を行えていない
		3	日課の遂行を大部分（50%以上）直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは大部分を行えていない
		4	日課の遂行が全くできない、もしくは完全に他者のサポートに依存している
d240	ストレスとその他の心理的要求への対処	0	ストレス及びその他の心理的要求への対処を問題なく自分でやっている
		1	ストレス及びその他の心理的要求への対処を自分でやっているが、対処に他者によるアドバイスや励ましを要するなど何らかの困難がある
		2	ストレス及びその他の心理的要求への対処を一部（50%未満）直接的な他者のサポート下（支援者の声掛け、寄り添い等）で行っている、もしくは一部を行えていない

d310	話し言葉の理解	3	ストレス及びその他の心理的要求への対処を大部分（50%以上）直接的な他者のサポート下（支援者の声掛け、寄り添い等）で行っている、もしくは大部分を行えていない
		4	ストレス及びその他の心理的要求への対処を完全に直接的な他者のサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
		0	問題なく話し言葉を理解できている
		1	話し言葉の理解に制限があるが、自分でサポート（言い換えなど）を依頼することで解決できる もしくは補助具を利用している
		2	話し言葉の理解に制限があり、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（ジェスチャーや言い換えなど）が必要である
d315	非言語的メッセージの理解	3	話し言葉の理解に制限があり、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（ジェスチャーや言い換えなど）が必要である
		4	話し言葉が全く理解できていない
		0	問題なく非言語的メッセージ（身振り、表情など）を理解できている
		1	非言語的メッセージの理解に制限があるが、自分で質問することなどで解決できる
		2	非言語的メッセージの理解に制限があり、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（言語での説明など）が必要である
d320	公式手話によるメッセージの理解	3	非言語的メッセージの理解に制限があり、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（言語での説明など）が必要である
		4	非言語的メッセージを全く理解できていない
		0	問題なく公式手話によるメッセージを理解できている
		1	公式手話によるメッセージの理解に制限があるが、自分でサポート（繰り返し、書字での対応など）を依頼することで解決できる
		2	公式手話によるメッセージの理解に制限があり、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（繰り返し、書字での対応など）が必要である
d325	書き言葉によるメッセージの理解	3	公式手話によるメッセージの理解に制限があり、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（繰り返し、書字での対応など）が必要である
		4	公式手話によるメッセージを全く理解できていない
		0	問題なく書き言葉によるメッセージを理解できている
		1	書き言葉によるメッセージの理解に制限があるが、自分で調べたり質問することなどで解決できる
		2	書き言葉によるメッセージの理解に制限があり、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（平易な言葉を使うなど）が必要である

		3	書き言葉によるメッセージの理解に制限があり、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（平易な言葉を使うなど）が必要である
		4	書き言葉によるメッセージを全く理解できていない
d330	話すこと	0	問題なく話すことができている
		1	自分で話す、時間がかかったり軽度の吃音があるなど何らかの困難がある
		2	話すことに制限があり、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（聞き返し、推測など）が必要である
		3	話すことに制限があり、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（聞き返し、推測など）が必要である
		4	話すことが全くできていない
d331	非言語的な音声表現	0	問題なく非言語的な音声表現（笑い声、泣き声など）ができている
		1	非言語的な音声表現が自分で行っているが、表現にやや不自然さがあるなど何らかの困難がある
		2	非言語的な音声表現を行っているが、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（推測など）が必要である
		3	非言語的な音声表現を行っているが、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（推測など）が必要である
		4	非言語的な音声表現が全くできていない
d332	歌うこと	0	問題なく歌うことができている
		1	自分で歌うが、声量が極端に小さいなど何らかの困難がある
		2	歌うことに一部（50%未満）制限（音域や時間が限られるなど）がある
		3	歌うことに大部分（50%以上）制限（音域や時間が限られるなど）がある
		4	歌うことが全くできていない
d335	非言語的メッセージの表出	0	問題なく非言語的メッセージの表出（身振り、表情等）ができている
		1	非言語的メッセージの表出を自分で行っているが、表現にやや不自然さがあるなど何らかの困難がある
		2	非言語的メッセージの表出を行っているが、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（推測など）が必要である
		3	非言語的メッセージの表出を行っているが、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（推測など）が必要である
		4	非言語的メッセージの表出が全くできていない
d340	公式手話によるメッセージの表出	0	問題なく公式手話によるメッセージの表出ができている
		1	公式手話によるメッセージの表出が自分で行っているが、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	公式手話によるメッセージの表出を行っているが、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（推測など）が必要である
		3	公式手話によるメッセージの表出を行っているが、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（推測など）が必要である
		4	公式手話によるメッセージの表出が全くできていない

d345	書き言葉によるメッセージの表出	0	問題なく書き言葉によるメッセージの表出ができています
		1	書き言葉によるメッセージの表出が自分でできるが、通常より時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	書き言葉によるメッセージの表出を行っているが、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（推測など）が必要である
		3	書き言葉によるメッセージの表出を行っているが、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（推測など）が必要である
d350	会話	0	問題なく会話を行っている
		1	会話をサポートなく行っているが、軽微な問題（内容の不適切さ、語彙の不足など）が存在する
		2	会話を行っているが、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（要約、推測、補足など）が必要である
		3	会話を行っているが、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（要約、推測、補足など）が必要である
d355	ディスカッション	0	問題なくディスカッションを行っている
		1	ディスカッションをサポートなく行っているが、軽微な問題（議論のずれ、語彙の不足など）が存在する
		2	ディスカッションを行っているが、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（要約、推測、補足など）が必要である
		3	ディスカッションを行っているが、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（要約、推測、補足など）が必要である
d360	コミュニケーション用具および技法の利用	0	問題なくコミュニケーション用具および技法（電話や筆談用具など）を利用している
		1	コミュニケーション用具および技法の利用を自分で行っているが、時間がかかるなど何らかの困難がある
		2	コミュニケーション用具および技法の利用を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下（操作の手伝いなど）で行っている
		3	コミュニケーション用具および技法の利用を、大部分（50%以上）サポート下（操作の手伝いなど）で行っている
d410	基本的な姿勢の変換	0	姿勢の変換（立つ、座るなど）を問題なく自分で行っている
		1	姿勢の変換を自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、あるいは装具や杖、手すりを使用する
		2	姿勢の変換を一部（50%未満）サポート下（見守りを含む）で行っている、もしくは実施範囲に一部（50%未満）制限がある

		3	姿勢の変換を大部分（50%以上）サポート下で行っている、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	姿勢の変換を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d415	姿勢の保持	0	姿勢の保持（立つ、座るなど）を問題なく自分で行っている
		1	姿勢の保持を自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、あるいは装具や杖、手すりを使用する
		2	姿勢の保持を一部（50%未満）サポート下（見守りを含む）で行っている、もしくは実施範囲に一部（50%未満）制限がある
		3	姿勢の保持を大部分（50%以上）サポート下で行っている、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	姿勢の保持を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d420	乗り移り（移乗）	0	移乗（座位や臥位での移乗など）を問題なく自分で行っている
		1	移乗を自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、あるいは自分で行っているが装具や杖、手すりを使用する
		2	移乗を一部もしくは全部で他者の見守り下もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	移乗を大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	移乗を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d430	持ち上げることと運ぶこと	0	持ち上げることと運ぶこと（持ち上げ、手や腕、肩で運ぶことなど）を問題なく自分で行っている
		1	持ち上げることと運ぶことを自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、もしくは自分で行っているが装具や杖、手すりを使用する
		2	持ち上げることと運ぶことを一部もしくは全部で他者の見守り下もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている、あるいは実施範囲に一部（50%未満）制限がある
		3	持ち上げることと運ぶことを大部分（50%以上）サポート下で行っている、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	持ち上げることと運ぶことを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d435	下肢を使って物を動かすこと	0	下肢を使って物を動かすこと（足で押す、蹴ることなど）を問題なく自分で行っている
		1	下肢を使って物を動かすことを一部もしくは全部で自分で行っているが困難を伴う、あるいは自分で行っているが装具等を使用する
		2	下肢を使って物を動かすことを一部もしくは全部で他者の見守り下もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている、あるいは実施範囲に一部（50%未満）制限がある
		3	下肢を使って物を動かすことを大部分（50%以上）サポート下で行っている、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	下肢を使って物を動かすことを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d440	細かな手の使用	0	細かな手の使用（つまむ、つかむ、操作することなど）を問題なく自分で行っている

		1	細かな手の使用を自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、あるいは自分で行っているが装具や自助具等を使用する
		2	細かな手の使用を一部もしくは全部で他者の見守り下もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている、あるいは実施範囲に一部（50%未満）制限がある
		3	細かな手の使用を大部分（50%以上）サポート下で行っている、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	細かな手の使用を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d445	手と腕の使用	0	手と腕の使用（リーチ動作、押す、引く等の動作）を問題なく自分で行っている
		1	手と腕の使用を自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、あるいは自分で行っているが装具や自助具等を使用する
		2	手と腕の使用を一部もしくは全部で他者の見守り下もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている、あるいは実施範囲に一部（50%未満）制限がある
		3	手と腕の使用を大部分（50%以上）サポート下で行っている、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	手と腕の使用を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d446	細かな足の使用	0	細かな足の使用を問題なく自分で行っている
		1	細かな足の使用を自分で行っているが困難を伴う、もしくは自分で行っているが装具や自助具等を使用する
		2	細かな足の使用において、実施範囲に一部（50%未満）制限がある
		3	細かな足の使用において、実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	細かな足の使用を全く行えていない
d450	歩行	0	歩行（短距離、長距離、悪路での歩行などを含む）を問題なく自分で行っている
		1	歩行を自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、あるいは自分で行っているが装具や杖、手すりを使用する
		2	歩行の一部もしくは全部を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	歩行を大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	歩行を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d451	階段の上り下り	0	階段の上り下りを問題なく自分で行っている
		1	階段の上り下りを自分で行っているが困難を伴う/自分で行っているが装具や杖、手すりを使用する
		2	階段の上り下りを他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	階段の上り下りを大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	歩行を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d455	移動	0	問題なく自分で移動（這う、走る、泳ぐなどを含む：歩行、階段昇降、用具を用いた移動を除く）ができる
		1	移動を自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、もしくは装具や杖、手すりを使用する

		2	一部もしくは全部の移動を他者の見守り下あるいは一部（50%未満）サポート下で行っている、もしくは実施範囲に一部（50%未満）制限がある
		3	移動を大部分（50%以上）をサポート下で行っている、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	完全なサポート下で移動を行っている、もしくは全く自分では行えていない
d460	さまざまな場所での移動	0	問題なくさまざまな場所での移動（屋内や屋外での移動を含む）ができる
		1	さまざまな場所での移動を自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、あるいは装具や杖、手すり、歩行器、車椅子などを使用する
		2	さまざまな場所での移動を一部もしくは全部で他者の見守り下もしくは一部（50%未満）をサポート下で行っている、もしくは実施範囲に一部（50%未満）制限がある
		3	さまざまな場所での移動を大部分（50%以上）をサポート下で行っている、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	完全なサポート下でさまざまな場所での移動を行っている、もしくは全く自分では行えていない
d465	用具を用いての移動	0	用具を用いての移動（車椅子や歩行器など）を問題なく自分で行っている
		1	用具を用いての移動を自分で行っているが困難を伴う、あるいは自分で行っているが改造や動力が必要
		2	用具を用いての移動を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	用具を用いての移動を大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	用具を用いての移動を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d470	交通機関や手段の利用	0	問題なく交通機関や手段（バス、電車、タクシーなど）を利用できる
		1	交通機関・交通手段の利用を自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、あるいは装具や杖、手すりを使用する、もしくはエレベーターの使用が必須
		2	交通機関・交通手段の利用を一部もしくは全部で他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている、あるいは実施範囲に一部（50%未満）制限がある
		3	大部分（50%以上）をサポート下で交通機関や手段を利用している、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限がある
		4	完全なサポート下で交通機関や手段を利用している、もしくは全く自分では利用できていない
d475	運転や操作	0	問題なく運転や操作（自転車、自動車など）ができる
		1	運転や操作ができるが一部もしくは全部で困難を伴う、もしくは自分でできるが改造や道具が必要
		2	運転や操作を一部もしくは全部で他者の見守り下で行っている、もしくは運転や操作の実施範囲に一部（50%未満）制限（短距離のみ実施するなど）がある
		3	運転や操作の実施範囲に大部分（50%以上）制限（自宅敷地内のみで実施するなど）がある
		4	運転や操作を全く行えていない

d480	交通手段として動物に乗ること	0	交通手段として動物に乗ることが問題なくできる
		1	交通手段として動物に乗ることが自分でできるが困難を伴う、もしくは自分でできるが特殊な道具等が必要
		2	他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）のサポート下で交通手段として動物に乗ることを行っている、あるいは運転や操作の実施範囲に一部（50%未満）制限（短距離のみ実施するなど）がある
		3	大部分（50%以上）をサポート下で交通手段として動物に乗ることを行っている、もしくは実施範囲に大部分（50%以上）制限（自宅敷地内のみで実施するなど）がある
		4	完全なサポート下で運転や操作を行っている、もしくは全く自分では行えていない
d510	自分の身体を洗うこと	0	自分の身体を洗うことを問題なく自分で行っている
		1	自分の身体を洗うことを自分で行っているが困難を伴う、もしくは自分で行っているが装具や自助具、手すりを使用する
		2	自分の身体を洗うことを他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	自分の身体を洗うことを大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	自分の身体を洗うことを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d520	身体各部の手入れ	0	身体各部の手入れを問題なく自分で行っている
		1	身体各部の手入れを自分で行っているが困難を伴う、もしくは自分で行っているが自助具を使用する
		2	身体各部の手入れを他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	身体各部の手入れを大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	身体各部の手入れを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d530	排泄	0	排泄を問題なく自分で行っている
		1	排泄を自分で行っているが困難を伴う、もしくは自分で行っているが装具や自助具、手すりを使用する
		2	排泄を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	排泄を大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	排泄を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d540	更衣	0	更衣を問題なく自分で行っている
		1	更衣を自分で行っているが困難を伴う、もしくは自分で行っているが装具や自助具を使用する、あるいは着用可能な衣服に制限がある
		2	更衣を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	更衣を大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	更衣を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d550	食べること	0	食べることを問題なく自分で行っている

		1	食べることを自分で行っているが困難を伴う、もしくは自分で行っているが自助具を使用する、あるいは摂食可能な食形態や使用可能な食器に制限がある
		2	食べることを他者の見守り下、一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	食べることを大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	食べることを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d560	飲むこと	0	問題なく飲むことができる
		1	飲むことを自分で行っているが困難を伴う、もしくは自分で行っているが自助具を使用する、あるいは飲用可能な形態や使用可能な飲用器に制限がある
		2	飲むことを他者の見守り下、一部（50%未満）サポート下で行っている
		3	飲むことを大部分（50%以上）サポート下で行っている
		4	飲むことを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d570	健康に注意すること	0	心身の健康を維持するための自己管理を問題なく自分で行っている
		1	心身の健康を維持するための自己管理を行っているが困難を伴う、もしくは他者によるアドバイスや励まし、道具（仕切られた菜箱やタイマーなど）を必要とすることがある。
		2	心身の健康を維持するための自己管理を一部（50%未満）他者の直接的なサポート下で行っている、もしくは一部（50%未満）管理できていない
		3	心身の健康を維持するための自己管理を大部分（50%以上）他者の直接的なサポート下で行っている、もしくは大部分（50%以上）管理できていない
		4	心身の健康を維持するための自己管理を完全に他者の直接的なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d610	住居の入手	0	住居の入手（住居を借りる、購入することなど）を問題なく自分で行う
		1	住居の入手を自分で行うが困難を伴う、もしくは道具（筆談用具等）の使用を要している
		2	住居入手の一部（50%未満）に他者のサポートや代行を要している
		3	住居入手の大部分（50%以上）に他者のサポートや代行を要している
		4	住居の入手を全く自分では行えていない
d620	物品とサービスの入手	0	問題なく自分で物品とサービスの入手（買い物など）ができる
		1	物品とサービスの入手を自分で行っているが困難を伴う/装具や自助具等の使用を要している/宅配等のサービスを利用する
		2	物品とサービスの入手の一部（50%未満）に他者のサポートや代行を要している
		3	物品とサービスの入手の大部分（50%以上）に他者のサポートや代行を要している
		4	物品とサービスの入手を全く自分では行えていない
d630	調理	0	調理を問題なく自分で行っている
		1	調理を自分で行っているが、何らかの困難がある、もしくは自分で行っているが、補助具・自助具等を使用する
		2	調理において一部に（50%未満）他者のサポートや代行、実施範囲の制限を要している

		3	調理において大部分に（50%以上）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d640	調理以外の家事	0	調理以外の家事（掃除、洗濯、ゴミ捨てなど）を支援機器や他者のサポートなしに自分で行っている
		1	調理以外の家事を自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、もしくは装具や自助具の使用を要している
		2	調理以外の家事において一部に（50%未満）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		3	調理以外の家事において大部分に（50%以上）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	調理以外の家事を全く自分で行えていない
d650	家庭用品の管理	0	家庭用品の管理（家具や車の手入れ、動物の世話など）を支援機器や他者のサポートなしに自分で行っている
		1	家庭用品の管理を自分で行っているが一部もしくは全部で困難を伴う、もしくは装具や自助具等の使用を要している
		2	家庭用品の管理の一部（50%未満）に他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		3	家庭用品の管理の大部分（50%以上）に他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	家庭用品の管理を全く自分では行えていない
d660	他者への援助	0	育児、介護等他者への援助を範囲の制限や困難を伴うことなく施行している
		1	育児、介護等他者への援助を自分で行っており実施可能な範囲に制限がないが、一部もしくは全部でなんらかの困難を伴っている
		2	育児、介護等他者への援助を自分で行っているが、一部（50%未満）に他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		3	育児、介護等他者への援助を自分で行っているが、大部分（50%以上）に他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	育児、介護等他者への援助が実施できていない
d710	基本的な対人関係	0	基本的な対人関係の維持・調整（相手への配慮、意見の調整など）を問題なく行っている
		1	基本的な対人関係の維持・調整を自分で行っているが、やりとりに時間がかかったり、コミュニケーション用具の使用をするなど何らかの困難を伴う
		2	基本的な対人関係の維持・調整に時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		3	基本的な対人関係の維持・調整に頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		4	基本的な対人関係の維持・調整を全く自分では行えていない
d720	複雑な対人関係	0	複雑な対人関係の維持・調整（社会的ルールへの配慮、新たな関係の構築など）を問題なく行っている
		1	複雑な対人関係を維持・調整を自分で行っているが、やりとりに時間がかかったり、コミュニケーション用具の使用をする等何らかの困難がある
		2	複雑な対人関係の維持・調整に時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある

		3	複雑な対人関係の維持・調整に頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		4	複雑な対人関係の維持・調整を全く自分では行えていない
d730	よく知らない人との関係	0	よく知らない人との関係（初めて会う人に物を尋ねるなど）を必要に応じて問題なく自分で行っている
		1	よく知らない人への対応を必要に応じて行うが、自発性に欠くもしくは消極的である
		2	よく知らない人への対応を必要に応じて行うことに時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		3	よく知らない人への対応を必要に応じて行うことに頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		4	よく知らない人への対応を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d740	公的な関係	0	公的な関係（職場での上司、部下、同僚との関係など）を問題なく築き維持できる
		1	公的な関係を築き維持できるが、やりとりに時間がかかったり、コミュニケーション用具の使用をする等何らかの困難がある
		2	公的な関係の構築・維持に時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		3	公的な関係の構築・維持に頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		4	公的な関係の構築・維持を全く自分では行えていない
d750	非公式な社会的関係	0	非公式な社会的関係（友人や隣人との関係など）を問題なく築き維持できる
		1	非公式な社会的関係を築き維持できるが、やりとりに時間がかかったり、コミュニケーション用具の使用をする等何らかの困難がある
		2	非公式な社会的関係の構築・維持に時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		3	非公式な社会的関係の構築・維持に頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		4	非公式な社会的関係の構築・維持を全く自分では行えていない
d760	家族関係	0	家族関係（親子、兄弟姉妹や親族）を問題なく築き維持できる
		1	家族関係を築き維持できるが、やりとりに時間がかかったり、コミュニケーション用具の使用をする等何らかの困難がある
		2	家族関係の構築・維持に時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		3	家族関係の構築・維持に頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		4	家族関係の構築・維持を全く自分では行えていない
d770	親密な関係	0	親密な関係（恋人や夫婦）を問題なく築き維持できる
		1	親密な関係を築き維持できるが、やりとりに時間がかかったり、コミュニケーション用具の使用をする等何らかの困難がある

		2	親密な関係の構築・維持に時に（50%未満）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		3	親密な関係の構築・維持に頻繁に（50%以上）支障があり、第三者のサポートや相手の特別な配慮が必要なことがある
		4	親密な関係の構築・維持を全く自分では行えていない
d810	非公式な教育	0	非公式な教育（家庭での勉学や技能の教育等）に問題なく参加している
		1	非公式な教育に他者の特別なサポートなしに参加しているが困難を伴う、もしくは装具や自助具、コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	非公式な教育への参加にあたって一部（50%未満）に他者の特別なサポートを要している、あるいは参加の範囲が一部制限されている
		3	非公式な教育への参加にあたって大部分（50%以上）に他者の特別なサポートを要している、あるいは参加の範囲が大部分制限されている
		4	非公式な教育に全く参加できていない
d815	就学前教育	0	就学前教育（保育園や幼稚園での教育等）に問題なく参加している
		1	就学前教育に他者の特別なサポートなしに参加しているが困難を伴う/装具や自助具、コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	就学前教育への参加にあたって一部（50%未満）に他者の特別なサポート（発達支援等）を要している、あるいは参加の範囲が一部制限されている
		3	就学前教育への参加にあたって大部分（50%以上）に他者の特別なサポート（発達支援等）を要している、あるいは参加の範囲が大部分制限されている
		4	就学前教育に全く参加できていない
d820	学校教育	0	問題なく学校教育（小学校～高等学校）に参加できる
		1	学校教育に他者の特別なサポートなしに参加できるが、困難を伴う/装具や自助具、コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	学校教育への参加にあたって一部（50%未満）に他者の特別なサポート（支援学級での対応等）を要している、あるいは参加の範囲が一部制限されている
		3	学校教育への参加にあたって大部分（50%以上）に他者の特別なサポート（支援学級での対応等）を要している、あるいは参加の範囲が大部分制限されている
		4	学校教育に全く参加できていない
d825	職業訓練	0	問題なく職業訓練に参加できる
		1	職業訓練に他者の特別なサポートなしに参加できるが、困難を伴う/装具や自助具、コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	職業訓練への参加にあたって一部（50%未満）に他者の特別なサポート（就労支援施設等での対応等）を要している、あるいは参加の範囲が一部制限されている

		3	職業訓練への参加にあたって大部分（50%以上）に他者の特別なサポート（就労支援施設等での対応等）を要している、あるいは参加の範囲が大部分制限されている
		4	職業訓練に全く参加できていない
d830	高等教育	0	問題なく高等教育（大学、大学院、専門職教育等）に参加できる
		1	高等教育に他者の特別なサポートなしに参加できるが、困難を伴う/装具や自助具、コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	高等教育への参加にあたって一部（50%未満）に他者の特別なサポート（支援者の付き添い等）を要している、あるいは参加の範囲が一部制限されている
		3	高等教育への参加にあたって大部分（50%以上）に他者の特別なサポート（支援者の付き添い等）を要している、あるいは参加の範囲が大部分制限されている
		4	高等教育に全く参加できていない
d835	学校生活や関連した活動	0	問題なく学校生活や関連した活動（学校の部活やサークル等）に参加できる
		1	学校生活や関連した活動に他者の特別なサポートなしに参加できるが、困難を伴う、もしくは装具や自助具、コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	学校生活や関連した活動への参加にあたって一部（50%未満）に他者の特別なサポート（周囲の特別な配慮や支援者の付き添い等）を要している、あるいは参加の範囲が一部制限されている
		3	学校生活や関連への参加にあたって大部分（50%以上）に他者の特別なサポート（周囲の特別な配慮や支援者の付き添い等）を要している、あるいは参加の範囲が大部分制限されている
		4	学校生活や関連した活動に全く参加できていない
d840	見習研修(職業準備)	0	問題なく見習研修（インターン、体験就労等）に参加できる
		1	見習研修に他者の特別なサポートなしに参加できるが、困難を伴う/装具や自助具、コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	見習研修への参加にあたって一部（50%未満）に他者の特別なサポート（就労支援施設の関与等）を要している、あるいは参加の範囲が一部制限されている
		3	見習研修への参加にあたって大部分（50%以上）に他者の特別なサポート（就労支援施設の関与等）を要している、あるいは参加の範囲が大部分制限されている
		4	見習研修に全く参加できていない
d845	仕事の獲得・維持・終了	0	問題なく仕事の獲得・維持・終了（就職や退職、職場での昇進に向けた取り組み等）ができる
		1	仕事の獲得・維持・終了を自分でやっているが困難を伴う/ 装具や自助具の使用を要している
		2	仕事の獲得・維持・終了の一部に（50%未満）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		3	仕事の獲得・維持・終了の大部分に（50%以上）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	仕事の獲得・維持・終了を全く自分では行えていない

d850	報酬を伴う仕事	0	特別な配慮や支援機器等の助けなしに報酬を得て仕事をしている
		1	報酬を得て制限なく自分で仕事を行っているが、勤務時間や仕事量の配慮、支援機器や支援環境を要している
		2	報酬を得て自分で仕事を行っているが、勤務内容の制限、他者のサポートを一部（50%未満）に要している
		3	報酬を得て自分で仕事を行っているが、勤務内容の制限、他者のサポートを大部分（50%以上）に要している
		4	報酬を得て仕事を行えていない
d855	無報酬の仕事	0	問題なく無報酬の仕事（ボランティア等）ができる
		1	無報酬の仕事を制限なく自分で行っているが困難を伴う/ 装具や自助具の使用を要している
		2	無報酬の仕事を自分で行っているが、内容の制限、他者のサポートを一部（50%未満）に要している
		3	無報酬の仕事を自分で行っているが、内容の制限、他者のサポートを大部分（50%以上）に要している
		4	無報酬の仕事を全く行えていない
d860	基本的な経済的取引	0	問題なく基本的な経済的取引（買い物の際の金銭のやり取り等）ができる
		1	基本的な経済的取引を自分で行えるが、困難を伴う/コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	基本的な経済的取引の一部（50%未満）に他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		3	基本的な経済的取引の大部分（50%以上）に他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	基本的な経済的取引を全く行えていない
d865	複雑な経済的取引	0	問題なく複雑な経済的取引（ビジネスとしての商品の売買、事業の売買等）ができる
		1	複雑な経済的取引を自分で行えるが、困難を伴う/コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	複雑な経済的取引の一部（50%未満）に他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		3	複雑な経済的取引の大部分（50%以上）に他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	複雑な経済的取引を全く行えていない
d870	経済的自給	0	問題なく経済的自給（収入や資産の管理等）ができる
		1	経済的自給ができるが、健康上の理由や社会的障壁により、困難を伴う/装具や自助具、コミュニケーション機器等の使用を要している
		2	健康上の理由や社会的障壁により、経済的自給の一部（50%未満）に他者のサポートや代行を要している、あるいは実施範囲の制限を要している
		3	健康上の理由や社会的障壁により、経済的自給の大部分（50%以上）に他者のサポートや代行を要している、あるいは実施範囲の制限を要している
		4	健康上の理由や社会的障壁により、経済的自給を全く自分では行えていない
d910	コミュニティライフ	0	問題なく地域の活動や団体（冠婚葬祭や町内会の活動など）に参加できる
		1	地域の活動や団体への参加に制限がないが、健康上の理由や社会的障壁により、困難を伴う/装具や自助具、コミュニケーション機器等の使用を要している

		2	健康上の理由や社会的障壁により、地域の活動や団体への参加の一部（50%未満）に他者のサポートを要している、あるいは参加が一部（50%未満）制限されている
		3	健康上の理由や社会的障壁により、地域の活動や団体への参加の大部分（50%以上）に他者のサポートや代行を要している、あるいは参加が大部分（50%以上）制限されている
		4	健康上の理由や社会的障壁により、地域の活動や団体に全く参加できていない
d920	レクリエーションとレジャー	0	趣味活動等をその範囲の制限や困難を伴うことなく行っている
		1	趣味活動等を行い、実施可能な範囲に制限がないが、なんらかの困難を伴っている
		2	趣味活動等を行っているが、一部（50%未満）に他者のサポートを要している、あるいは趣味活動等として実施可能な範囲が一部（50%未満）制限されている
		3	趣味活動等を行っているが、大部分（50%以上）に他者のサポートを要している、あるいは趣味活動等として施行可能な範囲が大部分（50%以上）制限されている
		4	趣味活動等を全く行えていない
d930	宗教とスピリチュアリティ	0	宗教活動に参加を問題なく自分で行っている
		1	宗教活動に制限がないが、健康上の理由や社会的障壁により、なんらかの困難を伴っている
		2	宗教活動を行っているが、健康上の理由や社会的障壁により、一部（50%未満）に他者のサポートを要している、もしくは一部（50%未満）制限されている
		3	宗教活動を行っているが、健康上の理由や社会的障壁により、大部分（50%以上）に他者のサポートを要している、もしくは大部分（50%以上）制限されている
		4	健康上の理由や社会的障壁により、宗教活動に全く参加できていない
d940	人権	0	人として生活するための選択や決定、その管理を問題なく自分で行っている
		1	人として生活するための選択や決定、その管理を行っているが、いづれか困難を伴う
		2	人として生活するための自己選択や決定、その管理に一部（50%未満）支障がある
		3	人として生活するための自己選択や決定、その管理に重大な（50%以上）支障がある
		4	人として生活するための自己選択や決定、その管理を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d950	政治活動と市民権	0	問題なく政治活動と市民権を行使できる
		1	政治活動と市民権の行使の範囲に制限がないが、健康上の理由や社会的障壁によるなんらかの困難を伴っている
		2	健康上の理由や社会的障壁により、政治活動と市民権の行使の一部（50%未満）に他者のサポートを要している、あるいは一部（50%未満）制限されている
		3	健康上の理由や社会的障壁により、政治活動と市民権の行使の大部分（50%以上）に他者のサポートを要している、あるいは大部分（50%以上）制限されている
		4	健康上の理由や社会的障壁により、政治活動と市民権を全く行使できていない

s110	脳の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：脳構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：脳構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：脳構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：脳構造の全てにおよぶ問題がある
s120	脊髄と関連部位の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：脊髄と関連部位の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：脊髄と関連部位の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：脊髄と関連部位の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：脊髄と関連部位の構造の全てにおよぶ問題がある
s130	髄膜の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：髄膜の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：髄膜の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：髄膜の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：髄膜の構造の全てにおよぶ問題がある
s140	交感神経系の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：交感神経系の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：交感神経系の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：交感神経系の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：交感神経系の構造の全てにおよぶ問題がある
s150	副交感神経系の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：副交感神経系の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：副交感神経系の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：副交感神経系の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：副交感神経系の構造の全てにおよぶ問題がある
s210	眼窩の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：眼窩の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：眼窩の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：眼窩の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：眼窩の構造の全てにおよぶ問題がある
s220	眼球の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：眼球の構造全体の 1/4 未満に問題がある

		2	中等度の構造障害：眼球の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：眼球の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：眼球の構造の全てにおよぶ問題がある
s230	目の周囲の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：目の周囲の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：目の周囲の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：目の周囲の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：目の周囲の構造の全てにおよぶ問題がある
s240	外耳の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：外耳の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：外耳の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：外耳の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：外耳の構造の全てにおよぶ問題がある
s250	中耳の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：中耳の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：中耳の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：中耳の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：中耳の構造の全てにおよぶ問題がある
s260	内耳の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：内耳の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：内耳の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：内耳の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：内耳の構造の全てにおよぶ問題がある
s310	鼻の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：鼻の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：鼻の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：鼻の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：鼻の構造の全てにおよぶ問題がある
s320	口の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：口の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：口の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：口の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない

		4	完全な構造障害：口の構造の全てにおよぶ問題がある
s330	咽頭の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：咽頭の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：咽頭の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：咽頭の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：咽頭の構造の全てにおよぶ問題がある
s340	喉頭の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：喉頭の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：喉頭の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：喉頭の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：喉頭の構造の全てにおよぶ問題がある
s410	心血管系の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：心血管系の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：心血管系の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：心血管系の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：心血管系の構造の全てにおよぶ問題がある
s420	免疫系の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：免疫系の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：免疫系の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：免疫系の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：免疫系の構造の全てにおよぶ問題がある
s430	呼吸器系の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：呼吸器系の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：呼吸器系の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：呼吸器系の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：呼吸器系の構造の全てにおよぶ問題がある
s510	唾液腺の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：唾液腺の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：唾液腺の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：唾液腺の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：唾液腺の構造の全てにおよぶ問題がある
s520	食道の構造	0	構造障害なし

		1	軽度の構造障害：食道の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：食道の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：食道の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：食道の構造の全てにおよぶ問題がある
s530	胃の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：胃の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：胃の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：胃の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：胃の構造の全てにおよぶ問題がある
s540	腸の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：腸の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：腸の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：腸の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：腸の構造の全てにおよぶ問題がある
s550	膵臓の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：膵臓の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：膵臓の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：膵臓の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：膵臓の構造の全てにおよぶ問題がある
s560	肝臓の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：肝臓の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：肝臓の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：肝臓の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：肝臓の構造の全てにおよぶ問題がある
s570	胆嚢と胆管の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：胆嚢と胆管の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：胆嚢と胆管の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：胆嚢と胆管の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：胆嚢と胆管の構造の全てにおよぶ問題がある
s580	内分泌腺の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：内分泌腺の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：内分泌腺の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある

		3	重度の構造障害：内分泌腺の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：内分泌腺の構造の全てにおよぶ問題がある
s610	尿路系の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：尿路系の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：尿路系の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：尿路系の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：尿路系の構造の全てにおよぶ問題がある
s620	骨盤底の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：骨盤底の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：骨盤底の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：骨盤底の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：骨盤底の構造の全てにおよぶ問題がある
s630	生殖系の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：生殖系の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：生殖系の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：生殖系の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：生殖系の構造の全てにおよぶ問題がある
s710	頭頸部の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：頭頸部の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：頭頸部の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：頭頸部の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：頭頸部の構造の全てにおよぶ問題がある
s720	肩部の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：肩部の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：肩部の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：肩部の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：肩部の構造の全てにおよぶ問題がある
s730	上肢の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：上肢の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：上肢の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：上肢の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：上肢の構造の全てにおよぶ問題がある

s740	骨盤部の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：骨盤部の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：骨盤部の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：骨盤部の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：骨盤部の構造の全てにおよぶ問題がある
s750	下肢の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：下肢の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：下肢の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：下肢の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：下肢の構造の全てにおよぶ問題がある
s760	体幹の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：体幹の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：体幹の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：体幹の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：体幹の構造の全てにおよぶ問題がある
s810	皮膚の各部の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：皮膚の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：皮膚の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：皮膚の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：皮膚の構造の全てにおよぶ問題がある
s820	皮膚の腺の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：皮膚の腺の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：皮膚の腺の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：皮膚の腺の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：皮膚の腺の構造の全てにおよぶ問題がある
s830	爪の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：爪の構造全体の 1/4 未満に問題がある
		2	中等度の構造障害：爪の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
		3	重度の構造障害：爪の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
		4	完全な構造障害：爪の構造の全てにおよぶ問題がある
s840	毛の構造	0	構造障害なし
		1	軽度の構造障害：毛の構造全体の 1/4 未満に問題がある

- 2 中等度の構造障害：毛の構造全体の 1/4 以上、1/2 未満に問題がある
- 3 重度の構造障害：毛の構造全体の 1/2 以上に問題があるが、全体には及ばない
- 4 完全な構造障害：毛の構造の全てにおよぶ問題がある

文献

- [1] WHO. International classification of Functioning, Disability and Health. 1st ed. Geneva 2001 2001.
- [2] WHO. ICD-11 International Classification of Diseases 11th Revision 2018
[Available from: <https://icd.who.int/en>.
- [3] Ustun TB, Chatterji S, Kostanjsek N, Rehm J, Kennedy C, Epping-Jordan J, et al. Developing the World Health Organization Disability Assessment Schedule 2.0. Bull World Health Organ. 2010;88(11):815-23. <https://doi.org/10.2471/blt.09.067231>.
- [4] Mukaino M, Prodinger B, Yamada S, Senju Y, Izumi SI, Sonoda S, et al. Supporting the clinical use of the ICF in Japan - development of the Japanese version of the simple, intuitive descriptions for the ICF Generic-30 set, its operationalization through a rating reference guide, and interrater reliability study. BMC Health Serv Res. 2020;20(1):66. <https://doi.org/10.1186/s12913-020-4911-6>.
- [5] Senju Y, Mukaino M, Prodinger B, Selb M, Okouchi Y, Mizutani K, et al. Development of a clinical tool for rating the body function categories of the ICF generic-30/rehabilitation set in Japanese rehabilitation practice and examination of its interrater reliability. BMC Med Res Methodol. 2021;21(1):121. <https://doi.org/10.1186/s12874-021-01302-0>.

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Umemori S, Ogawa M, Yamada S, Komatsu M, Oikawa E, Okamoto Y, Katoh M, Shirasaka T, Abiko K, Moriizumi S, Matsuo Y, Tohyama H, Mukaino M.	Development of a Conversion Table Linking Functional Independence Measure Scores to International Classification of Functioning, Disability, and Health Qualifiers: Insights from a Survey of Healthcare Professionals.	Healthcare (Basel)	12(8)	831	2024
Amatya B, Mukaino M, Stucki G, Selb M, Khan F.	Content comparison of multidimensional functional outcome measures in rehabilitation and the ICF clinical functioning information tool: A scoping literature review.	Journal of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine	7(4)	144-59	2024

厚生労働大臣 殿

機関名 北海道大学

所属研究機関長 職名 総長

氏名 寶金 清博

次の職員の令和6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 政策科学総合研究事業（統計情報総合研究事業）
- 研究課題名 多様な現場での国際生活機能分類（ICF）の円滑な実用化及び統計への応用に向けた研究
- 研究者名 （所属部署・職名）北海道大学病院・教授
(氏名・フリガナ) 向野 雅彦・ムカイノ マサヒコ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。